

平成六年三月

史料館所蔵史料目録 第六十集

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録
(その四)

史
料
館

史料館所蔵史料目録 第六十集

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録
(その四)

凡 例

- 一 本目録は、『史料館所蔵史料目録』第六十集として、越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その四）を収めた。
- 一 史料は文書群の構造分析にもとづき、大・中・小の項目を立てて編成配列した。大項目は一二ポイント活字、中項目は一〇ポイント活字、小項目は九ポイントゴチック活字で示した。また、必要に応じて〇印で細項目を示した。
- 一 小項目（ないし細項目）の中の配列は、原則として年次順である。
- 一 史料目録の記載欄はほぼ、(一)表題 (二)作成者または差出人 (三)宛名 (四)作成年次 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。
- 一 表題（史料名称）は、冊子型史料については原則として表紙記載の原表題を採り、原表題の無いものには仮に命名して（ ）を付した。書付型史料については原表題の無いものが多いので原則として仮表題を掲げ、この場合にはいちいち（ ）を付けることはしなかった。また内容摘記は（ ）内に八ポイント活字をもって併記した。
- 一 作成年次は年月日もしくは干支を採り、推定年次の場合は（ ）を付した。
- 一 史料の形態は、冊子型史料で半（半紙判）、横半（半紙判横綴）、美（美濃判）、横美（美濃判横綴）、美大（美濃大判）、半半（半紙半截判）、横長半（半紙横長判）、横長美（美濃横長判）、横長美大（美濃大横長判）、横半半（半紙半截横長判）、横美半（美濃半截横長判）などによって原書の大概を示すことにとどめた。また書付型史料は通をもって数量を示し、紙形の大小・寸法などは省略した。絵図類は縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。
- 一 形態欄に一括と記したのは、もともと一括されていたものであることを示し、〔仮一括〕と記したのは、整理の都合上、整理者が仮に一括したものであることを示す。
- 一 数量の上部に示した仮は仮綴本、合は合冊本、板は木版本、刊は活字本であることを示す。
- 一 史料の利用にあたっては、巻頭の解題を参照されたい。

目次

凡例

頁

解題

一

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録・総合目次(その一～その四)

一〇

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録(その四)

一一

目次

一一

目録

一三

佐藤家文書目録 総合目次（その一～その四） 解説

解題にも記したように、『目録（その二）』から『目録（その四）』までの間には、同種史料が相互に混在しているにも関わらず、項目編成が一致していないので、四冊の目録を並行して検索する作業にはかなりの困難が予想される。よって、この不便を若干でも解消するために、四冊の目録項目を相互に比較しながら見渡せるような「佐藤家文書目録・総合目次」を作成した。

文書群の構造

本目次の最上段に示した「文書群の構造」は、『目録（その一）』から『目録（その四）』までの項目編成を総合的に見直して、新たに編成したものである。基本的なところは変わっていないが、改善した部分もあるので、若干の説明を加えておく。

佐藤家文書は、大きく分けると、発生の契機を異にする三つのサブ文書群の集合体であると考えられることができるので、これを第一次レベルの目次項目（大項目）として設定した。すなわち、

(1) 寛保二年（一七四二）から明和五年（一七六八）までの二七年間、岩手組一五ヶ村の大肝煎役を勤めたことよって授受・作成され、伝来した『岩手組文書』（大肝煎文書群）、

(2) 近世初期から明治期まで、代々、岩手村（明治二二年四月以降は黒川村大字岩手）の庄屋、戸長、地租改正調用掛、惣代の地位にあったことよって授受・作成され、伝来した『岩手村文書』（庄屋・戸長・用掛・惣代文書群）、

(3) 佐藤家の家を維持していくために主として代々の当主よって授受・作成され伝来した家政・経営文書、及び佐藤家に属する人々が、仕事や生活に関わって個人的に授受・作成した個人文書からなる『佐藤家文書』（経営・家政文書群）。

『岩手組文書』（大肝煎文書）

『岩手組文書』は、高田榊原領における大肝煎の行政事務の所産である。そこで、高田藩大肝煎の職務を規定した寛保三年三月の「覚」（『訂正越後国頸城郡誌稿』上巻八七二頁所収）や、実際に残された文書の内容から判断して、次の七つの事務分掌を第二次レベルの目次項目（中項目）として設定した。

① 「法制及び領主関係事務」

② 「土地関係事務」

③ 「貢租諸役・財政関係事務」

④ 「普請関係事務」

⑤ 「戸口関係事務」

⑥ 「争論・訴訟関係事務」

⑦ 「その他の組合村行政関係事務」

このほか、右の事務分掌の複数に関わる書状・用状類、及び整理の都合上、内容を読み取るにいたらなかった書状・用状類があるので、これらを配列するために、⑧「書状・用状」の中項目を設けた。

第三次レベルの項目設定は、主として『目録(その一)』を下敷きに行っているが、一部変更した点もある。たとえば、「夫人足・伝馬御用」及び「御用金・才覚金」は、これまで上位項目「支配」に入れていた。従って、本来なら①「法制及び領主関係事務」に含めるべきところ、ここでは④「貢租諸役・財政事務」の中に組み込んだ。その方が「夫人足・伝馬御用」「御用金・才覚金」の本質からいっても、関係文書の作成手続きを見ても、より適当だと考えたからである。

『岩手村文書』として一括したサブ文書群は、『岩手組文書(大肝煎文書)』のように単一の役職の所産ではなく、(1)近世前期から明治四年七月までの岩手村庄屋役、(2)明治四年七月～明治五年八月の戸籍

区設置下での岩手村戸長役、(3)明治五年八月～明治六年六月の柏崎県大区小区制下での岩手村戸長役、(4)明治六年六月～明治一二年四月の新潟県大区小区制下での岩手村惣代役、(5)同じく新潟県大区小区制下の明治七年五月以降の地租改正調用掛、(6)明治一二年四月以降の連合戸長制下での岩手村惣代役、(7)明治一二年四月以降の黒川村合併以降の大字惣代役、と、行政制度の改変に伴う少なくとも七つ以上の役職の産物である。従って、本来ならこれらの役職ごとに『岩手村文書』を細かくグループ分けする必要がある。しかし、この作業は実際にはかなり難

しく、年代不明の文書など事実上グループ分けが不可能なものも数多いので、ここでは止むを得ず『岩手村文書』として一括した。中項目となる第二次レベルの目次構成基準は、結果的に『岩手組文書』と同じ次の八項目となった。

- ① 「法制及び領主関係事務」
- ② 「土地関係事務」
- ③ 「貢租諸役・財政関係事務」
- ④ 「普請関係事務」
- ⑤ 「戸口関係事務」
- ⑥ 「争論・訴訟関係事務」
- ⑦ 「その他の岩手村行政関係事務」
- ⑧ 「書状・用状」

これらの中項目は、さらに内容によって第三次レベルの小項目に分かれている。小項目の設定に際しては、可能な限り明治以降の文書が区別できるように配慮した。②「土地関係事務」の中の「地租改正・地押調査」以下の各小項目、③「貢租諸役・財政関係事務」の中の「地租・地方税・郡村入費」、⑦「その他の岩手村行政関係事務」の中の「大区小区・町村編制」以下の各小項目等がそれである。

佐藤家の家と佐藤家に属する個人に関わる私的な文書群を、次の三つの中項目で構成した。

『佐藤家文書』（経営・家政文書）

- ① 「経営関係」
- ② 「家政関係」
- ③ 「役職関係」
- ④ 「書状・用状」
- ⑤ 「蔵書・印刷物等」

①「経営関係」は地主経営を中心とする佐藤家の経済活動の記録である。この内、小項目「地主経営」に含まれる「諸村所持地貢租諸懸」関係文書、及び「諸品代金勘定」文書が、実際には岩手村の貢租や村入用の立て替えに關わる公的な側面を持っていることは、『目録（その一）』その他の解題で述べたとおりである。従って、この部分は、『岩手村文書』の「貢租諸役・財政事務」の内、特に小項目「書出」の部分と相互に参照される必要がある。

②「家政関係」は、経済活動以外の文書を集めたものであるが、今回それとは別に、新たに③「役職関係」という中項目を立てた。これは、佐藤家当主および佐藤家に属する個人が、すでにあげた岩手組及び岩手村の行政職以外の何らかの役職に就いたことに関わって伝来した文書をまとめたものである。具体的には、二代佐藤八兵衛次男理助（のち土肥致榮）が幕府代官の元締役を、六代佐藤半治が代官江川太郎左衛門の手代役を勤めたことにより伝来した「代官元締・手代」文書群、それから量は少ないが十一代佐藤文吉が神道教導職試補を、佐藤與吉が虎列拉予防組合長をそれぞれ勤めたことによる関係文書などがあげられる。これらは、狭い意味での佐藤家「家政」文書ではなく、大量にまとまって残存していれば、当然、それぞれ第一次レベルの大項目を設定すべきものであるが、佐藤家文書の場合は量が少ないので便宜上『佐藤家文書（経営・家政）』の中に収めたものである。

「総合目次」の利用

「佐藤家文書・総合目次」は、以上のような「文書群の構造」を、四冊の目録に共通する検索の手がかりとし、『目録（その一）』から『目録（その四）』までの各目録のどの項目を見れば、その関連文書が掲載されているかを示したものである。ただ、文書目録の常として言えることであるが、本目次は各分野の関連文書が掲載されている（可能性が最も高い項目）を示しているに過ぎないのであって、他の項目に重要な関連文書が紛れ込んでいることは十分に考えられる。利用者は、その点をよく理解された上で、この「総合目次」を有効に活用していただきたい。

郡中・組内小懸取立 小懸取立差引帳、小懸金受取書 夫人足・伝馬御用 御用金・才覚金	買租諸懸〔組合村〕郡中組内小懸取立 支配 組合村 買租諸懸〔組合村〕郡中割 支配 組合村	岩手組 貢租 諸懸 郡中組内小懸 岩手組 支配 才覚金	岩手組 貢租 諸懸 岩手組 支配	岩手組 貢租 諸懸 岩手組 貢租 諸懸 夫人足
普請関係事務 国役普請 郡中割・郷割普請 組内諸村普請	普請 組合村 普請 組合村 普請 組合村	岩手組 普請 郡中割普請 岩手組 普請 岩手組諸村普請所	岩手組 普請 岩手組 普請	岩手組 普請 堰普請 岩手組 普請 川堀普請
戸口関係事務 宗門改 人別増減書上 新家・潰家・棟役増減 他国出稼・出奔・帰村 改寺・改宗 引越 他領縁組 諸職・渡世 剃髪	戸口 組合村 戸口 組合村 戸口 組合村 戸口 組合村 戸口 組合村 戸口 組合村 戸口 組合村 戸口 組合村	岩手組 戸口 宗門改帳 岩手組 戸口 改寺改宗	岩手組 戸口 岩手組 戸口	岩手組 普請 岩手組 普請
争論・訴訟関係事務 用水争論 土地・貸借争論 村役人・村方勘定争論 その他	争論・訴訟 組合村 争論・訴訟 組合村 争論・訴訟 組合村 争論・訴訟 組合村	岩手組 戸口 岩手組 戸口	岩手組 戸口 岩手組 戸口	岩手組 普請 岩手組 普請
その他の組合村行政事務 村況 村明細帳、新田・道橋 村役人 死亡・退役・跡役、改判・改名、その他 諸伺・届書 災害・救恤 地震 山崩、火事、水害、旱魃、虫付 拝借米金 治安 吟味 諸稼 相場、酒造、蠟 寺社 寺社書上、楞嚴寺、その他	村政〔組合村〕村況 村政〔組合村〕村役人 村政〔組合村〕諸伺・届書 村政〔組合村〕災害・救恤 村政〔組合村〕治安・吟味 村政〔組合村〕諸稼 村政〔組合村〕寺社	岩手組 戸口 岩手組 戸口	岩手組 戸口 岩手組 戸口	岩手組 普請 岩手組 普請

村役人・村議定 諸願・届書・託書 災害・救恤 地震・風水害 拝借米金 治安 諸稼 酒造・蠟 鮭鮎漁・大工・紺屋・揚酒商 その他 通行 神社 寺社書上 太神宮、村社八幡宮 正眼院 密藏院 明治期上知私下関係書類 大区小区・町村編制 学校 物産・営業 衛生 役職・選挙 徴兵・軍人	村政〔岩手村〕 村況 村政〔岩手村〕 諸願・届・託書 村政〔岩手村〕 災害・救恤 村政〔岩手村〕 治安 村政〔岩手村〕 諸稼 村政〔岩手村〕 寺社 村政〔岩手村〕 近代村政 村政〔岩手村〕 近代村政 村政〔岩手村〕 近代村政 近代村政 近代村政 近代村政	家産 所持地、地券、地所売買、質地証文、債 券、所得 金融 米金貸借、頼母子講 地主経営 地主帳簿、支配人帳簿、諸村所持地貢租 諸懸 諸村所有地租地方税郡村入費 売払米、諸品代金勘定 事業、団体 酒株、石油、会社、団体 争論、訴訟	経営関係 家産 所持地、地券、地所売買、質地証文、債 券、所得 金融 米金貸借、頼母子講 地主経営 地主帳簿、支配人帳簿、諸村所持地貢租 諸懸 諸村所有地租地方税郡村入費 売払米、諸品代金勘定 事業、団体 酒株、石油、会社、団体 争論、訴訟 家政関係 家系 相続・縁組 葬儀、法事
岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人
岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人
岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人
岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人	岩手村 村政 諸願・届・託書 岩手村 村政 救恤 岩手村 村政 治安 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 寺社 岩手村 村政 大区小区・町村編制 岩手村 村政 諸稼・営業 岩手村 村政 衛生 岩手村 村政 選挙 岩手村 村政 徴兵・軍人

越後国

岩頸
手城郡
村

佐藤家文書目録

(その四)

越後国 頸城郡 岩手村 佐藤家文書目録 (その四) 目次

岩手組〔組合村〕	頁
支配	二三
触書・御用留	二三
貢租・諸懸	二三
検見・毛付、藏納、諸懸、夫人足	二三
普請	二四
川堀普請、堰普請	二四
村政	二四
災害、村方出入、小作米	二四
その他	二五
岩手村	二五
支配	二五
触書・達、上納蠟	二五
土地	二六
地割、地租改正・地押調査、絵図・地図	二六
貢租・諸懸	三一
米納、金納、夫人足、御用金、地租・地方税・村費等	三一
普請	三四

村政(明治五年八月まで)	三五
村況、村役人、災害・救恤、戸口、通行、寺社、争論・訴訟、その他	三五
村政(明治五年八月から)	三六
大区小区、用状、災害・救恤、徴兵、寺社、学校、他村、その他	三六
佐藤家	四二
経営	四二
所持地、所得、金融、小作地経営・売米、勘定書・割賦書・請取書(諸品代、地租・地方税・郡村入費等)	四二
家政	六二
一族、家計・出金、会社・団体、代官手代文書	六二
訴訟・争論	六五
所有地毀損修復訴訟、貸金請求勸解事件、堤防毀壞告訴事件、小作義務不履行事件	六五
記録・学芸	八八

日記・聞書・雑記、学問・宗教、文芸、相撲、医事・薬事、書籍目録・藏書貸借、公報・新聞、書画、手習、引札・広告、資産家調、その他	九一
その他(断簡・断片・袋・下書類のほか、伝来のはっきりしないもの)	九一
書状・用状	九二
一括形態のもの	九二
一括形態でないもの	一一二
役所用状、佐藤家宛書状、他家宛書状、宛先不明書状	一一二

越後国 額城郡 岩手村 佐藤家文書目録 (その四)

(文書番号 28A・57A)

岩手組 [組合村]

支配

触書・御用留

(寅年御用書留・村方触出帳断簡) 寅(宝
曆八年か) 横長半 二五丁 二〇五六

(領奉行所触書写) (百姓他所へ罷り越し候儀
取り締まり、その他) 正月二十八日 横長美 一冊 七〇三八

(宗門奉行触書写) (病氣旅行之面々断書案
文) 中村組ほか二六組大肝煎宛 子六月 半 一冊 七八三六

貢租・諸懸

検見・毛付

御検見御出在御名前前 一通 七〇〇四

(高反別作毛合毛帳断簡) 岩手組落合村組頭
喜左衛門、庄屋甚藏 佐藤八平宛 宝曆六年八
月 一枚 六九六六

蔵納

下条御蔵米勘定書等 一括 六綴 六九五三

1 下条御蔵米勘定書ならびに書状等綴

佐藤家文書目録 岩手組 [組合村] 支配、貢租・諸懸

馬正面村新部弥五兵衛、下条村庄屋佐次右
衛門ほか 岩手村佐藤八平宛 宝曆一二年
十一月〜十二月 (一通)

2 村々納米切入米勘定覚綴 三上喜惣右衛
門ほか 佐藤八平宛ほか 午十一月 (一綴
五通)

3 柿崎濱屋清右衛門下条御蔵米請取書綴
竹直村庄屋加左衛門宛ほか 午一〇月一日
〜三日 (八綴)

4 柿崎梅屋仁兵衛蔵米請取書綴 灰庭村庄
屋瀧平宛 午九月一日〜二四日 (一綴
七通)

5 御蔵米代金勘定書綴 馬正面村楡井重蔵
佐藤八平宛 未六月、七月 (一綴
三通)

6 下条村庄屋御蔵米請取手形綴 岩手村佐
藤平六宛ほか (一綴
三通)

7 馬正面村弥五兵衛下条御蔵米受取証文写
並河文助・石倉善八郎宛 午十一月 (一通)

8 御刺米覚 一通

村々津出来覚 下条村庄屋佐次右衛門・同幾右
衛門 佐藤八平宛 六月一七日 一通 六九五九

卯年納米差引覚 一通 六九八六

(蔵米差引覚帳) (楡井美右衛門、佐藤八平は
か分) 横長半 一冊 七〇四九

村々過米糶米等差引勘定覚下書 一通 七三四二

御年貢米積預り証文 岩手組下条村庄屋佐次
右衛門・幾右衛門・御藏番安右衛門 荒井与
左衛門・村沢久藏宛 申一二月

落合村ほか五村蔵米差引覚下書

(岩手組各村上納米過不足勘定帳下書)

(岩手組上納米蔵納勘定覚ならびに下条駄賃
錢覚下書)

蔵米借用預り証文(年貢米に差し詰まり) 上
金原村庄屋平次郎ほか 大肝煎佐藤八平宛
延享三年一二月、延享四年一二月

諸懸

当辰年万雑銀割賦書(岩手組分) 永井太郎
右衛門ほか二名 佐藤八平宛 辰一月

内山や七郎左衛門已繩藁代銀并駕籠賃錢請取
書 佐藤八平宛 巳一二月一六日

当夏中四ヶ組御蔵割替入用割賦勘定覚 丑一
月二五日

瀧野元右衛門・百崎加右衛門連名金子請取書
(岩手組駄賃金残金上納) 岩手組大肝煎佐
藤八平宛 亥九月二二日

大肝煎佐藤八平当戌年小懸金請取書(下金原
村分) 庄屋市郎右衛門宛 宝曆四年一二月

夫人足

(岩手組分駕籠荷物持人足指出覚) (御奉行
安田作兵衛ほか) 佐藤八平 落合村外七ヶ村
庄屋宛 亥八月二五日

一通 二〇六九

一通 二〇七六

一綴 二七四八
一冊 二七五五
二冊

一括 二〇六八
三通 二〇六八

一通 七〇八二

一通 七〇八六

一通 七〇九六

一通 二四四五

一通 二七三三

横長半 一冊 七六三三

普請

川堀普請

岩手組大肝煎佐藤八平伺書控(下灰庭新田村
用水江筋近年川彫り悪敷罷成候につき、御見
分願い) 郡奉行所宛 寛延二年二月
附 鹿絵図下書 一枚

馬正面村ほか四ヶ村村役人願書下書(川堀御
普請願) 寛延四年一月五日

堰普請

下条堰仕様極 上直海にて 丑三月二二日

村政

災害

伺書下書(当四月中地震大変につき差し出し候
潰家難渋の場所書上訂正致したき旨) (寛
延四年カ)

村方出入

岩手組上灰庭新田百姓等連印証文断片(年貢
算用に関する村方出入の濟口証文カ) 寛延
四年

(注) 反故紙として袋に使われたもの。

小作米

上金原村小作米不納覚 岩手組上金原村庄屋
与頭 丑一月

横長半

一通 二四四八

一通 二四四六

一通 二四四八

一冊 七〇五五

一通 六九六二

一通 六九六二

断片

二枚 六九五六

一通 七〇三六

その他

(勘定奉行坪内駿河守定英より頸城郡横山村
豊兵衛伯父直右衛門女房ほかへ指紙到来に
つき江戸出府一件写) (大肝煎佐藤八平)
宝暦一〇年

半 一冊 六九五〇

岩手組大肝煎佐藤八平申上書(今町湊御用使
札紛失につき届書) 御奉行所宛 亥六月

一通 六九九一

岩手村

支配

触書・達

触書写・書状等(寺社関係ほか)

一括 一三三六七
一三三六九

(注) 一一三八七、一一三九九は一括され、一一三八七の書状
で包まれていたもの。

。前崎岩太郎・田寅市右衛門書状 三上喜三
右衛門・佐藤啓助宛 四月一日

一通 一三三八七

。佐藤啓助書状 苦屋御世話人中宛 卯七月五日

一通 一三三八八

。寺社奉行触書写(近年悪俗の輩法勢専一に相
心得家業等閑に相成り候趣甚だ不心得至極
云々) 諸宗寺院中宛 文政一〇年七月

一通 一三三八九

。稻葉対馬守達書写(東門跡越後へ下向之儀
越後守停止之状) 文政五年三月

一通 一三三九〇

。徳榮山感應寺境中三十ヶ院御建立覚 引請
世話人池上本門寺

一通 一三三九一

。虚無僧寺につき書付

一通 一三三九二

。公儀御触書写(米穀下直につき酒造渡世勝手
次第の旨) 大目附宛 文化三寅年九月二
三日

一通 一三三九三

。湯本宗十郎書状 佐藤文吉・加茂川治郎兵
衛宛 五月一日

包紙入

附 上金原村庄屋治郎兵衛・岩手村庄
屋佐藤啓助願書写(湯本宗十郎大

附共 一綴 一三三九四
四通

肝煎役就任の件) ほか (慶応)
一綴三通

。請書写(切添切開新田場所見取畑仰せつけられ請書)
一通 二二九五

*。郡奉行所達書写(高畑組高畑村岩手村立会橋御普請申しつけ) 辰四月五日
一通 二二九六

。徳榮山感應寺境中三十ヶ院御建立寛・如来在世天笠五山ほか諸国五山覚ほか
一括 二二九七

。高田城下焼失家数寺社等覚
一通 二二九八

*。岩手村村方三役願書ほか写(円田神社神主五十嵐甲斐守社職仰せつけられ候旨) 御奉行所 宗門御奉行所、御代官所、大肝煎所宛ほか 文化九年九月
一通 二二九九

御出張御役人衆名前前書(御手代塩田理左衛門ほか)
一通 二〇六一

上納蠟

米山寺組馬正面組村々庄屋組頭願書写(山里蠟実穂上納請負の件につき) 御役所宛 享保八年五月
一通 七〇三〇

御上納蠟請取書 中山村点所文左衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 一〇月晦日
一通 六九三三

土地

地割

(田地割鬮引帳断簡) (年欠)
横長半断簡 一二枚 六九五四

地租改正・地押調査

地租改正収穫取調関係ならびに岩手村字調関係文書 (明治三年)
袋入 六二点 七〇三

[注] 袋表書は「新潟県越後國中頸城郡岩手村収穫取調書入」字調書(後筆)。袋裏書は一絵図入 第七大区小八区越後國頸城郡岩手村。

1 越后國中頸城郡岩手村字調書(控) 美 一冊

2 越後國中頸城郡岩手村字調査(控) 岩手村惣代佐藤與吉・同佐藤文吉・戸長高島清十郎 中頸城郡長渡部健藏宛 明治一七年六月一四日 美 一冊

3 (岩手村田地反別入付米廻り米調帳下書) 横美半半 仮一冊

4 枋窪村改正用掛室岡藤一郎願書下書(用水溜民有地編入願) 新潟県令永山盛輝宛 明治一〇年三月 一通

5 高田町出張地租改正掛り達書写(田方収穫米調査承服不承服の村々取調べの件) 一〇月一日 一通

6 岩手村絵図下書 一枚

7 (岩手村田地引帳合計写届控) 第七大区小八区岩手村百姓惣代吉村泰治・佐藤七郎治ほか改正用掛・戸長・小区長 明治八年九月一八日 美 一冊

8 (岩手村田地反別入付米廻り米調帳下書) 横美半半 仮一冊

9 (地価小作米等取り調べにつき取り決め書) 一通

10 新潟県権少属真柄孝書状(小作米納方調査につき地引帳ほか持参出張命令) 小八区高畑村出張先より 第七大区小八区岩手 封筒入 一通

- 村戸長改正用掛宛 四月一七日
- 11 煙草作付御届書控 作付人佐藤才治ほか
一〇人 新潟県知事篠崎五郎宛 明治二〇
年六月二日 半 (一綴
一通)
- 12 小作水入証文綴 岩手村小作人佐藤長八
ほか 岩手村佐藤文吉宛ほか 明治三年
五年 (一綴
三通)
- 13 (岩手村田畑其外地佃收穫米取調帳下書)
14 地位等級書上帳(控) 二番組岩手村
新潟県令楠本正隆宛 明治八年八月二日 半 仮一冊
- 15 中頸城郡役所用状写 (岩手村正眼寺寺院
明細取り調へのこと) 米山寺村戸長宛
(明治) 一二年六月一四日 一通
- 16 (岩手村田畑其外地佃收穫米取調帳下書)
17 (岩手村田地反別地佃收穫米入付米等取
調帳下書) 半 仮一冊
- 18 田畑其外地佃合計取調帳(下書) 岩手
村惣百姓中 明治八年一二月二七日 半 仮一冊
- 19 (岩手村田畑其外反別地佃貢米等取調帳
下書) 戸長佐藤文吉ほか 柏崎県参事鳥
居断三宛 半 仮一冊
- 20 墳墓地調控 岩手村改正用掛佐藤文吉 一通
- 21 百木村高畑村岩手村請書控(地引地佃兼
用帳整頓上納のこと) 百木村高畑村岩手
村改正用掛・戸長・副大区長 新潟県令永
山盛輝宛 (明治) 一〇年五月三日 一通
- 22 高田村ほか八カ村上申書控(收穫地佃之
儀ニ付上申、田方收穫御請添書) 高田村 美 一冊

- ほか八カ村地主惣代・改正用掛・二番組戸
長ほか五組戸長 新潟県令永山盛輝宛 明
治九年一二月
- 23 明治二十一年煙草作付地反別收穫見積届
表(下書) 中頸城郡岩手村 明治二十年
24 明治二十年煙草收穫乾上葉量届表(下
書) 中頸城郡岩手村 明治二〇年 一通
- 25 明治二十一年煙草作付地反別收穫見積届
表下書 中頸城郡岩手村 明治二十年 一通
- 26 明治二十年煙草收穫乾上葉量届表(下
書) 中頸城郡岩手村 明治二〇年 一通
- 27 (小作定入付米につき申上書雛形) 地
主何某・小作人何某 新潟県令宛 半 仮一冊
- 28 二番組戸長新部與八郎用状写(権少属真
柄孝殿より別紙小作定入付米申上書雛形下
付の件) 高畑村岩手村改正用掛宛 (明
治) 九年三月二二日 半 仮一冊
- 29 (地租改正につき地位收穫等取調方議定
書写) 第四大区小区戸長代理 明治九年
三月二五日 半 仮一冊
- 30 地租改正一村限合計取調書上帳(案文)
第七大区小区岩手村 半 仮一冊
- 31 田畑其外反別地佃等取調覚 一通
- 32 (地租改正一村限合計取調書上帳下書)
第七大区小区岩手村総代・地租改正用掛
・戸長・副大区長・大区長 新潟県令永山
盛輝宛 明治一〇年五月 半 仮一冊
- 33 第七大区小区長三上喜三廻章(合
計帳提出督促) 高畑村・岩手村改正用掛 封筒入 一通

宛 五月二日

34 田畑其外反別等覚

35 田畑其外石高覚

36 高畑村与五平書状 岩手村佐藤若御旦那宛

37 第七大区小七区二番組岩手村不動産所有者佐藤忠太ほか二六名連印委任状(不動産所有者惣代委任) 吉村泰治・大場義助宛 明治一〇年一月

38 岩手村改正用掛佐藤文吉・戸長新部與八郎御受書控(民有地官有地確定反別表編製につき種目反別御書下け) 御本県第三課地租改正掛宛 明治九年一二月

39 岩手村地主惣代佐藤七郎治・改正用掛佐藤文吉連署御請書控(田畑其外御示シ收穫地価) 正副大区長宛 明治九年一〇月一九日

40 岩手村地主惣代吉村泰治・同佐藤七郎治ほか改正用掛・戸長・小区長連署届書控(田畑其外收穫地価等)

41 岩手村地主佐藤文吉・小作人佐藤半平ほか連印届書控(小作地反別定入付米) 新潟県令永山盛輝宛 明治九年五月五日

42 岩手村地主佐藤泰助・小作人佐藤伝四郎連印届書控(小作地反別定入付米) 新潟県令永山盛輝宛 明治九年四月九日

43 岩手村地引帳合計写雛形

44 岩手村地引帳合計写下書 岩手村百姓惣代吉村泰治・佐藤七郎治ほか

一通

一通

一通

一冊

美 一冊

美 一冊

美 一冊

美 一冊

美 一冊

半 一冊

45 岩手村地主佐藤七郎治・小作人佐藤由太ほか届書下書(小作地反別定入付米) 新潟県令永山盛輝宛 明治九年四月

46 用水溜反別調下書

47 (民有地田畑宅地其外反別地価合計雛形) 新潟県令永山盛輝宛

48 新潟県令永山盛輝告諭等綴 明治九年八月二七日ほか

49 社寺境内外私下御据置調(下書)

50 第七大区高田出張副大区長小山宗四郎・大区長笠原克太郎願書写(改租御示シ田方收穫高につき御指図願) 高田出張地租改正宛 (明治) 九年一〇月一二日

51 御請書雛形(田方御示シ收穫御請) 地主惣代・改正用掛 正副大区長宛 明治九年一〇月一八日

52 互換約束書(地租改正田方收穫米御示しにつき対応方約束) 第七大区小七区水野村地主惣代薩美新三郎ほか一ヶ村地主惣代・改正用掛・戸長連印 明治九年一〇月

53 地主惣代・改正用掛御請書雛形 正副大区長宛

54 岩手村改正用掛佐藤文吉願書控(用水溜民有地編入願) 新潟県令永山盛輝宛 明治一〇年三月

55 (岩手村田畑其外反別收穫米地価等合計下書)

56 民有地調(下書)

半 一冊

一通

半 一冊

半 一綴

半 一冊

半 一冊

美 一通

美 一冊

美 一通

美 一冊

半 一冊

半 一冊

57 御受書日延一札写 高畑村ほか八ヶ村改正用掛 正副大区長宛 明治九年一月	一通 (二枚)	
58 反故(四字熟語列記)	一枚	
59 岩手村地主惣代佐藤七郎治・改正用掛佐藤文吉連印願書控(田畑地位公租入付収穫不公平につき簡条申し入れ) 正副大区長宛 明治九年一〇月	一枚	美
60 一筆限帳(雛形) 明治六年五月	一冊	半
61 岩手村地引帳合計写帳控 岩手村百姓惣代吉村泰治・佐藤七郎治ほか改正用掛等	一冊	美
62 (天和三年より享保十一年まで引高記)(地券規則集写) 明治五年	一枚	半
(岩手村地主持高書上控) 戸長佐藤文吉ほか戸副長二名 明治五年九月	一冊	美
* 地方総計書上帳(下書) 柏崎縣御管轄第七大区八小区岩手村 明治六年三月	一冊	美
地券規則 明治六年七月二八日	一冊	半
(岩手村字反別地券帳下書) (袋表書) 「明治六年ヨリ新潟県規則書入・地檢下帳入」(明治六年)	一冊	袋入
横枕二ノ割再地券帳 岩手村 明治六年	一冊	横半半
荒井延行金銭受領書・遠山桂合代金受領書等(地引絵図認代ほか) 岩手村古戸長佐藤文吉宛、岩手村改正用掛宛ほか 明治六年一月二一日ほか	一通	一括
岩手村改正調用掛代理吉村泰治請書下書(地引帳へ収穫米・地価書き加之上帳日限につき	一通	二七四四
御請) 新潟県令楠本正隆宛 明治八年一月二九日	一通	七九一八
明治八年七月二十八日第百三拾二号達ほか写(公有地買上規則)	一通	七九一八
(岩手村耕地地位等級定帳控) 地主惣代吉村泰治・同佐藤七郎治・改正用掛佐藤文吉・戸長新部與八郎 明治八年	一通	七九一八
立合野仮丈量帳 黒川村大字右手字大門崎之内実地測量者中村市作 明治九年一月二六日	一通	七九一八
地租改正一村限合計取調書上帳(控) 第七大区小七区岩手村 新潟県令永山盛輝宛 明治一〇年五月	一通	七九一八
地券証印稅仕訳書上帳(下書または控) 岩手村地主惣代佐藤文吉・佐藤與吉・戸長高嶋清十郎 新潟県令永山盛輝宛 明治一四年二月二四日	一通	七九一八
地券証印稅仕訳書下書 岩手村佐藤文吉・同地主惣代佐藤與吉 中頸城郡長渡部健藏宛 明治一四年一月	一通	七九一八
地券証印稅仕訳書(下書) 岩手村地主惣代佐藤文吉・同佐藤與吉・戸長高嶋清十郎 新潟県令永山盛輝宛 明治一四年一月二四日	一通	七九一八
関涉地反別地価異動届下書 岩手村惣代佐藤文吉 戸長渡辺貞治宛 明治二二年一月	一通	七九一八
大字岩手民有森林原野取調關係書類(取調表下書、黒川村役場用状写ほか) (明治二六年六月二六日・七月二〇日)	一通	七九一八
(土地丈量野帳) 中村市作ほか (明治) 二	一通	七九一八

(岩手村地租反別調帳下書) (明治三〇年改) 附 寅吉分地租書付 一通	横長半	仮一冊	七六三〇	村佐藤文吉宛 (明治) 四年一〇月 (民有地官有地合計取調書上帳下書)	美	仮一冊	七八三
〇年欠分				確定反別收穫地価受書 (下書) 第七大区小 七区岩手村	半	仮一冊	七八三
副大区長所回章 (地租改正掛に於て差し支えに つき、小以寄帳調整されたま旨) 岩手村宛 二月一〇日		一通	六九五	(反別地価取調下帳) (大堰灌溉・丸山堰灌溉・ 両堰ニ無関係ノ反別・畑宅地野山)	横長美	仮一冊	七六三八
戸長三上喜三回章 (地券調につき本県より役員 巡回の件) 用掛中宛 九月三〇日	包紙入	一通	六九七五	(実地丈量野帳カ)	横長半 包紙入	一冊	七六四三
戸長所用状 (除地書上の件) 岩手村旧戸長宛 一月九日		一通	七〇三	(注) 高畑組岩手村高畑村立会橋普請入用覚を包紙として使 ている。			
黒川村役場用状 (写共) (水害反別取調につ き) 大字岩手惣代宛 八月一〇日	一括	三通	七〇〇	(田畑其外反別收穫取調帳下書) 第七大区 小八区頸城郡岩手村	半	仮一冊	七八四八
字鬼谷 二耕地反別寄附簿 改正用掛 杉ノ木	横長半	仮一冊	七〇六	段別帳 (雛形)	板・半	一冊	七九一〇
反別地価合計帳下書断簡		一丁	七〇二	上小野村外一七ヶ村戸長役場用状 (字調の 儀、今日明日中に差し出されるべき旨) 岩 手村総代宛 五月一二日	封筒入	一通	七九四〇
村高反別貢米等書上雛形断簡		一丁	七〇三	田畑屋敷地石高石盛覚		一通	二四八二
*戸長役場用状 (村々字調書提出催促) 岩手村 総代宛 五月二三日		一通	七三九二	(岩手村地割帳下書)	横長美	一冊	二五五九
土地反別・地価・地租・所有者取調表下書		一通	七五八七	(反別地価收穫米取調帳下書断簡)	美	三丁	二五六二
改正調村々心得方		一通	七七〇九	届書案文 (地租改正につき新旧持主切分地の 届) 戸長用掛宛		一通	二五九三
(地引帳へ收穫地価小作人姓名等書き入れに つき心得方)	半	五丁	七七四	中村逸作代金受領書 (当村地図便 (更) 正請 負金) 佐藤与吉宛 一〇月四日		一通	二八二三
(大字岩手各戸所有地反別地価帳下書) 附 計算下書 (丁間挿入文書) (明治二 七年カ) 一通	美	仮一冊	七八〇〇	(図引手間賃勘定覚) (仁木実義分・中村市作 分ほか)		二通	二〇二七
米山寺村戸長役所用状写 (中頸城郡役所より 岩手村堤外地地券証下渡し通知の件) 岩手		一通	七八三				

絵図・地図

繪図下書 (堤防・大字小字境)

三枚 七六四

村内繪図雛形

一枚 七六六

字嶋倉堰江ほか実測図 (明治)

三枚 七六一

繪図下書 (岩手)

一枚 七七八

繪図下書 (字小谷三拾五束入立多左衛門作ほか)

二枚 七六八三

繪図下書 (字下西田耕地・米山寺畑)

五枚 七六九四

繪図下書 (川沿田畑)

二枚 七六九七

岩手村地引繪図 岩手村百姓惣代吉村泰治・佐藤七郎治・地租改正用掛佐藤文吉・新部與八一四八×一八四cm

一舖 七六〇七

郎連印

岩手村繪図

三八・五×八・三五cm 一舖 二四〇四

岩手村繪図下書

一枚 二五六五

地引繪図下書

二枚 二〇五六

新潟県郡区改正略図

版 一枚 二〇六二

貢租・諸懸

米納

戊御年貢小手形扣帳 (表紙)

岩手村庄屋友

表紙のみ

一枚 二八二四

右衛門 享保三年閏一〇月

横長半

二丁 七三三五

(右手村小手形帳断簡カ) 一〇月二六日より

横長半

飯一冊 七〇五

明治三年年場詰帳 明治三年

横長半

一綴 (六通) 六九五二

米納飯場詰差引覚ならびに書状等綴

(岩手村郷藏場詰差引帳下書)

横長半

一冊 六九八五

柿崎八木十右衛門・親松甚兵衛下条藏米請取書 山口与三郎・村沢久米右衛門宛 丑二月二日、三日

二通 七〇四一

米俵数書立覚 (岩手村藏納米カ)

一通 七六九三

藏米場詰差引覚ならびに藏米預り手形綴 上 小野村喜惣右衛門ほか 佐藤八平宛ほか 未 十一月ほか

一綴 (六通) 二〇八三

御上納米徳米覚

一通 二一八三〇

源左衛門場詰米上納差引覚

一通 二〇一三

岩手村藏納米差引覚

一通 二〇三五

場詰米覚

二枚 二〇六六

金納

金納

米山寺御藏組庄屋願書下書カ (三分之一金納 出来兼候につき御米賃米に差し上げたき旨) 元文元年極月

一通 七〇六四

〇

組々割賦銀覚下書 (旅籠入用等) (寛保二年以前)

一通 二八二七

当戌御巡見様雑用并他郷余荷夏割其外臨時掛り共割賦書 (岩手村分) 立会庄屋利左衛門ほか一六人 啓助宛 天保九年六月

一通 六九八七

当戌年諸上納并郡役組内諸掛り永割賦書 (岩手村分) 立会庄屋権右衛門ほか五名・三上喜惣右衛門 庄屋啓助宛 文久二年一〇月

一通 二四〇二

附 水元山入用割賦書・酒代勘定書等 七通

八通 二四〇二

未申酉三カ年不足上納石代勘定覚 友右衛門 後欠 一通 二〇三九

下条村長太郎宛 八月 一通 二二七二

星野半左衛門小物成国役小懸銀等差引勘定書 岩手村庄屋喜太郎宛 申一二月一一日 一通 七六八八

岩手村惣高割役高割其外組中入用差引覚 種粳代永・夫金割賦返納覚〔高畑組岩手村分〕 一通 二二五〇五

〔金納・小物成・御城米かり其外銘々割帳下書〕 横長半 一冊 二二四〇

○

郡中・組内小懸金請取目録等綴〔岩手村分〕 一綴 七〇九〇

〔大肝煎〕楡井美右衛門ほか 岩手村庄屋友右衛門宛ほか 享保一四年一〇元文五年 〔三七通〕 一通 二二〇三八

大肝煎佐藤八平当未年小懸金請取目録〔岩手村〕 宝暦元年一二月 一通 二二五九八

〔大肝煎〕佐藤八平当戌年小懸金請取書〔岩手村〕 宝暦四年一二月 一通 七〇五

大肝煎佐藤八平当亥年小懸金請取書〔岩手村〕 宝暦五年一二月 一通 二二七九〇

大肝煎佐藤八平当酉小懸銀請取書〔岩手村〕 明治二年一二月 一通 七〇九三

大肝煎星野半左衛門去辰年越後国川々御普請 国役高懸金請取書 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政九年一〇月 一通 二一〇六五

大肝煎星野半左衛門当巳小懸銀請取書 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政九年一二月 一通 二一〇六六

大肝煎星野半左衛門当巳小物成銀大豆代請取

書 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政九年一二月

上納金請取返手形等〔先納金、越後国川々御普請御国役銀ほか〕 代役吉右衛門・与市郎ほか 岩手村庄屋松五郎宛ほか 寅六月、一月 一綴 七〇七一

三好瀬大夫金子請取書〔能勢権兵衛元代官所の節江戸廻米納不足石代金〕 岩手村庄屋宛 丑一〇月一六日 一通 二二四〇

上納通 高畑組大肝煎所 岩手村庄屋文吉宛 明治三年一二月 横長半 一冊 七八一〇

鉢崎詰人足弁当持参分覚ほか 八月二日一九月六日 横長半 一冊 七六八九

夫人足

岩手村夫人足書付 一通 二二七八四

請書雛形〔御用馬ならびに御備夫人差し出しにつき〕 大肝煎所宛 天保一四年二月 半 一冊 二二七四六

御用金

日光山御参詣の節殿様新町入口御勤番につき 高懸御用金割賦書 元黒岩組立会庄屋清左衛門ほか一五名 岩手村兼帯庄屋平助宛 文政七年六月 一通 二一〇六三

日光御勤番御用金返金覚 惣代所 岩手村庄屋組頭中宛 文政一一年三月 一通 二一〇四

岩手村兼帯庄屋平助来酉年日光山御勤番御用金割賦書 川井村弥三次宛 申六月 一通 二二八四一

御上洛御先登御用金割賦書類 文久三年正月 一括 二通 七九二

1 大肝煎所御用金割賦書〔岩手村分〕 岩

一通

手村啓助宛

2 触元役所御用金割賦書写〔高畑組分〕
湯本多十郎宛 文久三年正月

一通

一綴
(四通)
七九三

3 御用金才覚金覚〔御町方御領中割高〕

一通

一通
七〇〇

御用金才覚金その他郡中組内諸雑用金等割賦書
下灰庭新田村庄屋又三郎ほか 岩手村佐藤啓八宛ほか 慶応三年、明治三年

一括

一綴

七〇四

岩手村庄屋喜太郎用状控〔御用金上納につき〕
高畑村太郎左衛門宛 子正月

一通

二七九四

地租・地方税・村費等

↓本目錄『佐藤家』「経営」のうち「勘定書・割賦書・請取書」をも見よ。

西夏諸色割 米山寺郷藏所 明治七年一月

横半

一冊

二七五四

二番組用掛・大小区内割并組合割諸人費課賦書 岩手村宛 明治七年一〇月

美

一冊

七〇三

新潟県令楠本正隆達書写〔明治七年畑石代飯直段ならびに国役金上納の件〕 (明治)七年一月二日

一通

七八八七

国役・大小区・組合・戸数諸品割賦簿 第七大区小八区二番組岩手邑 明治八年一月二日

横長美

一冊

七二〇九

二番組用掛大小区内割并組合入費課賦書 岩手村宛 明治八年一月

美

一冊

七〇〇

新潟県管内割課賦帳下書共 岩手村 明治八年四月

袋入

二冊

一一〇三三

附 戸長三上喜三春季管内割受取書 明治八年四月二三日 二番組岩手村用掛宛 一通

酒肴代其外集会入費等勘定書綴〔岩手村分〕
下宿麻場岡太郎、改正用掛惣代湯本宗十郎ほか 岩手村改正用掛宛 明治一〇年一月

一綴
(四通)
七九三

旧式番組戸長用状〔明治八年貢米正納の内、欠米相立候旨〕 岩手村旧村惣代宛 明治一三年二月一三日

一通
七〇〇

明治廿六・廿七両年度大字協議費〔賦課帳〕

横長美

一冊

七九〇

堰普請用材覚下書・大字協議費課賦帳下書等

一括

七通

七六七

1 堰普請材板等覚書

一通

2 地租反別覚下書

一通

3 明治廿六・廿七両年度大字岩手協議費課賦帳下書

一通

4 明治廿八年・廿九年度分協議費課賦帳下書

一通

5 明治廿六年度分川普請入用金内訳書上下書

一通

6 協議費賦課帳下書

一通

7 明治廿六・廿七両年度大字協議費賦課帳

一通

大字費・普請用具人足勘定下書等

一括

八通

七六八

1 明治廿六・七・八・九年度大字費・人足用具代書上下書断片

一通

2 明治廿六・廿七年度大場新吉分普請費用書上下書断片

一通

3 明治廿六・七・八・九年度大字費・道路修繕費・用具人足代勘定書下書断片

一通

4 課賦金・用具代勘定書下書	一通								
5 金銭書上下書断片	一通								
6 地租反別書上下書ほか断片	一通								
7 明治廿九年地図更正費書上下書	一通								
8 課賦金人別書上下書	一通								
明治廿八・廿九両年度中頸城郡黒川村大字岩手協議費及び道路修繕費支出額ほか下書	一冊	美	七九二七						
明治廿六・七・八・九年度大字費地図更正費・人足用具代受領証(「不用分」と朱書)吉村常吉・佐藤繁吉・佐藤與吉 細川桜太郎ほか宛 (明治)三〇年四月七日	一綴 (二四通)		七六二九						
明治三十年四月一六日唧筒代取立覚	一通		二〇〇三						
畑石代国役銀等受取書 用掛新部與八郎 岩手村宛 戊辰二月一三日	一通		六九四六						
付札 (内証入用ほか算用)	一二枚		六九五八						
国役懸り・管内割その他計算書	一通		七六八六						
戸長三上喜三畑米石代飯上納受領書 岩手村旧戸長宛 一〇月二二日	一通		二四四九						
普 請									
*郡奉行所達書写 (高畑組高畑村岩手村立会橋御普請申しつけ) 辰四月五日	一通		二二九六						
官御普請ケ所書上帳 岩手村・高畑村 明治	一冊	美	七〇〇八						
五年五月									
用水路替地為取替之証下書 (岩手村・高畑村・芋嶋村三ヶ村) (明治七年以降)	一通		七〇〇六						
(注) 『佐藤家文書目録(その一)』一八二頁「芋嶋村用水堰田地引替一件」をも見よ。									
(道路修繕工事間数人夫数等書留帳) 明治二五年一月三日、明治二七年五月二二日、附 道路修繕工事間数人夫数等覚ほか (丁間挿入文書) 黒川役場 岩手御中宛 明治二七年八月一三日ほか 三通	一冊 二通		七六〇一						
(宇長瀨堤防普請出役名前) 明治二六年五月一四日、七月四日	一通		七八〇八						
正眼寺土挽普請目論見檢方下書 明治二六年八月二六日	一通		七七二五						
諸普請用具人足其他附留帳 中頸城郡黒川村大字岩手 明治二八年一月	一冊		七〇四						
諸普請用具人足其他附留帳 中頸城郡黒川村大字岩手 明治二八年	一冊		七九〇九						
(明治二八年度二九年度道路普請入用ならびに人足差出覚カ)	横長美 飯一冊		七九二九						
黒川村大字岩手米山川通り橋修繕目論見帳下書 (明治二九年六月二四日)	半 飯一冊		二七四七						
用具人足野帳 大字岩手 明治三〇年八月三日、九月二三日	横半半 一冊		七二〇二						
中頸城郡黒川村大字岩手杭柵堤防工事ケ所籠絵図面(下書)	二九・五× 二八・〇cm 一枚		七六三七						
堰普請材板等覚下書	一通		七六六						

大堰芋之鳴堰用具人足覚 (明治)

一通 二〇〇二

長野県会日誌第四号附録 (県道修繕費額調査表)

刊・半

一冊 七六四〇

村政 (明治五年八月まで)

村況

(越後国頸城郡下美守郷岩手村明細差出帳控) 享保五年二月

美

一冊 一七五七

村役人

高畑組岩手村佐藤啓八願書 (老衰につき庄屋役御免願) 民政御役所宛 明治三年二月

一通 七八八六

災害・救恤

植附米夫喰御拝借覚 (岩手村・東寺村・平等寺ほか四ヶ村)

一通 六九四三

米村々人数割覚 (植附米夫喰拝借米カ)

一通 二〇二二

嘉永四年七月七日大雨満水岩野組之内拾四ヶ村御引高覚

一通 七〇九八

高畑組岩手村穢多利兵衛申上書 (宿願寺火災一条につき御尋ねにつき) 中山村・岩手村

一通 二四四一

御役人宛 岩手村啓助・中山村庄屋五郎右衛門奥書連印 菱川孫八郎・高嶋助左衛門宛 辰九月一七日

開作夫喰拝借米渡書 (去巳大凶作につき三ヶ年賦御拝借米岩手村分) 大肝煎所 文吉宛 明治三年四月

一通 二六〇〇

○

大肝煎所用状写 (天保七年元黒岩組御手宛米配分につき) 村々庄屋中宛 二月九日

一通 二七八二

種粳代割賦覚 (平等寺村・岩手村)

一通 二八四六

正金受取方ならびに割当り覚 (岩手村・平等寺村)

一通 二〇五三

戸口

黒岩組岩手村善兵衛願書写 (伴神原主計家来青地左仲の世話になりたく岩手村御帳面より除帳願) 文政三年七月

一通 六九九六

通行

関所通行手形控 (岩手村百姓忠左衛門ほか) 岩手村組頭友七・庄屋啓助 御関所御当番衆中宛 元治元年八月

一通 二〇四〇

道中病人村継送り状 (米山寺村又は岩手村住人女中よき) 金沢問屋平蔵より長峯村庄屋まで二八名 丑六月二十九日〜七月六日

継一通 二〇六七 (二八通)

寺社

芋嶋村禅宗大佛山楞嚴寺恵順名札 延享三年六月二〇日入院

一通 二五九七

*岩手村村方三役願書ほか写 (円田神社神主五十嵐甲斐守社職仰せつけられ候旨) 御奉行所・宗門御奉行所・御代官所・大肝煎所宛ほか 文化九年九月

一通 二三九九

一月寺番所役僧愛^セ願書写 (仙石道之助家来神谷轉事当時一月寺末寺上総国三黒村松見寺監主友鷲事、町奉行組同心らに差押えられ候一件) 天保六年六月

一通 (二枚) 七三三九

岩手村戸長佐藤文吉用状（岩手村八幡宮村社
祭典入費割の件） 高畑村ほか四ヶ村戸長中
宛 九月二二日 一通 六九九七

争論・訴訟

○御救米種粃代渡方出入

↓『佐藤家文書目録（その二）』一八八頁、『同（その三）』
二七頁参照

岩手村長八ほか一名并庄屋啓八済口証文下書
（小前拾三人より庄屋啓八へ相掛り御救恵米
種粃代金渡方出入） 民政御役所宛 明治
三年四月 一通 二〇〇七

学校局中村春作願書写（岩手村出入に付、拙
者腰押致し候由無実の儀申し触れ候につき、
糺明願） 民政局御役人宛 明治三年四月
（一枚） 七〇二

由右衛門ほか四名詫状写（理不尽に徒党致し
心得違いの申掛け申訳なき旨） 儀右衛門宛
ほか 明治三年六月 継一通 七〇九
（五通）

○借金返済遅延一件

郷屋吉郎左衛門書状ならびに岩手村庄屋啓助
差出証文（高寺村市郎右衛門より岩手村小兵
衛へ相掛り一件） 四点 二七〇五
（五通） 二七〇八

郷屋吉郎左衛門書状 佐藤啓助宛 霜月二
日 一通 一七〇五

郷屋吉郎左衛門書状 湯本多十郎宛 五月
二二日 一通 一七〇六

岩手村庄屋啓助差出一札（岩手村小兵衛、
貴殿より金拾兩借用金返金延引の件につ
き） 高寺村庄屋市郎右衛門宛 辰三月二
一日 二通 二七〇七

金子返済勘定書付 一通 二七〇八

その他

一田沖懸覚下書 一通 二〇七八

中屋敷町六郎治願書写（種場村掛持地小作米
滞につき） 御領御奉行所宛 享和元年八月
一通 二七九三

岩手・高畑・米山寺三ヶ村百姓名札 一括 二〇五四

御預所郡中惣代稻谷村多助ほか六名連印一札
写（御預所御役所御引請米購買の際、郡中へ
引宛に請け取り候家屋敷土蔵、返却のこと）
松屋六郎ほか一名宛 嘉永六年五月二九日 一通 六九九三

村政（明治五年八月から）

大区小区

*每小区規則條件（写） 明治五年九月 半 仮一冊 七七六〇

用状

二番組用懸り用状等（明治六年） 一括 一七七点 七八一四
七八三〇

〔注〕七八一四〜七八三〇は、こより紐で一括されていたも

。二番組用懸り用状（人員取調べの件、本県
貢米三井組代納の件等達書伝達） 高畑村
岩手村旧戸長宛（明治六年）西十一月八
日 半 一冊 七八二四

。二番組用懸り新部與八郎用状（朱印地
除地書出しの件達書伝達） 岩手村地券用
懸り宛（明治六年）西十一月五日 半 一冊 七八一五

。二番組用懸り用状（地詰三歌歩以下合併の儀につき達書伝達） 高畑村岩手村地券用懸り宛（明治六年） 酉十一月一日	半	一冊	七八六
。二番組用懸り用状（実地取調べにつき達書伝達） 高畑村岩手村地券用懸り宛（明治六年） 酉十一月四日	半	一冊	七八七
。二番組用懸り用状（村々地引絵図調製につき達書伝達） 高畑村岩手村戸長宛（明治六年） 酉十一月二日	貼重	一通	七八八
。包紙（縣治報知第三十号）		一枚	七八九
。二番組用懸り用状（狐独廃失戸数取調べの件廻達につき伝達） 高畑村岩手村戸長宛 一〇月二〇日	仮綴	一通	七八〇
。二番組用懸り用状（小區捕丁・組合用掛入札の件）	貼重	一通	七八二
。二番組用懸り用状（地券の儀御相談につき出勤依頼ほか） 高畑村岩手村戸長副宛 一〇月一日		一通	七八三
。用懸り新部与八郎用状（大場福治郎家出につき人相書入用の件） 岩手村旧戸長宛 一〇月二〇日		一通	七八三
。二番組用懸り用状（縣治報知第二七号配布の件） 高畑村岩手村旧戸長宛（明治六年） 酉一〇月二九日		一通	七八四
。二番組用懸り新部用状（平民戸数ならびに狐独廃失戸数書上げの件につき達書伝達） 岩手村旧戸長宛 一〇月二二日		一通	七八五
。二番組用懸り用状（借財のため脱走いたし帰籍いたさざる者取り調べの件につき達書伝達） 高畑村岩手村旧戸長宛 一〇月一		一通	七八六

佐藤家文書目録 岩手村 村政（明治五年八月から）

四日			
。二番組用懸り廻達（包紙のみ） 高畑村はか宛		一枚	七八七
。岩野村籠鳥臯三書状 岩手村佐藤叔父様宛 一十一月一〇日		一通	七八八
。岩手村役人届書下書（借財のため脱走者届） 明治六年一〇月一八日		一通	七八九
。二番組用懸り宛（戸籍帳綴直しの件）（その他） 二番組用懸り宛 明治六年一〇月二〇日〜二二日	半	一冊	七八三〇
*戸長役場通達写（初田堰の儀につき岩手村惣代出頭すべき旨中頸城郡役所達書の伝達） 岩手村惣代中宛（明治）一七年一二月一〇日		一通	七七六六
戸長役場用状（県會議員解任について） 岩手村総代中宛 明治一八年一月六日		一通	六九九九
上小野村外十七ヶ村戸長役場戸長渡辺貞治用状（大場義助田租未納につき中頸城郡役所より地所公売の件達書の伝達） 岩手村総代宛（明治）一八年一二月一八日	封筒入	一通	七九三〇
下黒川村役場用状写（保安林調査のため委員選挙の件） 大字馬正面区長橋立樋四郎宛 明治三〇年一二月二九日		一通	二〇六四
災害・救恤			
○明治一〇年風電損害			
明治十年八月廿二日午後五時二十分迅雷風烈 霰電ニテ岩手村耕地荒暴書類入袋	袋のみ	一枚	七八〇九
（注） もとは、七八九三〜七九〇五が入っていたと思われる。			

岩手村惣代吉村泰治・佐藤文吉願書控 (迅雷
風烈霰雹にて耕地損亡につき実地検分願)
新潟県令永山盛輝宛、高田事務取扱所宛 明
治一〇年八月二十四日

耕地風難御届 (下書)

金銭受領書 (天変災につき入費仮割) 小七区
三十番組戸長湯本又三郎 佐藤文吉宛 明治
一〇年九月一日

小七区副大区長代理湯本又三郎用状写 (岩手
村ほか三方村検分の件) 岩手村下灰庭新田
村宛 明治一〇年八月二十九日

副大区長所用状写 (地引絵図・字訳反別付等持
参の上至急出頭のこと) 岩手村灰庭村改正
掛村惣代宛 八月二十六日

小七区副大区長所用状写 (風雹損害場所検分
役人派遣につき出頭のこと) 下小野村ほか
三ヶ村戸長宛 (明治) 一〇年八月二十八日

岩手村損亡反別覚

岩手村惣代願書下書 (七八九三に同じ)

(損亡耕地取調覚カ)
(損亡耕地取調覚)

岩手村惣代吉村泰治・佐藤文吉願書控 (御檢
分引願) 第七大区小七区受持勤大区長宛
明治一〇年一〇月七日

絵図下書

岩手村惣代歎願書下書 (迅雷暴風損亡反別救
濟願)

三通 七九三

一通 七八九

一通 七九五

三通 七九六

一通 七八七

一通 七九八

三通 七九九

一通 七九〇

横長半

仮一冊 七九二

一通 七九二

一通 七九三

一枚 七九四

一通 七九五

明治二〇年四月一八日水害反別取調記 (岩
手)

○ 拝借金返納

岩手村惣代川田村用掛小林金一郎請書ならび
に第七大区小八区戸長三上喜三ほか連署願
書下書 (旧高田藩より拝借金返納の件)
(封筒差出人) 第八大区小八区戸長太田清二
郎 (同宛名) 三上様代理宛 明治六年一二
月、明治七年二月

高田取締所用状 (高田藩より貸附金年賦当戊戌年
分返納のこと) 第七大区小八区戸長三上喜
三宛 明治七年二月二日

第七大区小八区岩手村分旧高田藩貸付金年賦
返納金割賦書 小区長三上喜三 岩手村佐藤
文吉宛 明治八年二月二〇日

旧藩より拝借種籾金返納関係書類ほか 明治
九年ほか

1 金銭支払書上

2 新潟県租税課癸酉社寺領国役癸酉国役受
取証 第七大区小八区岩手村宛 明治七年
一月

3 種籾代金返納割 新潟県管轄第七大区小
八区岩手村 明治九年二月一七日

4 佐藤文吉書状 (種籾代ならびに手数料請求
につき) 上小の村大竹義一郎宛 二月七日

(注) 3の丁問文書 (三丁目)

5 旧式番組戸長金銭預り証 (旧藩より年賦

横長半 仮一冊 二七五

封筒入 二通 七六五

封筒入 一通 七六二

一通 六九八

袋入 三九点 七二六

封筒入 一通

一綴 (二通)

横長半 一冊

一通

- 料) 岩手村旧総代宛 明治一三年一月二五日 一通
- (注) 3をニツ折にした間にはさまっていたもの
- 6 種粃代金返納取立帳 新潟県中頸城郡岩手村 明治一三年一月二三日 横長半 一冊
- 7 用掛新部与八郎用状(当成畑石代・国役金上納につき戸長達書の伝達) 高畑村・岩手村総代宛 七年一月四日〜五日 一通
- 8 第八大区小七区戸長岩佐彦惣・小八区戸長太田清三郎・小九区戸長松原弥惣連名願書写(旧高田藩へ返納金、分老割利引につき) 新潟県令楠本正隆宛 明治七年一月 美 仮一冊
- 9 高畑組岩手村米雑穀人別書上 一通
- 10 覚(米納日ニ付書上) 一通
- (注) 9にはさまれていたもの
- 11 小七区副大区長書状封筒 岩手村戸長宛 一月四日 封筒のみ 一枚
- 12 戸長三上喜三書状包紙 岩手村佐藤文吉宛 二月二二日 包紙のみ 一枚
- 13 戸長三上喜三種子粃代受取証 岩手村佐藤文吉宛 八年二月九日 一通
- 14 本県出納課金銭請取証(旧高田藩より拝借金年賦戌年分) 佐藤文吉宛 明治七年一月二八日 一通
- 15 袋(訴変状入袋) 明治三年三月二三日 袋のみ 一枚
- 16 旧式番組戸長書状(中頸城郡役所より旧高田藩年賦貸下金に付き達の写) 岩手村 一通

- 惣代宛 一二年一月二九日
- 17 かき崎河吉書状 柿崎渡辺弟宛 一月三日 (種) 一通
- 18 中村屋与惣次書状(金円之儀に付) 佐藤且那様宛 一月二九日 一通
- 19 左一郎書状(拝借米年延の事に付) 佐藤宛 己申二月二日 一通
- 20 書付断簡 一通
- 21 副大区長書状(高田事務扱所より旧高田藩貸下ケ年賦金上納催促状の写) 岩手村村惣代佐藤文吉宛 封筒入 一通
- 22 新潟県中頸城郡長渡部健藏金銭受領証(旧高田藩年賦貸下金) 岩手村新部与八郎宛 明治一三年一月二八日 一通
- 23 式番組戸長割賦賃受領証 岩手村惣代宛 一二年一月五日 一通
- 24 副大区長三上謙三種粃拝借年賦返納金受領証 岩手村総代宛 一二年三月一日 一通
- 25 新潟県第六課旧藩貸付金返納請取証 岩手村宛 明治九年一月二二日 一通
- 26 社寺数当り不足金書上(岩手村分) 一通
- 27 高田呉服町長澤六一郎書状(拝借米代金上納に付) 新沢多三治宛 九日 一通
- 28 蔵元立会中書状 佐藤宛 一二月四日 一通
- 29 中頸城郡役所通達(旧高田藩年賦貸下金上納に付) 岩手村戸長中宛 一三年一月二二日 一通

30 新澤大三書状 (拝借米返納の儀に付)
佐藤宛 一二月二日 一通

31 石高書上断簡 一通

32 新潟県令永山盛輝通達 (旧高田藩年賦貸下金返納に付) 第七大区小八区受持副大区長宛 明治九年一月一日 一冊

33 中頸城郡役所通達写 (旧高田藩年賦貸下金上納に付) 米山寺村戸長中 明治一六年一月 一通

34 (米雑穀人別書上) 横長半 一冊

35 (米雑穀人別書上) 横長半 一冊

36 (岩手村拝借種粃代書上帳下書) (明治三年御上様より去已年皆損亡悪作に付種粃代として被下置候) 横長半 一冊

37 岩手村喰米・残米書上控 高畑組岩手村庄屋文吉 明治三年三月 五通

38 高畑組村々門徒中請書写 (民政役所より参詣施物等禁止の達に付請書) 明治三年三月一七日 半 一冊

39 夫人書上 (大砲外長持附) 高畑組岩手村庄屋文吉 民政役所宛 一通

第七大区小七区受持副大区長用状 (高田事務扱所より大区長渡邊貞治宛て旧高田藩貸下金年賦返済金上納につき達書の伝達) 式番組戸長宛 (明治二年) 一月四日 一通 二八四八

徴兵

戸長役場用状 (徴兵応募者の出頭期日につき) 岩手村惣代宛 明治二年三月五日 一通 七〇一九

寺社

* 中頸郡役所用状写 (岩手村正眼寺寺院細取調べのこと) 米山寺村戸長宛 (明治) 一二年六月一四日 一通 七八〇三
一五

皇太神宮初穂納入其他書類 (明治七年一五年) 袋入 一三三点 七三〇四

1 米山寺村高島清十郎皇太神初穂・風卷神社寄付金預り書 岩手村佐藤文吉宛 四月一〇日 一通

2 神税取立帳 岩手村 明治八年正月五日 横長半 一冊

3 米山寺村戸長高島清十郎皇太神初穂受取書 岩手村佐藤文吉宛 明治一五年二月二四日 一通

4 戸長所太麻初穂金受取書 岩手村惣代宛 (明治) 一二年一月二五日 一通

5 風卷神社寄附金覚 米山寺村戸長役場 明治一四年四月一〇日 一通

6 (神税納帳) 岩手村惣代佐藤文吉 明治一〇年一月一五日 美 一冊

7 岩手村神税納入覚 岩手佐藤文吉 戸長 新部与八郎宛 明治一五年一月二二日 一通

8 皇太神宮大麻御初穂神納証 岩手村佐藤文吉宛 明治一二年 一通

9 皇太神宮大麻御初穂神納証 佐藤文吉宛 籠嶋徳四郎宛 明治一二年 三通

10 皇太神宮岩手村人民へ渡方記 明治一四年一月二二日 一通

- 11 金銭人別書上〔神税納入カ〕 明治九年二月一四日 一通
- 12 祠掌籠島憲章太麻御初穂代金受取書 岩手村佐藤文吉宛 第一三年一月一三日 一通
- 13 籠鳴憲章書簡〔太麻受取証雛形につき〕二番組戸長中宛 一二月六日 一綴(三通)
- 14 村社祠掌社務所神納証 納入佐藤宛 明治一三年一月六日 一通
- 15 金銭人別書上〔神税納入カ〕 一通
- 16 式番組戸長居多神社寄付金受取書 岩手村惣代中宛 (明治)一一年二月二五日 一通
- 17 百木村戸長新部與八郎神税受取書 岩手村惣代佐藤文吉宛 (明治)一一年一月二一日 一通
- 18 佐藤七郎治神社寄付金納入証 高原佐藤宛 四月九日 一通
- 19 神税納入覚 第七大区小七区岩手村 一通
- 20 御初穂神納帳 中頸城郡岩手村 明治一三年一月六日 一冊 横長美
- 21 初穂料納入覚 米山寺村戸長役場所 明治一五年二月二四日 一通(二枚)
- 22 大神宮御初穂 第七大区小八区二番組岩手村 明治七年四月 一冊 美 飯一冊
- 23 袋(表書) 明治九丙子年二月皇太神宮初穂 一枚

〔注〕 七三〇四一〜22が入っていた袋

学校

- 第四中学区公立式拾七番上小野校資本金借用証〔袋〕 第七大区小八区式番組岩手村 明治七年七月 袋のみ 一枚 二八三
- 第四中学区廿七番小学資本金割賦書〔二番組岩手村分〕 一通 七三七
- 公立中学校資本金利子帳 明治八年二月二日 横長半 一冊 二七四九
- 明治八乙亥年七月ヨリ十二月迄半年分公立中学校資本金利子取立帳 新潟県管下第七大区小八区岩手村 明治九年二月一七日 横長半 一冊 二七五〇
- 公立学校資本金利子集纏帳 新潟県管下第七大区小七区岩手村 明治九年九月一日 横長美 一冊 二七五一
- 上小野高等小学校費支出課賦契約証 黒川青年会委員湯本乾三郎ほか二名 黒川村各大字 人民惣代宛 明治一七年 半 飯一冊 七七八
- 戸長役場用状写〔学校巡視として郡長巡回に付き〕 各村惣代中宛 明治七年一二月六日 一通 七八五
- 他村
- 越後国頸城郡水野村埋葬地願書ならびに絵図下書〔雛形とも〕 水野村用掛高鳴清十郎・戸長三上喜三 明治七年二月 半 飯一冊 七八四七
- その他
- 中頸城郡上小野村外十七ヶ村戸長役場用状〔郡役所類焼の砌り岩手村地券台帳焼失につき、新製のため当役場備付の分貸し出しのこと〕 岩手村惣代宛 明治一九年二月二四日 一通 七九三七

上小野改正用掛三上謙三用状〔副大区長大区
長会御出頭につき御談じ申したく出席依頼〕
高畑村・岩手村・岩野村改正用掛宛 九月
二二日

一通 七五七

佐藤仁太郎他一四名届書下書〔家用料酒製
造鑑札返納に付き〕 明治一九年

仮一冊 七〇八

吉村泰治退隠御届写〔養子吉村常吉ヲ以テ跡
相続為致候〕 黒川村長湯本又三郎宛 明治
二八年九月二九日

一通 七六八四

火葬許可証〔黒川村大字岩手鈴木源吉妻チセ〕
日 黒川村長湯本又三郎 明治二八年九月一九

一通 七〇四

佐藤家

経営

所 持 地

西鳴組大肝煎八木文左衛門用状写ならびに西
鳴組原町村庄屋作左衛門喜三郎指上一札写
〔下町村定右衛門懸持高を岩手村八平名前に
高帳書き替への件〕 原ノ町村庄屋宛、大肝
煎所宛 宝暦四年四月、五月

継一通 二〇四〇
(二)通

郡奉行達書写〔原町村高辻の内下町村貞右衛門
掛持高十六石を岩手村八平名前に付け替へ申
し付け候旨〕 西鳴組大肝煎宛 三月二六日

一通 二〇三七

*小作水入証文綴 岩手村小作人佐藤長八ほか
岩手村佐藤文吉宛ほか 明治三年、五年

一綴 七六〇三
(三)通 一三

届書控〔地租改正につき新旧地主地分けのこ
と〕 小八区六番組米山寺村小池長作他、岩
手村佐藤文吉・佐藤泰助 戸長宛 明治七年
七月

一冊 七七八三

馬正面村小池長八郎・岩手村佐藤文吉定約証
〔小池長八郎より佐藤文吉へ田地質入〕 明治
一三年一〇月二七日

一冊 七七八八

馬正面村小池長八郎・岩手村佐藤文吉定約書
〔小池長八郎より佐藤文吉への質入田地請戻
定約〕 明治一四年八月二六日

一冊 七七八九

水野村薩美ちか地所売渡証券 岩手村佐藤文
吉宛 明治一九年一二月

美 仮一冊 七七八四

質地証文雛形

一通 二〇九五

(持地反別地価ならびに地券証印稅仕訳書)
(佐藤文吉分)

百木村地価五拾円未滿地主名前

半 一冊 七六三四

立木間尺調下書 明治二五年

(立木本数・回寸法覚カ)

一括 四通 二四五九
横長半 一冊 七六三五

所得

明治廿五年所得稅明細表下書

一通 七六八二

金融

寛政十年年十二月四日樋場新田与惣左衛門殿
貸付金之一件久右衛門手帳写 小田久右衛
門 湯本安次郎宛 午二月二七日

横長美 一冊 七〇四〇

岩手村安右衛門金子借用証文 (墮胎入用取替
金) 岩手村喜太郎宛 享和三年閏正月

一通 二四四二

松兵衛金子借用証文 安右衛門宛 文化四年
七月

一通 七〇三五

佐三右衛門書状 (密山師方へ掛け合いの上金式
両卷分式朱借金仕り、証文取り返し申し候
件、その他) 佐藤大旦那宛 (文政一
年) 二月二十五日

附共 二通 二〇七四

附 岩手村喜太郎金子借用証文 米山寺
村惠順宛 文化八年二月 一通

七郎左衛門来西繩葉代銀借用証文 佐藤八平
宛 申二月二日

一通 六九五

当亥取替金覚 (上納金不足分、今町行ほか)
湯本 佐藤宛 亥二月

一通 七〇九七

大工金七金子借用証文 佐藤八平宛 延享二
年七月

一通 七七一

地所書入学校金借用之証 佐藤泰助・佐藤文
吉 第四十学区二七番小学上小野校宛 明治
七年七月一日

半 一綴 (二通) 七七五

佐藤文吉借用金証書ならびに鈴木龍太郎返済
金請取書 柿崎駅鈴木龍太郎宛 明治一一年
四月一日ほか

一綴 (四通) 二七七

明治十四年から明治廿八年まで元金出金差引
勘定覚下書

一通 二〇三三

融通講寄金勘定下書

一通 七〇七

小作地経営・売米

元文三年諸村持高年貢諸懸り米金算用目録な
らびに諸品代金勘定書等綴 こんや市郎兵
衛ほか 佐藤八平宛ほか 元文三年

一綴 (三四通) 二七四五

諸村持高年貢米金差引勘定書ならびに諸品代
金受取書等綴 阿弥陀瀬村庄屋五右衛門ほか
岩手村友右衛門宛ほか 延享三年

一綴 二〇五一

岩手村しま城米預り証文 岩手村松五郎宛
明和七年二月九日

一通 二四四三

岩手村請人安左衛門請書 (岩手村しま米借用
につき) 岩手村松五郎宛 丑十一月二四日

一通 二四四四

諸村持高年貢諸懸り算用目録ならびに諸品代
金勘定書等綴 佐藤家宛 安永二年

一綴 二〇五一

安永七年諸村懸持高年貢諸懸り米金算用目録
ならびに品代勘定書等綴 岩手村佐藤八平
宛ほか 安永七年

一綴 (五冊) 二〇四七
(三六通)

天明四年諸村持高年貢諸懸り算用目録ならびに納米品代等請取書綴 岩手村喜太郎宛 天明四年

(一級) 四八通 六八七九

米山寺村庄屋清三郎ほか諸村持高年貢諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 天明六年一月二月

一括 六通 七〇九二

阿弥陀瀨村庄屋惣左衛門ほか子年諸懸り割賦目録・同子年入立勘定書・同子年預米勘定書等 岩手村喜太郎宛 寛政四年一月二月ほか

一括 四通 六九三二

猿毛村兼帯庄屋茂右衛門子年諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政四年一月二月

一通 二〇二六

下灰庭新田村庄屋又三郎当子御年貢米算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政四年一月二月

一通 二〇二九

芋嶋村庄屋彦右衛門当子米方支配人小前目録ならびに当子諸出銀指引目録 岩手村喜太郎宛 寛政四年一月二月

一括 二通 二〇四九

赤沢村庄屋伊左衛門・彦左衛門当子御年貢諸懸り米金算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政四年一月二月

継一通 二六〇四 (二通)

下条村庄屋太次右衛門当子小物成大豆代小懸り指引目録 岩手村喜太郎宛 岩手村甚左衛門宛 寛政四年一月二月

二通 二八〇〇

下条村庄屋太次右衛門当貢小物成大豆諸懸り割賦目録 岩手村喜太郎宛 寛政六年一月二月

一通 六九八九

百木村庄屋所ほか当寅年貢米金算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政六年一月二月

一括 三通 七〇五七

阿弥陀瀨村庄屋伝右衛門惣右衛門当寅高掛り諸出永算用目録等 岩手村喜太郎宛 寛政六年一月二月

一通前欠 三通 七〇七九

赤沢村庄屋吉郎左衛門伊左衛門当卯年貢小懸

継一通 二〇四一

り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政七年一月二月

(二通)

百木村庄屋所当辰年貢諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政八年一月二月

前欠カ 一通 六八九九

阿弥陀瀨村庄屋伝右衛門辰入立米納差引勘定書 岩手村喜太郎宛 寛政八年一月二月

一通 七〇三九

下灰庭新田村庄屋又三郎当辰年貢米諸出銀割賦算用目録 岩手村喜太郎宛 米山寺村市郎左衛門宛 寛政八年一月二月

継一通 (五通) 七〇七六

申上納目録 喜太郎 寛政二二年

袋入 一冊 二四〇〇

1 当申訃々米 米金預り指引帳 鴈海村 寛政二二年一月二月

横美半 一冊

2 39諸村持高年貢米金算用目録ならびに諸品代金勘定書等 喜太郎宛ほか 寛政二二年一月二月ほか

三八通

米山寺村・芋嶋村貸米覚(文化九年より文化十四年より七年より九年季)

一通 七三三八

水野村庄屋吉左衛門米金算用目録 八平宛 文政五年

一通 七〇三三

鴈海村金左衛門当午作徳米ならびに利米勘定書 岩手村八平宛 文政五年一月二月

一通 二〇二六

下条村庄屋太次右衛門ほか二名当午小物成大豆代諸懸割賦算用目録 岩手村八平宛 文政五年一月二月

一通 二〇二二

下条村支配人太次右衛門当午入立米指引勘定目録 岩手村八平宛 文政五年一月二月

一通 二〇三三

芋嶋村庄屋与市郎当午米納算用目録ならびに当午小懸り算用目録 岩手村八平宛 文政

二通 二〇七三

五年一二月

(支配人庭帳切入米・支配人徳米取立帳)
芋嶋村金右衛門 岩手村佐藤松五郎宛 文政八年一二月

横長美

一冊 六九八四

諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 川田村庄屋金左衛門ほか 岩手村松五郎宛ほか 文政八年一二月

一綴 二〇七七
(二通)

文政九年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴(文政八年を一部含む) 佐藤友右衛門宛、八平宛、松五郎宛 文政九年(含、文政八年)

一綴 六八七八
(二八通)

上輪新田村当三亥諸万雜割賦書(岩手村懸持八平分) 文政一二年一二月

一通 七〇三七

上輪新田村去戌年諸万雜金受取書 岩手村懸持八平宛 文政一二年正月

一通 二〇二五

寅悪作支配人銘々(悪作引人別書上) 芋嶋村林右衛門 岩手村佐藤公宛 文政一三年一〇月

横長美
断簡

一丁 七三四六

支配人下目録 芋嶋村林右衛門 岩手村佐藤公宛 天保一二年二月

横長半

一冊 二八二五

角取組鴉海村豊松入立米代金借用証文 岩手村佐藤友右衛門宛 天保五年一二月

一通 二八三三

天保六年米悪作引覚(与右衛門支配ほか) 天保六年

二通 六九六一

三上米差引勘定書 佐藤宛 天保六年一二月

一通 二八二二

米山寺村与頭庄右衛門西御年貢米諸役銀算用目録 岩手村友右衛門宛 天保八年一二月

一通 七〇四四

上輪新田村庄屋平助当酉年諸上納ならびに郡小懸り等割賦目録 岩手村掛持友右衛門宛

一通 二〇七一

天保八年一二月

米山寺村与頭庄右衛門当亥年米金諸上納割賦目録 岩手村勇吉宛・啓助宛

断簡

二通 六九三三

(米代差引勘定覚) 天保一〇年

芋嶋村庄屋与右衛門ほか当丑御年貢米割賦算用目録 岩手村啓助宛 天保一二年一二月

一通 七〇七五

中山村庄屋当丑御上納諸役永割賦算用目録

一通 二〇三四

下条村庄屋甚右衛門当丑小物成大豆代諸懸り永割賦算用目録 岩手村啓助宛 天保一二年一二月

一通 二二五九

諸村持高小物成大豆代諸上納ならびに郡中組内村入用等割賦目録綴 馬正面村庄屋美右衛門ほか 岩手村友右衛門宛、啓助宛 天保一五年一二月、一二月

一綴 二〇七一
(二通)

水野村庄屋仁左衛門当巳御年貢米金小掛り永割賦算用目録 岩手村啓助宛 弘化二年一二月

一通 七〇八一

水野村悪作引方帳 弘化二年九月

横半
断簡

三丁 七三四九

弘化四年ほか諸村持高年貢諸懸り算用目録等 弘化四年、弘化三年、安政二年

一括 一綴 六九三三
八通

(注) 1、8は9を包紙として一括されていたもの。

1 芋嶋村ほか諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 岩手村啓助宛 弘化四年一二月

一綴 (七通)

2、6 鴉海村ほか諸村持高年貢諸懸り算用目録 岩手村啓助宛 弘化四年一二月

五通

7 水野村庄屋仁左衛門当午米金算用目録 岩手村啓助宛 弘化三年一二月

一通

8 水野村庄屋仁郎右衛門当卯米金算用目録
岩手村啓助宛 安政二年一二月

9 某書状

柿崎平子屋与五右衛門ほか内蔵米受取手形綴
岩手村佐藤慶助宛ほか 嘉永元年五月一六月

下条村庄屋甚左衛門当申小物成大豆代諸掛り
永割賦目録 岩手村啓助宛 嘉永元年一月
附 覚(未年分悪作引) 下条村七右衛門
佐藤宛 一通

嘉永元年諸村持高年貢諸懸り米金算用目録綴
芋嶋村庄屋与右衛門・作兵衛ほか 岩手村
啓助宛 友右衛門宛 嘉永元年

米山寺村庄屋瀬左衛門年貢米金諸上納割賦算
用目録 岩手村啓助宛 嘉永四年一二月

嘉永四年諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴ほか
上池田新田庄屋藤右衛門ほか 岩手村啓
助宛 嘉永四年

諸村持高年貢諸懸り割賦算用目録 鴈海村庄
屋藻左衛門ほか 岩手村啓助宛ほか 嘉永五
年一二月

水野村庄屋仁郎右衛門当子年貢米金算用目録
岩手村啓助宛 嘉永五年一二月
附 覚(上納永差引勘定覚) 一通

諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 泉村庄屋
甚右衛門ほか 岩手村啓助宛 嘉永五年一
月、一二月

嘉永六年諸村持高年貢諸懸り算用目録 嘉永
六年

前後欠

一通

一通

一綴 七〇一
(一三)通

附共 七〇七
二通

一綴 二八七六
(一一)通

一通 二〇九二

一綴 二五五六
(一八)通
一通

一括 二〇三五
三通

附共 二〇四二
二通

一綴 二〇八六
(二〇)通

一括 六八七六
五点

(注) 2と5は1の挿入文書。2と4は一括されていたもの。

1 鴈海村ほか諸村持高年貢諸懸り算用目録
岩手村啓助宛 嘉永六年 (一〇)通

2 泉村庄屋所当丑諸掛永割賦目録 岩手村
啓助宛 嘉永六年一二月 一通

3 当丑悪作引覚 庄屋所 岩手村啓助宛
嘉永六年 一通

4 覚(入立米納等差引算用) 嘉永六年一二月 一通

5 馬正面村庄屋美右衛門当丑諸上納ならび
に郡中組内村入用等算用目録 岩手村友
右衛門宛 嘉永六年一二月 一通

八幡組馬正面村庄屋美右衛門当寅小物成大豆
代其外諸上納并郡中組内村高掛り諸入用割
賦目録 岩手村友右衛門宛 嘉永七年一二月 一通 二〇九〇

上池田新田庄屋藤右衛門寅小物成大豆代其外
諸上納金割賦目録 岩手村啓助宛 嘉永七
年一二月 一通 二四九四

安政二年諸村持高年貢諸懸り米金算用目録綴
ほか 下灰庭新田村庄屋貢三郎ほか 岩手村
啓助宛 安政二年 (一五)通 (二五)七

馬正面村庄屋美右衛門当卯小物成大豆代郡中
組内諸懸り割賦差引目録 岩手村友右衛門
宛 安政二年一月 一通 二〇八九

割方立会馬正面村定八郎ほか五名連印当卯小
物成大豆代ならびに郡中組内出永割賦目録
岩手村啓助宛 安政二年一二月 一通 二〇八八

上池田新田庄屋藤右衛門当辰小物成大豆代其
外諸上納金割賦目録 岩手村啓助宛 安政
二年 一通 二〇九一

三年一二月

諸村持高上納目録ならびに悪作引覚等級 下
小野庄屋所ほか 岩手村啓助宛 安政四年

一綴 (八通) 七〇三

上池田新田庄屋藤右衛門当已小物成大豆代諸
上納金割賦算用目録 啓助宛 安政四年一
二月

一通 二〇四三

諸村持高年貢諸懸り米金算用目録綴ほか 安
政五年

一綴 (二〇通) 二〇九四

水野村庄屋仁郎右衛門年貢諸懸り米金算用目
録 岩手村啓助宛 元治元年一二月、慶応元
年一二月

二通 二四六二

諸村持高諸上納郡役組内小掛入用等算用割賦
目録 中山村庄屋茂平治ほか 佐藤啓助宛
明治二年

一括 三綴 七〇三五
四通

* 鷹海村与頭喜作拜借返納金其外諸入費割賦書
佐藤文吉宛 明治四年八月

四通 二五五三

諸上納米金割賦書ならびに受取書綴 佐藤文
吉宛 明治六年一九月

一綴 二〇五〇

佐藤家徳米差引書ほか 芋嶋村小山彦一郎ほ
か 佐藤文吉宛 明治六年一二月ほか

一括 一冊 二〇五三
三通

(注) ひとつに巻き込まれていたもの

諸村持地諸上納ならびに村入用入費割等割賦
書綴 佐藤文吉宛 明治六年

一綴 二〇五四

* 馬正面村分管内入費其外割賦書ならびに立会
勘定記等 馬正面村用掛川内喜由次ほか 佐
藤啓助宛ほか 明治六年、七年

一括 九通 二五四八

内蔵米請取書・内蔵米津出覚等 (明治九年
一〇年)

袋入 一五點 七三〇〇

1 札「直海浜杉惣」の店印と人名を記した
もの

一綴 (三四枚)

2 直海浜村杉田佐一郎蔵米請取書 岩手村
竹原宛 (明治一〇年九月二九日)

一通 一綴

3 札「1と同じもの」

四枚 (四枚)

4 柿崎於田屋蔵米請取書 岩手村高原宛、
佐藤宛 明治九年九月二七日、一〇年九月
二六日、一〇年九月二七日

八通

5 柿崎鈴木や蔵米請取書 岩手村高原宛
明治一〇年六月一四日

一綴 (二通)

6 札「1と同じもの」

八枚

7 札「1と同じもの」

一綴 (三九枚)

8 灰庭村米俵数人別書上

一通

9 岩手村高原米俵数取調勘定書 百木村衆
中宛 明治一〇年一〇月五日

一通

10 明治十五年内蔵出米 明治一〇年九月二
六、二七、九日

一冊

11 米俵数書上 (明治一二年一月三日カ)

一通

12 銭高及び俵数人別書上 (明治一二年一月
二一日相渡) (明治一二年一月カ)

一冊

13 (岩手村ほか津出米俵数覚カ) 九月二
二日

一冊

14 (岩手村ほか内蔵米津出覚) 九月二
日

一冊

15 袋 (裏書)「明治九年新潟県管内割七大
区小七区割配賦」

一枚

〔注〕 1514が入っていたもの。

柿崎宿鈴木屋龍太郎内藏米請取書 佐藤文吉宛 明治二二年四月一日 一通 二六〇五

柿崎太田屋作太郎ほか米受取書綴 岩手高原佐藤文吉宛 明治二三年 一綴 二八五五

米場詰差引覚〔万次郎分ほか〕 明治二五年 横長半 仮一冊 二〇六一

田畑反別覚・入附米俵覚ほか 明治二九年ほか 一括 九通 二四〇〇

場詰米覚等 (明治二九年) 一括 四點 二〇〇八

水野薩美仁左衛門書状 佐藤与吉宛 明治二九年二月五日 二通 二〇〇五

場詰米覚〔明治二九年一月四日中村芳五郎場詰ほか〕 二通 二〇〇六

場詰米覚 一通 二〇〇七

明治二九年一月二九日米山寺太田長二郎場詰米覚 一通 二〇〇八

明治廿九年度及三十年度小作米記 字上中山碓井六三郎 字岩手佐藤宛 一通 七三六

明治三十年度大字岩手水害虫害悪作引米覚 (入付米悪作引書立仮帳) 明治三〇年九月一日 一通 七三〇

米借用証書雛形 中頸城郡黒川村大字岩手佐藤耕策後見人佐藤與吉宛 明治三〇年 横長半 仮一冊 七二四

明治三十年九月十日浮塵子驅除中晚稻反別 一通 七三五

米俵数人別書付〔大字米山寺悪作引計上〕 明 (三枚) 一通 二八三六

一通 七四五

治三〇年二月三日

下黒川村大字阿弥陀瀬区长檜出傳四郎通知書 (本年度悪作引米通知書) 佐藤耕策宛 明治三〇年十一月 一通 七六三

入立米差引勘定覚 明治三〇年一月 四通 七六六

(字鬼谷ほか入付米引米覚) 明治三〇年一月一日 横長半 仮一冊 七六六

小作米悪作引方關係文書 (明治三〇年) 九點 (一五通) 七六九

1 旭村大字梶検見法小作手数料下書 (明治三〇年九月二七日以降) 二通

2 検見経過記録 (明治三〇年九月一日) 六通

3 小作人より引米合計覚 (明治三〇年一月一日) 一通

4 反当小作入付米覚 一通

5 芋ノ島佐藤弥三郎分入付米取調覚 (九月一八日検見) 一通

6 米山寺村分入付米覚 一通

7 太田長三郎・小池清三郎より不作につき貸米願俵数覚 明治三〇年一月一日 一通

8 入立米引米覚 一通

9 引米覚カ 一通

百木武四郎書状〔悪作検見願〕 岩手佐藤耕策宛 (明治三〇年) 九月九日 附共 二通 七六四

附 百木一字佐藤耕策所有地入附米引米覚 一通

入附米・引米等覚下書 (明治三〇年十一月)	一八通	七六四七
入附米覚・借米日記等 (含断簡) (明治三〇年)	一〇枚	七六四八
扶食米借用証書下書 (明治三二年)	三通	七六四五
黒川村大字芋ノ島交換地入付米覚 (明治三七年)	一通	七五三
小池屯太郎分ほか入付米場詰勘定覚 (明治三八年二月四日)	二通	七六〇〇
越後柿崎町◎合資会社支店米入荷報告綴 佐藤耕策宛 明治四三年一月二日〜四四年九月一日	一綴 (六四通)	七三〇
柿崎町◎合資会社支店出荷米仕訳書 佐藤耕策宛 明治四四年四月三日	封筒入 五通	七八八
柿崎町◎合資会社支店米入荷報告書綴 佐藤耕策宛 明治四四年〜四五年	一綴	七八九
中村芳五郎分ほか米俵差引勘定覚 (明治)	横長半 飯一冊	七六〇二
小作人悪作引米勘定下書 (明治)	一通	七六〇六
入付米悪作引米覚 (明治)	一通	七六一七
字馬正面ほか検見覚 (小作入附米引米差引) 大正二年	一綴 (一〇通)	七六七九
字水野入附米引方覚 大正二年度	一通	七六八〇
柿崎町◎合資会社支店米入荷報告書綴 佐藤耕策宛 大正四年、五年	一綴	七〇一
◎合資会社柿崎支店書状 佐藤與吉宛 大正四年五月九日	封筒入 一通	七六九六
◎合資会社柿崎支店書状 佐藤與吉宛 大正五年二月一〇日	封筒入 二通	七六五六
高田稅務署書状 (小作米の調査要求) 佐藤耕策宛 大正六年二月五日	封筒入 附共 三通	七六五四
附 佐藤耕策答申書下書 高田稅務署長宛 二通		
入立米勘定覚 (薩美憲一・薩美直吉分) 大正六年二月九日	一通	七六三
入立米勘定覚 (市原與助分ほか) 大正六年二月一〇日	一通	七六四
黒川村役場書状 (高田稅務署への取調報告提出の催促) 佐藤耕策宛 大正七年一月一八日	一通	七六七
◎合資会社柿崎支店書状 (米買売数量価格調査) 佐藤耕策宛 大正七年二月二三日	封筒入 一通	七六五
宮崎義一書状 (県道潰地のため小作米異動計算の件、計算下書共) 佐藤耕策宛 大正一年一月二三日	封筒入 附共 二通 (三枚)	七六五
◎年不詳分		
*下灰庭新田村庄屋又三郎当已御年貢米算用目録 岩手村喜太郎宛 巳二月	一通	六八四
上輪新田村庄屋所当未御上納米諸役小懸り割賦目録 岩手村友左衛門宛 未二月	一通	六九八
上灰庭新田村庄屋定吉雜用金割賦書 (上灰庭字宮ノ下操穴播堀普請雜用) 岩手村友右衛門宛	一通	七〇六
百木村庄屋所ほか当年御年貢小物成郡中組内小懸り等算用目録 岩手村八平宛 午年二月	一括 三通	七〇九

上輪新田村庄屋平七万雜懸り物算用目録 懸持岩手村喜太郎宛 卯一二月一五日	一通 七〇六五	*下灰庭新田与頭又三郎戌先納金割賦書 松五郎宛 戌六月一〇日	一通 二八八八
米山寺村庄屋幸左衛門当子御年貢米金諸懸り割賦算用目録 岩手村喜太郎宛 子一二月	一通 七〇七三	*下灰庭村組頭又三郎去卯年国役銀割賦書 岩手村喜太郎宛 辰九月二九日	一通 二九三三
鴈海村金左衛門入立米出金差引勘定目録 岩手村懸持喜太郎宛 卯一二月	一通 七〇八三	*下灰庭新田又三郎当辰小物成棟役賦課書 岩手村喜太郎宛 辰一二月	一通 二九三三
鴈海村庄屋茂右衛門当子諸掛り算用目録 岩手村喜太郎宛 子一二月	一通 七〇八九	*落合庄屋与一左衛門去卯年国役銀御用金割賦書 岩手村喜太郎宛 辰一〇月	一通 二九二四
上輪新田村庄屋去子万納懸り請取目録 岩手村佐藤喜太郎宛 丑正月一七日	一通 二〇三三	蔵米預り書・懸持高米金算用目録・書状等 辰年巳年ほか	一括 二〇六七
猿毛村兼帯庄屋・中山村庄屋茂左衛門当午諸役永割賦目録綴 岩手村八平宛 (午) 一二月	一綴 (二通) 二〇四六	利米差引勘定覚 (畑步数覚)	後欠 一通 六九三〇
附 中山村茂左衛門書状 佐藤八平・松五郎宛 午一二月一七日	一通 二〇四六	(田地入立元差引帳断簡力)	七丁 六九五七
水野村庄屋喜物次当卯米金皆済目録 岩手村喜太郎宛 卯一二月	一通 二〇四八	戌年場帳写 (佐藤家分)	一通 七〇〇三
米山寺村庄屋幸左衛門当寅御年貢米金郡中組内小懸り差引算用目録 岩手村喜太郎宛 寅一二月	一通 二〇七〇	下条村定平靱請取書 岩手喜太郎宛 一二月五日	一通 七〇〇八
米山寺村庄屋瀬左衛門戌年貢諸懸り米金算用目録 岩手村啓助宛 戌一二月	一通 二〇八七	鴈海村庄屋金左衛門入立米差引勘定書 岩手村松五郎宛 丑一二月二二日	一通 七〇五三
下灰庭新田村庄屋太喜平当寅先納金割賦書 岩手村友右衛門宛 寅二月	一通 二四四五	(蔵米売渡代金差引勘定帳) 今町苔屋徳兵衛 佐藤友右衛門宛 戌九月	横長半 一冊 七〇五三
米山寺村清三郎米納算用仮目録 岩手村喜太郎宛 極月二二日	一通 二六〇二	蔵米受取預り書綴ほか 柿崎問屋平野勘兵衛ほか 高原宛	一括 (一九通) 七〇七四
上和新田村庄屋中当先納銀御納米其外算用目録 岩手村惣左衛門宛 正月二八日	一通 二七九九	悪作引米御納所米差引覚 馬小面六郎右衛門 岩手村佐藤友右衛門宛 未一二月二七日	一通 七〇七八

高原前収穫米取分覚カ

小作人苗代田覚

入附米俵数等級書付

記(太田長三郎持地半前の分、米俵内訳)

(米納その他差引目録下書)

戊利永・亥割差引勘定覚 亥一二月 平八
高原宛

田地作人覚(友右衛門前分、勇吉前分)

小作入付米米納差引覚

芋嶋村助左衛門徳米目録 岩手村高原宛 子
一二月

田畑屋敷地合計覚

岩手村喜太郎場詰引覚ならびに岩手村甚左衛
門米目録 寅閏一二月二三日

(入付米差引目録)

米山寺郷蔵納米ならびに高原納米覚

馬正面村平治郎引米覚ほか 岩手村佐藤宛
子一二月八日

上榊下榊覚(米俵勘定)

入付米差引覚

一通 七六七

一三二通 七六四〇

横長半 仮一冊 七六四二

一通 七九六二

一通 二〇七五

一通 二二九一

一通 二七六五

一通 二七六六

一通 二八〇三

一通 二八六六

一通 二八五二

一通 二八四

一通 二〇三二

二通 二〇二六

一通 二〇三七

七枚 二〇六五

勘定書・割賦書・請取書
(諸品代・地租・地方税・郡村入費等)

諸品代金・蔵米代金・手間賃等勘定書綴 佐
藤松五郎宛ほか 文政八年

第七大区小八区小区長拜借米年賦金受取書
佐藤文吉宛 明治九年二月一九日

管内割・大区内割・小区内割課賦 明治九年
三月ヨリ二月迄

諸村地券費大小区入費割管内割等課賦書綴
阿弥陀瀬村改正用掛楳出伝吉ほか 佐藤文吉
宛 明治九年

柿崎村八木平十良品代勘定書(蒟蒻・焼婦ほ
か) 岩手村竹原御本家宛 明治一〇年五月

米山寺村堀井薬局代金勘定書 岩手村佐藤宛
明治一一年一月一〇日より八月五日まで

高原金子受取書 今町常盤屋善治郎宛 明治一
一年九月一日

地租金等賦課書ならびに品代勘定書・受取書
等 佐藤泰助宛ほか 明治一二年

地租・地方税関係書類 明治一二年一五年
袋入 五六点 七三〇五

1 戸長役場地方税受取書 岩手村佐藤文吉
宛 明治一三年五月三日

2 戸長高嶋清十郎地方税戸割・營業税受取
書 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年六月二
九日

3 米山寺村高嶋清十郎貢租追納金手数料受
取書 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年四月
一七日

一綴 六九八二
(一三二通)

一通 二〇四四

袋入 仮三冊 七九一六
一枚

一綴 二〇五五

一通 二七九五

一通 二七六七

一通 二五九四

袋入 二冊 七〇三二
六四通

袋入 五六点 七三〇五

一通

一通

一通

- 4 戸長高嶋清十郎第十二年貢租六期納受取書 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年四月一七日 一通
- 5 旧式番組戸長第十二年地租第四期受取書 岩手村旧惣代宛 明治一三年一月二五日 一通
- 6 岩手村十二年地方税戸割 一通
- 7 金銭書付(地租・営業税など) 一通
- 8 金銭人別書付 一通
- 9 金銭人別書付(地価割賦) 一通
- 10 人別地価書付 一通
- 11 金銭書付 一通
- 12 旧式番組戸長所通達(第一二年第一四期地租納入に付き) 高畑村・岩手村・惣代宛 明治一三年七月九日 一通
- 13 旧七ノ七式番組戸長通達(明治一二年地租第三期納入に付き) 岩手村総代宛 明治一二年一月二七日 一通
- 14 中頸城郡長渡邊健藏十二年第一期地租受取書 中頸城郡岩手村宛 明治一二年七月二九日 一通
- 15 旧式番組戸長所通達(明治一二年第貳期地租納入に付き) 岩手村惣代宛 明治一二年九月二一日 一通
- 16 (地租・地方税等課賦簿) 横長半 一通
- 17 地租第三期地方税・地方税戸割営業税課賦簿 岩手村 明治一四年一月二一日 一通

- 18 佐藤七郎治・佐藤権平地価等納入証 前欠 一通
- 19 高島清十郎書簡(課賦金取立依頼・名寄帳云々) 岩手村佐藤文吉宛 八月一三日 一通
- 20 戸長高島清十郎学校通常費・建築費受領書 岩手村佐藤文吉宛 明治一四年一月六日 一通
- 21 式番組戸長所用状(高田病院募金地価割納入依頼) 岩手村惣代宛 明治一二年一月 半 仮一冊
- 22 旧小七区式番組戸長明治十二年地租第三期受取書 岩手村惣代中宛 明治一二年一〇日 一通
- 23 高島清十郎書簡(一三年度後期地方税等取立依頼) 岩手村佐藤文吉宛 一三年七月一三日 一通
- 24 高島清十郎書簡(県會議員補欠選投票の件) 岩手佐藤文吉宛 八月二日 一通
- 25 高島清十郎書簡(地租第壹期他取立依頼) 岩手佐藤文吉宛 八月七日 一通
- 26 旧小七区式番組戸長達書(明治一二年地租第五期納入依頼) 岩手村旧総代宛 一三年二月二九日 一通
- 27 芋ノ嶋村戸長役場用状(地券引渡の件) 岩手村佐藤宛 八月一日 一通
- 28 地価反別銘々仕出帳 岩手村 明治一三年三月 一通
- 29 戸長高島清十郎備荒儲蓄金他受取書 岩手村佐藤文吉宛 一三年七月二〇日 一通

- 30 旧式番組戸長達書 (明治一二年地租第四期納入依頼) 岩手村総代 明治一三年一月十五日 一通
- 31 岩手邨地租第四期納入別覚 一通
- 32 戸長高島清十郎明治十四年度地租第四期受取書 岩手村佐藤文吉宛 明治一五年二月四日 一通
- 33 籠鳴省吾明治八年地租過納分受取書 佐藤文吉宛 (明治) 一三年三月九日 一通
- 34 岩手村明治八年・九年地租過納分計上 (明治一三年カ) 一通
- 35 旧小七区式番組戸長所明治十二年第貳期地租受取書 岩手村惣代宛 明治一二年一〇月五日 一通
- 36 高島書簡 (湯本氏上納不足二付催促依頼) 佐藤宛 二四日 一通
- 37 高島清十郎書簡 岩手邨佐藤文吉宛 六月二四日 一通
- 38 高島清十郎書簡 (名寄帳引合の件) 岩手村佐藤文吉宛 一〇月一四日 一通
- 39 旧二番組戸長明治十二年地租第五期他受取書 岩手村旧総代宛 明治一三年三月一〇日 一通
- 40 戸長高島清十郎地租五期納他受取書 岩手村佐藤文吉宛 明治一四年三月五日 一通
- 41 戸長高島清十郎地租第一期他受取書 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年八月一〇日 一通
- 42 米山寺村戸長高島清十郎地租六期納他受 一通

- 取書 岩手邨佐藤文吉宛 明治一四年四月一九日 一通
- 43 戸長高島清十郎地租第三期他受取書 岩手村佐藤文吉宛 明治一四年二月一日 一通
- 44 戸長高島清十郎高田中学校費他受取書 岩手村佐藤文吉宛 明治一五年二三日 一通
- 45 高田中学校・上小野校建築・組合協議費・同単戸割課賦帳 岩手邨 明治一五年一月二二日 一通
- 46 明治八年地租過納割返帳 岩手村 明治一三年三月九日 一通
- 47 明治十二年田租五期納取立帳 岩手村 明治一三年三月一〇日 一通
- 48 岩手村明治十二年貢租六期納第十三年四月廿三日納メ 明治一三年四月一七日 一通
- 49 明治十三年地方稅取立帳 岩手村 明治一三年三月一〇日 一通
- 50 明治十三年地租第六期小学校建築費割 岩手村扣 明治一四年四月一八日 一通
- 51 明治十四年地租第一期中学校費割 戸長役場帳写 米山寺高嶋清十郎 明治一四年八月九日 一通
- 52 学校建築費地割簿 (岩手村) 明治一四年一〇月二九日 一通
- 53 明治十二年地方稅取立帳 岩手村 明治一三年五月二日 一通
- 54 明治十二年田租四期取立帳 岩手村 明治一三年一月二三日 一通

55 明治十二年田租五期取立長 岩手村 明
治一三年三月一〇日

横長美

一冊

56 袋 (表書) 「明治十二年同十三年地租」

(注) 1、55が入っていたもの

明治十五年・十六年地租地方税関係書類 明
治一五年・一六年

袋入 二九点 七三〇

1 戸長高島清十郎十六年前半年中学校費・
小学校費・学務委員費受領書 岩手村佐
藤文吉宛 明治一六年八月一二日

横長美

一通

2 中学校・小学校・学務委員費課賦簿 岩
手村 明治一六年八月八日

横長美

一冊

3 地租第三期・地方税・衛生費連合会費取
立帳 岩手村 明治一五年一二月四日

横長半

一冊

4 戸長高島清十郎地租第二期・地方税割・
衛生費割・会場費受領書 岩手村佐藤與
吉宛 明治一五年一二月七日

横長半

一通

(注) 3の丁間文書

5 地租第四期納・学校資本金利子取立帳
岩手村 明治一六年二月一三日

横長半

一冊

6 高島清十郎書状 (地租第四期納課賦に付
き取纏依頼) 岩手村佐藤文吉宛 (明
治) 一六年二月一日

横長半

一通

(注) 5の丁間文書

7 戸長高島清十郎十五年地租第四期なら
びに高田旧藩ヨリ種粃代拝借年賦返納分
受領書 岩手村佐藤文吉宛 明治一六年二
月一四日

横長美

一冊

(注) 5の丁間文書

8 十六年地方税・同戸数割・米山寺校修繕
費課賦帳 岩手村 明治一六年七月

横長美

一冊

9 戸長高島清十郎地方税・同追加割・備荒
儲蓄金割・米山寺分校修繕費割受領証
岩手村佐藤文吉宛 明治一六年七月一七日

横長美

一通

10 地方税追加割・備荒儲蓄金・学校修繕費
受領証

後欠

一通

11 岩手村惣代佐藤文吉金銭納入書控 戸長
高島清十郎宛 明治一六年七月一七日

横長半

一通

12 戸長高島清十郎地方税・同追加・備荒儲
蓄金・分校修繕費受領証 岩手村佐藤文
吉宛 明治一六年七月一五日

横長半

一通

13 高島清十郎書簡 (地方税其他納入要請)
岩手村佐藤文吉宛 七月一五日

横長半

一通

14 戸長役場用状 (地方税追加其他取立依頼)
岩手村総代中宛 明治一六年七月一〇日

横長半

一通

15 籠嶋省吾金銭納入証 佐藤文吉宛 第一
六年七月一三日

横長半

一通

16 地方税追加・組合費・外四割課賦簿 岩
手村 明治一六年一月二三日

横長半

一冊

17 戸長高島清十郎地方税追加割・中学校入
費割・小学校費割・学務委員費・農事通
信委員費・組合入費割受領書 岩手村佐
藤文吉宛 明治一六年一月二六日

横長半

一通

18 高島清十郎書簡 (地方税追加其他課賦金
取立依頼) 佐藤文吉宛

横長半

一通

(注) 16には含まれていたもの。

19 地租第二期納帳 岩手村 明治一五年九月三日	横長半	一冊
20 明治十六年地租第二期・農事衛生委員費課賦簿 岩手村 明治一六年一〇月二二日	横長半	一冊
21 箆嶋省吾金銭納入証 佐藤文吉宛 明治一六年一〇月二〇日		一通
(注) 20の丁間文書		
22 戸長高島清十郎地租第二期其他受領証 岩手村佐藤文吉宛 明治一六年一〇月二三日		一通
(注) 20の丁間文書		
23 明治十六年地租第壹期・備荒儲蓄金課賦簿 岩手村 明治一六年八月二三日	横長半	一冊
24 高島清十郎書簡(地租第一期其他取立依頼) 岩手村佐藤文吉宛 明治一六年八月二日		一通
(注) 23の丁間文書		
25 戸長高島清十郎第十六年地租第一期其他受領証 岩手村佐藤文吉宛 明治一六年八月二四日		一通
(注) 23の丁間文書		
26 地方税備荒儲蓄金・中学校小学校・營業税・学務委員課賦帳 岩手村 明治一六年一二月四日	横長半	一冊
27 高島清十郎書簡(地方税其他取立依頼) イワテ佐藤文吉宛 (明治)一六年一二月二九日		一通
(注) 26の丁間文書		
28 戸長高島清十郎地方税其他受領証 岩手村佐藤文吉宛		一通
(注) 26の丁間文書		
29 袋(表書)「明治十五年地租地方税帳、明治十六年地方税帳入」		一枚
(注) 1〜28が入っていたもの。		
諸村持地地租金賦課書・受領書ならびに品代勘定書等綴 灰庭新田村戸長湯本又三郎ほか 佐藤文吉宛 明治一六年		一綴 (二五通) 七〇二
地租金等賦課書 戸長高島清十郎ほか 岩手村佐藤丹次郎宛ほか 明治一六年八月、一〇月	一括	一〇通 七〇三
地租・地方税等受領書綴 頸城郡猿毛村戸長渡邊林蔵ほか 佐藤文吉宛 明治一六年		一綴 (二七通) 二四七
明治十五年地方税学校費等賦課帳ならびに受領書類、明治八年佐藤文吉書状等 明治八年、明治一五年	袋入	二冊 八通 七〇三
1 地方税追加学校費組合学校費同戸割課賦簿 岩手村 明治一五年六月二一日	横長半	一冊
2 (銘々割賦金覚)	横長半	一冊
3 地方税追加学校費等受領書 戸長役場 岩手村佐藤文吉宛 明治一五年六月二一日		一通
4 地租第一期受領書 戸長高島清十郎 岩手村佐藤文吉宛 明治一五年八月七日		一通
5 地方税中学校費等受領書 戸長高島清十郎 佐藤文吉宛 明治一五年八月二七日		一通

6 前期地方税中学校費等取立依頼書 戸長 役場 岩手村重立宛 八月二五日	一通	
7 佐藤文吉書状 新潟病院にて 岩手村佐 藤御老人宛 八月八日(封筒日付は七月八 日)	一通 (二枚)	封筒入
8 新潟病院療治金受領書 佐藤文吉 佐藤 啓八宛 明治八年七月二〇日	一通	
9 佐藤文吉書状 新潟病院にて 佐藤啓八 宛 明治八年七月二六日	一通	
10 小田定右衛門書状 星野孫右衛門宛 正 月朔日	一通	
地租諸入費賦課書 戸長室岡作平ほか 佐藤 文吉宛 明治一五年、一六年	一通 六通	七〇五〇
地租・学校費・郡費等受領書綴 黒川村収入 役事務兼掌助役角張友三郎ほか 佐藤文吉宛 明治二三年	一綴	一六二三
柿崎村百足屋又右衛門品代勘定書(紙・石 油) 岩手村高原宛 (明治)二五年一〇月 二六日	一通	七九六一
地租・地方税等領収書綴 佐藤文吉宛 明治 二六年	一綴	六八七七
明治廿六年度地租地方税郡村費学校費計算書 その他諸入費計算覚 明治二六年	一通 一綴	六九三九
地租・地方税・小学校費等領収書綴 黒川村 収入役麻場保蔵ほか 佐藤與吉宛 高原宛 明治三〇年一月五日、一二日、二二日	一通 (三五通)	七六九〇
柿崎井部庄吉送状(味噌豆式儀) 岩手高原且 那宛 明治三二年一月二日	一通	七〇二五
廿六七・廿八九年度学費地凶更正費其外差引 書写 吉村常吉ほか二名 佐藤與吉宛 (明 治)三〇年四月七日	一通	二五六九
西巻店・同清吉代金請取書 御新宅様宛 (明治)三〇年二月二日	一通	七六五〇
字費用水費等割賦書 米山寺字惣代麻場保蔵 岩手佐藤與吉宛 明治三一年一月	一通	七〇七七
柿サキ太田屋作太郎白麦送状(米山寺糶屋 宛) 岩手高原様宛 (明治)三一年一二月 九日	一通	七六四六
柿崎大森店料理菓子等代金領収証 岩手村新 屋宛 (明治)三九年八月一日	一通	七六一〇
牛乳代金等勘定書付ならびに出生届下書(佐 藤耕策長女カズ) 明治三九年九月一九日	一通	七六一
領収書等綴 (明治三九年)	一綴	七六三
1 宮橋牛乳取扱所牛乳代金請取証 をやく し様宛 明治三九年五月三一日ほか	一通	七六三
2 宮川薬室薬代領収証 佐藤俊策宛 明治 三九年六月一三日	一通	
3 高田町西澤支店本代領収書 三月二二日	一通	
4 安田善吉本箱代領収書 上様宛 三月二 三日	一通	
5 高田町高橋書店漢和大辞書代金領収書 佐藤様宛 七月九日	一通	
6 新潟県立高田中学校校長田川辰一納入告知 書(授業料納入) 佐藤俊策宛 明治三九 年六月二七日	一通	

7 覚帳(佐藤氏小使い) 高田中寺町密藏院
明治三十九年五月六日より 横長半 三冊

大小区内并組合割割賦書 二番組用掛新部與
八郎 岩手村佐藤文吉宛 亥一月九日 一通 六九四七

品代勘定覚(繰綿等) 与八 高原宛 二月二
四日 一通 六九三四

品代勘定書・受取書綴 柏崎竹田屋徳次郎ほ
か高原宛ほか 未六月一八日ほか 一綴 六九四九
(二通)

柿崎八木平十郎品代勘定書(女油・ごま油
等) 高原御本家宛 子一月三〇日 仮一冊 六九八三

柳沢三平米代金支払勘定書 佐藤与吉宛 八
月一九日 一通 六九九二

諸品代金并手間賃勘定書・受取書綴 辰・巳
年 一綴 六九九四
(五通)

品代勘定書・請取書等綴 柿崎平野甚平ほか
高原旦那宛ほか 正月朔日ほか 一綴 七〇〇〇
(二八通)

品代勘定書(酒代・塩代ほか) 岩手善兵衛ほ
か 佐藤喜太郎宛 卯二月 二通 七〇〇七

柿崎太田屋庄仮送り状(小麦四俵) 高原宛
二月七日 一通 七〇一六

柿崎菊地忠造品代勘定書ならびに受取書(緋
巻反ほか) 岩手村佐藤与吉宛 四月一五日 一通 七〇二二

岩手文左衛門品代勘定書(椎茸・きくらげほ
か) 高畑平助宛 卯二月二六日 一通 七〇三三

品代勘定書・受取書(大椎茸ほか) 柿崎嶺
子屋与右衛門ほか 佐藤宛 辰七月 三通 七〇三三

品代勘定書(魚代、山芋、砂糖ほか) 横長半 仮一冊 七〇三三

彦右衛門代金勘定書(とうふほか) 高原宛
一二月 一通 七〇三四

新潟岩船屋善右衛門品代請取書(巻丈八寸巻
本) 金子八郎兵衛宛 亥七月一三日 一通 七〇四二

内山兼五郎注文書(夜着表・風呂敷巻枚の染色
注文) 佐藤松五郎宛 一〇月四日 一通 七〇四五

品代勘定書・口上書等 一括 一三通 七〇四七

野俣屋品代勘定書(亀田嶋巻反ほか) 佐藤宛
二月二一日 一通 七〇五八

手間勘定覚 卯二月二〇日 一通 七〇五九

友七代米勘定書(染物代か) 佐藤御貴君宛
卯二月 一通 七〇六〇

米山寺村佐太左衛門品代勘定書(線香、舞た
けほか) 高原宛 卯極月 一通 七〇六一

品代勘定書(そうり、釘、板付、白砂糖ほか)
新屋宛 一通 七〇六六

* 苫屋喜兵衛書状并苫屋徳兵衛米代金差引勘定
目録 岩手村佐藤宛 一括 五通 七〇六七

品代勘定書等 柿崎村蔵番四郎右衛門 米山寺
村御蔵組中宛ほか 丑六月二七日ほか 一括 仮一冊 七〇七〇
継一通

品代勘定書・受取書綴ほか 米山寺村勇治郎
ほか 岩手村佐藤宛ほか 辰一月、一二月 一括 一綴 七〇七二
(八通)
三通 一通 七〇八〇

なら付かず式貫目)	岩手村喜太郎宛				
織右衛門品代勘定書	八郎兵衛宛	八月二八日、九月四日、一二月二三日	三通	七〇八四	
倉石安之助品代勘定書	佐藤八平宛	巳二二月	一通	七〇八五	
(新屋分品代勘定ならびに銭貸し覚)			一冊	七〇八七	横長半
米山寺村孫平品代勘定書	(ねずみとりほか)		一通	七〇九四	
岩手村安右衛門代金勘定書	(木代、人足賃)		一通	七〇九六	
大掛喜作品代勘定書	(真錦ほか)		二通	七三三六	
大黒屋伝八代金勘定書	写(葬儀費用)		二丁	七三四三	横長半 断簡
百木新部末吉蘭代金領収書	佐藤様宛	九月一〇日	一通	七六〇九	
金銭勘定書付断片	(與吉分、正眼寺分ほか)		一通	七六二二	
下宿料支払勘定覚			一通	七六一三	
④品代勘定書	佐藤様宛		一通	七六二二	
佐藤与吉・耕策分出金勘定覚			一通	七六四九	
品代差引勘定覚	喜八 佐藤宛	子二二月	一通	二〇三〇	
賄代・酒代勘定書等綴	高畑村下宿ほか		一綴	二〇三六	
手村村役人宛ほか	午七月、十一月		(四通)		
柿崎鳴崎屋八十吉品代受取書	・柿崎高橋初太		三通	二〇四五	一括
夫米代勘定書ほか	岩手村高原宛、鷹海村				
御苗茂左衛門宛ほか	丑一月二〇日、一〇月ほか		一括		
品代勘定書	(染代ほか)	米山寺村こんや保造	四通	二〇五八	
密藏院頼母子講懸金喜太郎立替分等勘定覚			二通	二四九六	
売米代金請取書ほか	高原ほか	間半店庄兵衛宛ほか	一括		
伝左衛門品代勘定書	二月二三日		一通	二四五六	後欠
柿崎八木平十郎代金勘定書	(正種油ほか)		二通	二五五六	
柿崎八木平十郎代金勘定書	(やきふほか)		一通	二五五七	
米請取書綴・品代勘定書等	柿崎田屋与左衛門ほか	高原旦那宛ほか	一括		
品代勘定書	・学校費等受領書ほか	鉢崎村中山善七、戸長渡辺清十郎ほか	九通	二五四五	一括
(注)	こよりで綴られていたのが、はずれたものと思われる。				
坂井屋品代勘定書	佐藤宛	午十一月	一通	二五六四	
金銭差引勘定書	(中茶屋分)	九月二日	一通	二五六六	
彦左衛門品代勘定書	(とうふ代)	佐藤宛	一通	二五六七	前欠
米山寺堀井薬局代金勘定書	岩手佐藤宛		一通	二五七九	
柿崎菊屋品代勘定書	(うらこし巻ッほか)		一通	二五九五	

某勘定書(式十一丸直しほか) 上宛 一〇月六日	一通 二五九六	助三郎酒差上げ覚 塗屋宛 一〇月二六日	一通 二七六八
喜太郎品代差引勘定書(かすかい、四十針ほか) 助右衛門宛 戌(二月)二五日	一通 二六〇三	五郎右衛門品代勘定書(そうり代) 高原宛 子(二月)	一通 二七六九
菊屋儀平司品代勘定書 大旦那宛 五月七日	一通 二六〇六	鈴木屋品物送り状(かつふし拾本) 高原宛 午九月(三)日	一通 二七六六
柿崎百足屋又右衛門品代受取書 岩手村高原旦那宛 五月三〇日	一通 二六〇七	米山寺吉田仙之助代金勘定書(木代職人手間賃) 字石手佐藤寅藏宛 九月三日	一通 二七六七
矢口品代勘定書 高原旦那宛 亥八月	一通 二六〇八	芋嶋村五郎七品代勘定書 竹原宛 九月二〇日	一通 二七六六
芋嶋村孫兵衛品代勘定書 佐藤喜太郎宛	一通 二六〇九	鍛冶源吉代金勘定書 高原宛 未(二月)一日	一通 二七九七
米山寺酒屋佐右衛門品代勘定書 佐藤喜太郎宛 子(二月)二三日	一通 二六〇〇	友七金銭差引覚 平六宛 丑七月(二)二日	一通 二八〇〇
のと屋仙次郎品代勘定書 岩手村佐藤宛 酉七月	一通 二六一一	芋嶋村文吉代金勘定書(喜当塗り代ほか) 高原御旦那宛 丑一月	一通 二八〇一
鈴木屋品代勘定書 岩手村佐藤宛 八月二二日	一通 二六二二	芋嶋村五郎七品代勘定書(もなか・板栗子) 竹原宛 七月二七日	一通 二八〇二
いづみや小治郎品代勘定書(しいたけ) すすきや宛 五月一七日	一通 二六二二	芋嶋村木匠吉原仁作品代勘定書(棺板) 佐藤圭願宛 丑六月(一)五日	一通 二八〇四
五郎七品代勘定書 竹原宛 五月一九日	一通 二六二三	金蔵品代勘定書(大豆・塩・綿・鱒ほか) 佐藤甚左衛門宛、竹原宛 子(二月)	一通 二八〇六
直江津今町柴山酒受納覚 竹原佐藤宛 丑(二月)二二日	一通 二七五九	芋嶋村仁作代金勘定書(上すいふる桶ノ木尜本) 岩手村佐藤宛 子(四月)一日	一通 二八三七
岩野村孫作金子勘定覚(当卯出金目録之通) 岩手村喜太郎宛 卯(二月)二六日	一通 二七六一	米山寺吉田仙之助品代勘定書(板代) 岩手佐藤寅造宛 五月二七日	一通 二八三六
坂井屋品代勘定書 佐藤宛 午(二月)二七日	一通 二七六二	米山寺理右衛門品代勘定書 岩手村佐藤宛 一二月	一通 二八五〇
平蔵品代勘定書 高原宛 丑(二月)三〇日	一通 二七六三		
某品代勘定書 寅八月	一通 二七六四		

後欠

潟町柳沢三平代井部庄吉塩代金受取書 佐藤与吉宛 (明治) 三二年九月五日

一通 二〇〇四

とうふ代等勘定書断簡

二枚 二〇〇四

米山寺かどや代金勘定書 (二寸釘) 佐藤寅藏宛 五月二十七日

一通 二〇〇五

浦野織右衛門品代仮勘定書 (折釘・紬羽織染代ほか) 佐藤八平宛 午二月一五日

一通 二〇〇九

八木平十郎品代勘定書 (やきふ・切こんぶほか) 高原御本家宛 子二月五日

一通 二〇〇五

潟町柳沢三平米代金受取書 佐藤与吉宛 (明治) 二五年二月一六日

一通 二〇〇六

内蔵米積預り覚・品代勘定書等

一括 二〇〇八

内蔵米積預り覚・品代勘定書等綴 直海浜杉田屋権左衛門ほか 岩手村旦那様宛ほか 寅五月一四日ほか

一綴 二〇〇九
(二通)

家政

一族

○過去帳

(佐藤家累代過去帳写)

一通 六九四二

法名書付 (佐藤文吉妻はつ・佐藤啓助)

一枚 二五六三

○祝儀

目録 (扇子・上下・羽織地) 高畑 平六宛

一通 二七九二

宝曆四年二月二四日

婚礼祝品物目録 土肥成庵 宝曆二二年九月四日

一通 六九六六

食器覚

一通 七五八九

目録 (進上物目録写)

一通 二〇七九

祝儀目録

一部前後欠 二二五通 二〇五五

祝宴役附 (料理方・枕方・給仕等)

一通 二〇六〇

佐藤半治差出一札 (兄惣左衛門江戸にて葬送に付き依頼) 安井慶兵衛宛 明和六年九月

一通 七三三六

岩手村与次右衛門差出一札下書 (貴殿亡父母年忌用料受取証文) 金預り人喜太郎ほか証人二名連印 文昌宛 文化元年八月

一通 二〇六二

○法事

法事入用金明細書上 (明治三〇年)

一通 七六四四

*京都東寺真言宗法務所書状

封筒入 二一通 七四〇八

○その他

処方箋 (佐藤與吉分) ほか 明治二九年五月二日

四通 七〇〇三

米山寺尋常小学校書状 (始業式のお知らせ) 佐藤与吉宛 明治三〇年二月三〇日

封筒入 一通 七六六一

六四郎盗賊盗物出候二付所々返礼覚

横長半 仮一冊 七九二五

高田火難見舞之方ならびに某書状

二二通 二〇七一

家計・出金

高原旦那様用御通 分銅屋佐太左衛門 文政八年

横長半 一冊 二〇八五

酒之御通 米山寺村酒屋佐太左衛門 岩手村佐藤宛 文政一〇年	横半半	一冊	二〇八一	金錢勘定下書		一通	七六八七
高原様御通 米山寺村分銅佐太左衛門 文政一〇年正月	横半半	一冊	二〇九七	諸入費覚下書 (明治)		一通	二〇三三
御通帖 野俣屋店 佐藤宛 明治六年	横半半	一冊	七九〇七	入用金覚 (下女らへの渡金か) 上宛 四月二六日		一通	二〇五〇
御買物之通 柿崎四ツ目屋伊十郎 岩手高原宛 明治八年	横半半	一冊	七〇四六	会社・団体			
萬御通 柿崎四ツ目屋 岩手佐藤旦那宛 明治一七年一月	横半半	一冊	二五六一	虎列拉病予防組合法約束法 米山寺村吉田龍太郎他一八名連署 虎列拉予防組合長佐藤與吉宛 明治一三年七月	美	一冊	七三三四
御通い 柿崎伊勢屋政右衛門 佐藤宛 酉二月	横美半 横半半	一綴 (二冊)	七九〇八	* 中頸城郡国田村遠藤延春書状 (免職につき御在職中出費計算書差し上げの件) 佐藤文吉宛 明治一六年八月二七日	封筒入	附共 二通	七四二〇
御買物之通 野俣屋 佐藤宛 亥年	横半半	一冊	二〇〇二	附 金錢計算書 中頸城郡国田村風卷神道事務局 佐藤文吉宛 (明治) 一六年八月二日 一通			
御通帳 の又屋庄左衛門 佐藤宛 申	横半半	一冊	二〇八四	信越鉄道会社創立規則 信越鉄道会社創立事務所・仮事務所・出張所 明治一六年一〇月	刊	一通	七三三八
現金御通帳 八木平十郎 岩手村高原宛 申正月吉日	横半半	一冊	二四〇三	信越鉄道会社発起人名 信越鉄道会社創立事務所 明治一七年四月	刊	一通	七三七七
諸遺留帳 寛保二年	横半半	一冊	七〇五四	* 信越鉄道会社加入盟約之証 (控) 佐藤文吉 明治一七年五月五日	刊	一通	七四一七
小使控帳 佐藤なる 明治二六年一月一日ヨリ	横長半	一冊	七九〇六	信越鉄道会社創立発起姓名録 (自明治一五年八月第壹回至同一六年九月第二回同一七年二月第三回報告)	刊	一枚	七七九九
(小遣帳) (東京旅行中) 明治三〇年七月二九日(八月三日)	横半半	一通	七〇五六	高田第百二十九国立銀行頭取上野貞輝書簡 (株主定式総会開催及び頭取選挙の通知) 東頸城郡黒川村佐藤文吉宛 明治二六年二月	刊	一通	七三三四
旅行中小遣銭覚 (直江津等) 三月二八日(四月一日)		一通	七四八	大日本帝国議会記念碑建設趣意書ノ緒言 大	刊	一通	七三三六
小為替金受領証書 (高田歩兵第五十八連隊第十一中隊佐藤俊策へ) 明治四一年一月二二日		一通	七五九六				

日本帝国議会記念碑建設事務所 明治二六年三月	刊	一通	七三五	日本勸業銀行第十二回勸業債券募集廣告 明治三四年一〇月	刊	一通	七八九
故生田萬君之廟祠建設主意書 刈羽郡比角村建設事務所神林庫之助 明治二七年四月	刊	一通	七三五	高田貯蓄銀行新株募集廣告 (明治三四年)	板	四枚	七八五〇
日本赤十字社新潟支部幹事郷田兼亮書簡 (赤十字社新潟支部開設に付き有志誘導依頼) 佐藤文吉宛 明治二七年六月六日	仮綴	一通	七三三	大日本農事協会報第十五号臨時発刊緊急廣告 明治三五年七月二五日	刊	一枚	七八五二
中頸城郡農産品評会工義捐金額名報告・中頸城郡第三回農産品評会経費精算報告ほか 明治二七年	刊	一通	七六六	上越教育会女子部設置の趣意 上越教育会 明治三五年一月	刊	一通	七八五四
三堰連合委員選挙会開設通知書写 下黒川村長内藤弥太郎代理大字馬正面区長橋立桶四郎 佐藤文吉ほか六名宛 明治二九年七月一六日	刊	一通	七〇六二	規約・規則・広告等	一括	二冊	七三五
黒川村長湯本又三郎通知書 (第一学区会開設ニ付参集要請、議案添付) 第一学区会議員 佐藤與吉宛 明治三〇年六月八日	蕪弱版	一冊	七六八	1 上越石油株式会社発起人申合規約書	刊	一通	
石油反別換算勘定覚 明治三〇年九月一四日	刊	一通	七三〇六	2 新潟県衛生会規則	刊	一通	
高田第百三十九国立銀行書状 (社名改称・營業断続のお知らせ) 佐藤与吉宛 明治三〇年九月二七日	刊	一通	七六三四	3 上越教育会女子部細則	刊	一通	
上越生命保険株式会社定款 明治三三年五月一日作成	刊	一通	七八五六	4 上越教育会規則	刊	一通	
高田町呉服区上越生命保険株式会社新株募集趣旨書	刊	一通	七八五七	5 日本赤十字社録事 明治三六年六月三〇日	刊	二冊	
日宗火災保険株式会社定款 東京市日本橋区檜物町日宗生命保険株式会社内日宗火災保険株式会社創立事務所 明治三三年一月二六日	刊	一通	七八五六	6 広告 (撰種メートル及び桑扱器) 養国社	刊	二通	
				7 養国社注文用紙 明治三六年	刊	二通	
				8 明治三十六年春時精撰重要種子小売定価 養国社 明治三六年	刊	三通	
				越佐招魂祭案内状 越佐忠魂議会长柏田盛文・同顧問岡崎生三 佐藤耕策宛 明治三五年四月一〇日	封筒入	一通	七八六三
				旧高田藩祖三百年祭典協会旨趣書 (神神社祭神旧高田藩祖三百年祭執行協会規定・高田図書館規定・図書館設計等を含む) 明治三六年四月	刊	一通	七八六一

日宗生命保険株式会社保険大要

經常費予算 (社名不明、石油会社力)

共益講規約 (封筒差出人) 大字芋島柳沢新太郎 (同宛名) 大字岩手佐藤與吉・吉村常吉宛

代官手代文書 (佐藤半治關係)

江川太郎左衛門役所廻状 (神田金沢町弥兵衛店茂八妻かつを切殺逃去候召仕喜助人相書) 相州足柄上郡神山村ほか七ヶ村名主組頭百姓代宛 丑一二月五日

訴訟・争論

所有地毀損修復訴訟

『佐藤家文書目録』(その二)二四七頁、『同』(その二)四三頁、『同』(その三)三三頁をも見よ。

高田川原町鈴木幸藏金銭受領証 (約定金之内) 岩手郵佐藤文吉宛 明治一六年一二月二四日、二九日

中頸城郡岩手村佐藤忠太差出証書 (小作地のクルミ木切倒用途につき一札) 岩手村佐藤文吉代人高田川原町鈴木幸藏宛 明治一五年一二月

戸長役場用状写 (佐藤文吉と籠嶋省吾との所有地毀損修復訴訟につき地券絵図面地引帳提出のこと) 岩手村佐藤文吉・岩野村籠嶋省吾宛 明治一六年六月一八日

初審所有地毀損修復訴訟之反古書類 佐藤文吉代人高田川原町鈴木幸藏 明治一五年九月

刊 一通 七八〇

刊 一通 七八五

封筒入 一冊 七八九

一通 七〇八

一通 七〇五

一通 七二二

一通 七二七

袋入 四一点 七五三

三〇日、明治一七年五月一日

1 越後国頸城郡岩手村御檢地水帳 (写) 真田伊豆守内木村縫右衛門 天和三年閏五月

2 絵図下書 (川治土地面積)

3 絵図下書 (川治土地地番)

4 岩野村字セキ地積ならびに所有者

5 絵図下書 (米山川沿田畑面積)

6 岩野村券地番号并ニ字記

7 絵図下書 (米山川沿村々配置、黒岩村ヨリ柿崎村迄) 明和五年一月

8 岩野村地券台帳抜書 (百九十九番ヨリ式百六番)

9 絵図下書 (川沿田畑面積)

10 絵図下書 (川沿杭打状況)

11 絵図下書 (米山川沿岩手村及び岩野村杭打状況)

12 絵図下書 (米山川沿岩手村及び岩野村概況)

13 実地及ヒ券面比較表 (下書)

14 絵図下書・控 (米山川沿岩手村及び岩野村杭打状況) 鈴木幸藏 明治一六年一月二七日

15 絵図下書 (米山川沿岩手村及び岩野村杭打状況)

半 一冊

一枚

一枚

一通

一枚

一通

一枚

一通

一枚

一枚

二枚

一枚

半 一冊

三枚

一枚

16 絵図下書 (川沿土地測量下書)	一枚	32 (審問記録)	半 一冊
17 第七号証 川脈変換ノ図 永田喜重 明治一六年一月八日	一枚	33 卷面実地面積間差引覚	一通
18 絵図下書 (土地面積・村概況など書付)	四枚	34 田畑反別覚	横長美 一冊
19 絵図下書 (土地面積書付)	一枚	35 絵図下書 (初田村土地面積測量書付等)	二枚
20 絵図下書 (川沿岩手村及び岩野村概況書付)	一枚	36 絵図村々控 (米山川沿村々配置、黒岩村ヨリ柿崎村迄) 明和元年一二月	一枚
21 絵図下書 (実地券面間の面積差書付)	一枚	37 袋 (表書) 「中頸城郡岩野村籠島省吾ニ係ル所有地毀損復修之用 佐藤文吉代人鈴木幸蔵」	一枚
22 絵図下書 (米山川沿田畑別概況)	一枚	38 絵図下書 (杭打位置書付)	一通
23 袋 (表書) 「所有地毀損復修控訴件 佐藤文吉代人鈴木幸蔵」	一枚	39 書証説明下書	一通
(注) 24、25が入っていたもの。		40 明治十六年四月十一日実地見分之際原被告問答之筆記	半 一冊
24 弁明書に対する反論書付	一枚	41 袋 (高田新聞) 明治十六年六月七日号を利用)	一枚
25 絵図下書 (米山川沿田畑概況)	一枚	(注) 1、40が入っていた袋	
26 絵図下書 (用水沿岩手村及び岩野村概況)	一枚	川沿岩手村・岩野村境書付	一枚 七三五
27 岩野村及び岩手村株杭等書付下書	一通	上申書下書 (上野村外七ヶ村より佐藤文吉へ相係る岩手村地囲取私事件) (明治一七年)	一通 七三六
28 袋 (表書) 「所有地毀損復修控訴件 佐藤文吉代人控訴被告人鈴木幸蔵」 明治一六年	一枚	袋のみ	
29 絵図 (岩手村及び岩野村概況下書カ)	一枚	絵図下書 (川沿岩手村、岩ノ村・初田村タシ等)	一枚 七三七
30 絵図下書 (岩手村及び岩野村杭打状況)	一枚	絵図写 (米山川・八ヶ村用水江路。裁判書証乙第七号) 下美守郷初田村百姓代半右衛門、与頭重左衛門、庄屋伝右衛門 川浦役所宛 宝曆一〇年四月 (明治写)	一枚 七三八
31 絵図控 (岩手村及び岩野村耕地実地測量絵図面) 測量方丸山之忠・控訴被告代人鈴木幸蔵 明治一七年一月	一枚		

県庁・裁判所出頭日記 一八日〜二八日	一通	七三五		
鈴木幸藏電報下書 上田岩之助宛	二通	七三六〇		
鈴木幸藏・佐藤与吉書簡(彼等二三日意見ノ参ルマテ逗留云々) 佐藤文吉宛 明治一八年二月二〇日	前欠 四通	七三六一		
附 借地之証差入一札下書 三通				
某書状下書(所有地毀損訴訟関係) (明治) 一八年三月二十五日ほか	四通	七三六二		
絵図下書(川沿岩手村・岩ノ村・旧初田村村境等書付)	一枚	七三六三		
享保十四年七月越後国頸城郡岩手村川除御普請目論見写 明治一五年二月四日	半 仮一冊	七三六四		
享保十四年七月越後国頸城郡岩手村川除御普請目論見写 明治一五年二月四日	半 仮一冊	七三六五		
佐藤与吉納証写(佐藤文吉科料金) 高田支庁書記局宛 明治一八年二月二五日	一通	七三六七		
佐藤文吉他二名委任願下書(川除普請取払之儀に付き代人委任) 新潟県令永山盛輝宛	一通	七三六八		
弁明書下書(佐藤文吉所有地他人に売賃等相成難き理由)	一通	七三六九		
某書状下書	一通	七三七〇		
裁判書証目録覚(甲第一号〜五号証) 明治一七年九月三〇日	一通	七三七一		
絵図下書(佐藤文吉所有地の位置)	一通	七三七三		
佐藤文吉委任状願控(鈴木幸藏代理人の件) 新潟県令永山盛輝宛 明治一八年	二通	七三七六		
佐藤文吉ほか代理人委任状(鈴木幸藏・佐藤與吉を以て部理代人と定む) 明治一八年三月一五日	二通	七三七七		
約定書下書(初田堰南詰普請に付き和談約定)	美 仮一冊	七三七八		
佐藤文吉謄写願書控(上小野村外七ヶ村より佐藤文吉地所買上願事件につき処分指令書謄写願) 新潟県土木課宛 明治一八年六月五日	一通	七三七九		
約定書下書(岩野村字堰上り境佐藤文吉所有地川下通り普請につき)	一通	七三八〇		
約定書下書(佐藤文吉と八ヶ村の間の米山川通初田堰普請に関する約定)	一通	七三八一		
所有地毀損修復訴訟その他訴訟関係書類等	袋入 一二二二点	七三八六 七三五〇 七三五六		
袋(表書)「紀元貳千三十四年二月吉日下絵図入)」	一枚	七三八六		
(注) 七三八七〜七五〇七が入っていたもの				
控訴被告上申書下書カ	一通	七三八七		
鈴木幸藏書状(論地測量に関し問合、金五十円借用願) 佐藤文吉宛 一五日	一通	七三八八		
絵図下書(八ヶ村定入地・上小野耕地)	一枚	七三八九		
鈴木幸藏書状(宮崎君へ代書料支払依頼) 佐藤文吉宛 明治一二年五月二日	一通 (二枚)	七三九〇		
クルミ株数・長さ等書付	一通	七三九一		
*。戸長役場用状(村々字調書提出催促) 岩手村総代宛 五月二三日	一通	七三九二		
鈴木幸藏書状(実地見分の件) 佐藤文吉宛	一通 (一枚)	七三九三		

明治一六年二月八日

- 。鈴木幸藏書狀〔原被告の抱持地に関し報知催促、引合人審問大略報告〕 佐藤文吉宛
明治一七年三月十五日 包紙入 一通 七三九四
- 。上田岩之助書狀〔測量などにつき調向不都合なし、心配無用〕 佐藤文吉宛 一二月一日
○日 封筒入 一通 七三九五
- 。鈴木幸藏書狀〔論地の佐藤文吉所有の根拠に付手続取調要請〕 佐藤文吉宛 明治一七年四月一六日 封筒入 (二)枚 一通 七三九六
- 。絵図下書〔大川沿岩野村耕地等損害反別〕 一枚 七三九七
- 。金銭受取書 明治一七年六月 一括 三通 七三九八
- 1 佐藤文吉代人佐藤與吉請取証〔毀損地履修之件始終審裁判之費用〕 籠島省吾代人 籠島義八宛 明治一七年六月(一六日) 一通
- 2 鈴木幸藏受取証〔代書料〕 佐藤文吉宛 明治一七年六月一八日 一通
- 3 鈴木幸藏受領証 佐藤文吉宛 明治一七年六月一八日 一通
- 。鈴木幸藏書狀〔本日審問報告、論地は原告のものならざる事を申立の件〕 佐藤文吉宛 (明治)一七年三月一一日 封筒入 (二)枚 一通 七三九九
- 。絵図下書 一枚 七四〇〇
- 。訴訟入費御裁判執行命令願ニ付代人願下書 佐藤文吉・佐藤与吉 高田宛 一通 七四〇一
- 。絵図下書〔米山川沿岩野村耕地野地株等状況〕 一枚 七四〇二

。絵図下書〔川沿岩手村・岩野村堺毀損地〕

- 。鈴木幸藏書狀〔論地立会申渡の件報知、金円通送依頼〕 佐藤文吉宛 一二月九日 包紙入 (二)枚 一通 七四〇四
- 。訴訟書証等覚 一通 七四〇五
- 。鈴木幸藏書狀〔立会絵図面調製の件相談に付出張依頼〕 佐藤文吉宛 一月九日 一通 七四〇六
- 。鈴木幸藏金銭受領証〔日当料殘金〕 佐藤文吉宛 明治一七年七月二二日 一通 七四〇七
- * 京都東寺真言宗法務所書狀 封筒入 二通 七四〇八
- 1 真言宗管長権大教正三条西乘禪書狀〔勸奨賛成の謝狀〕 佐藤文吉宛 明治一七年五月二八日 一通
- 2 宮中後七日御修法寶贖授与 真言宗法務所 佐藤文吉宛 (明治)一八年一月二〇日 一通
- 。記〔訴訟関係費書上〕 一通 七四〇九
- 。村名書付 一通 七四一〇
- 。封筒〔未使用〕 一通 七四一一
- 。原告佐藤文吉弁駁書下書〔所有地毀損復修請求の件〕 (四)枚 一通 七四一二
- 。書狀下書〔判決執行命令要請〕 一通 七四一三
- 。絵図下書〔川沿毀損地周辺〕 一枚 七四一四
- 。絵図下書〔米山川沿土地面積〕 一枚 七四一五
- 。鈴木幸藏書狀〔委任状証の件〕 佐藤文吉宛 (明治)一七年五月二二日 一通 七四一六

*。信越鉄道会社加入盟約之証〔控〕 佐藤文吉 信越鉄道会社創立事務所宛 明治一七年五月五日 一通 七四一七

。執行人ニ付代人願〔控〕 佐藤文吉・鈴木幸蔵 明治一七年五月二四日 一通 七四一八

。上田岩之助書状〔扣訴一件引受の件〕 二月二日 封筒入 一通 七四一九

*。中頸城郡国田村遠藤延春書状〔免職につき御在職中出費計算書差し上げの件〕 佐藤文吉宛 (明治) 一六年八月二七日 封筒入 一通 七四二〇

附 金銭計算書 中頸城郡国田村風巻神道事務支局 佐藤文吉宛 (明治) 一六年八月二一日 一通 七四二〇

。鈴木幸蔵書状〔籠島省吾番地通知要請、宮崎君へ代言料通送要請等〕 (明治) 一七年二月二四日 包紙入 一通 七四二二

。絵図控 (川沿毀損地周辺現今の実景) 大場儀助 吉村泰治 佐藤與吉、佐藤文吉 明治一六年 一枚 七四二三

。日記〔初田長とろ堤詰論〕 岩手村佐藤文吉 明治一五年九月 小帳 一冊 七四三三

。検印簿 佐藤文吉代人高田川原町鈴木幸蔵 明治一五年 半 一冊 七四三四

。夜具無尽掛金受取之通 発起野俣庄左衛門 佐藤御内様宛 明治一六年三月 横半半 一冊 七四三五

。(弁駁書下書か)

。岩手村佐藤忠太差出証書〔長とろ小作地のクルミ伐採用途につき〕 保証人大田儀三郎連印 佐藤文吉代人鈴木幸蔵宛 明治一五年一二月 一通 七四三七

。御甲濟 佐藤文吉 (明治) 一五年一月一日 一通 七四二八

。意見書〔被告呈供の明治一六年一月八日付弁明書への駁議〕 美 一冊 七四二九

。水堀長土覚 一通 七四三〇

。現今セキ巾等覚 一通 七四三一

。絵図下書〔岩手村耕地周辺〕 一枚 七四三二

。川脈交換ノ図写〔第七号証〕 被告代人永田喜重 明治一六年一月八日 一枚 七四三三

。(弁駁書下書か) 前後欠 一通 七四三四

。絵図写〔川沿毀損地周辺〕 原告代人鈴木幸蔵 明治一六年七月二八日 一枚 七四三五

。届書下書〔論地で生草苜取候者有之件〕 明治一六年七月三〇日 一通 七四三六

。絵図下書〔初田村四四五、四四六、四五三、四五五番面積〕 一枚 七四三七

。鈴木幸蔵書状〔茶町・香西消息、裁判執行の件〕 佐藤文吉宛 (明治) 一七年五月二六日 封筒入 一通 七四三八

。鈴木幸蔵書状〔昨日今日の審問大略報告〕 佐藤文吉宛 (明治) 一七年三月八日 包紙入 一通 (三枚) 七四三九

。弁明書(写) 被告代人永田喜重 高田治安 裁判所長判事渡辺永類宛 半 一冊 七四四〇

。白紙 一枚 七四四一

。鈴木幸蔵書状〔原被代人同道実地へ臨検の旨報知〕 佐藤文吉宛 一二月一六日 封筒入 一通 七四四二

。佐藤与吉書状(迅速帰宅依頼) 佐藤叔父様 四月七日	一通	七四三	。土地面積券面実地間差計上(百九十九より 式百壹番)	二枚	七四九
。佐藤與吉書状包紙 佐藤文吉宛 四月七日	一通	七四四	。繪図下書(毀損地周辺の川の状況か)	二枚	七四六〇
。某書状下書(遅参延刻の詫び)	一通	七四五	。佐藤與吉書状カ(代言人依頼不賛成の旨等) 文吉宛か 九月二八日	一通	七四六一
。鈴木幸藏書状(金口落手報告、原告呈出書 類・口供共一覽依頼) 佐藤文吉宛 七月 二五日	一通	七四六	。酒屋吉太郎書状(金三円送り状) 高原宛 九月一〇日	一通	七四六一
。鈴木幸藏書状(地引絵図・地価帳に堤防の記 載ないことに關し問合) 佐藤文吉宛 (明治)一七年三月二日	一通 (二枚)	七四七	。薩三仁太右衛門書状 佐藤文吉宛 二月二 一日	一通	七四六三
。追申書 永田喜重 高田治安裁判処長判事補 渡辺永類宛 明治一六年七月二三日	半 一冊	七四八	。米俵数人別書上	一通	七四六四
。白紙	八枚	七四九	。繪図雛形(土地周囲長さ調査)	一枚	七四六五
。繪図下書(川沿毀損地周辺)	一枚	七五〇	。所有地毀損復修請求ノ訴答(写) 岩野村 籠鳴省吾代人被告永田喜重 高田治安裁判 所長判事補渡辺永類宛 明治一五年一二月 二一日	半 一冊	七四六六
。湯本家代々名前	一通	七五一	。訴状下書カ	前欠 一通	七四六七
。間数覚(雛形カ)	一通	七五二	。繪図下書(初田本村周辺)	一枚	七四六八
。封筒(未使用)	二枚	七五三	。某書状(書状一袋郵送に付御届依頼)	後欠 一通	七四六九
。所有地毀損復修請求訴状下書 原告佐藤文 吉 明治一五年一二月	半 一冊	七五四	。地番別土地面積書上(四四五、四四六、四 五三、四五五)	一通	七四七〇
。繪図下書(一番より十番地番書付)	一枚	七五五	。白紙	一枚	七四七一
。繪図下書ならびに控(川沿毀損地周辺) 原告代人鈴木幸藏 明治一六年四月	二枚	七五六	。中頸城郡岩野村籠島省吾へ相係ル所有地毀 損復修請求ノ訴訟ニ付右入費檢印簿 佐 藤文吉 明治一五年一二月一一日	一通	七四七二
。地番字名・人名書上(四四七、四四九、四 五一、五一九番)	一通	七五七	。湯本家代々名前書付	一通	七四七三
。所有地毀損復修之訴状下書	後欠 (二枚)	七五八			

。所有地毀損復修内願書写	一通	七四七四
。上小野老圃書状(新古茶差上の件) 佐藤宛	一通	七四七五
。繪図下書(大川沿初田村岩手村境周辺反別)	一枚	七四七六
。繪図下書(米山川沿村々配置黒岩村より柿崎村迄)	一枚	七四七七
。測図(木の太さか)	二枚	七四七八
。繪図下書(毀損地周辺地番)	一枚	七四七九
。証拠物申立書写(甲第拾八号繪図面に関し説明) 鈴木幸藏・永田喜重 明治一六年七月三十一日	一通	七四八〇
。追駁説書(写) 鈴木幸藏 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一六年七月二三日	半 一冊	七四八一
。毀損地地番別土地面積書上	一通	七四八二
。封筒(未使用)	一枚	七四八三
。繪図下書(毀損地周辺長さか)	一枚	七四八四
。繪図下書(岩手村堰下等周辺概要)	一枚	七四八五
。繪図下書(岩手村岩野村境土地測量図)	二枚	七四八六
。中頸城郡岩手村願書下書(岩野村布施宅蔵外四人に対し長瀬堰詰杭打興しの場所を従前の通に致す様御説諭願)	半 一冊	七四八七
。代人願控(鈴木幸藏を所有地毀損地復修請求事件の代人に願いたき旨) 佐藤文吉 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一五年一〇月	半 一冊	七四八八
。繪図下書(毀損地周辺地番)	一枚	七四八九
。繪図下書(毀損地の草の刈りとられた場所) 鈴木幸藏 明治一六年七月三十一日	一枚	七四九〇
。佐藤文吉訴状下願(書損じに付) 高田始 審裁判所長判事尾崎房豊代理判事補片山元次郎宛 明治一五年一月一〇日	一通	七四九一
。繪図下書	二枚	七四九二
。繪図下書(初田村田畑壹枚毎の間数)	一枚	七四九三
。繪図下書(四四二より四六二の地番)	一枚	七四九四
。(地価書上カ)(浦沖沓ノ割、久右衛門沢沓口ほか)	一通	七四九五
。白紙帳	半 一冊	七四九六
。鈴木幸藏書状(二月九日、一三日、一四日の各番問の報告) 佐藤文吉宛 二月一四日	一通	七四九七
。実地券状比較表(下書)(原告岩野村・被告岩手村分)	美 一冊	七四九八
。繪図控(毀損地周辺地番) 岩手村大場儀助、吉村泰治、佐藤與吉、佐藤文吉 明治一六年	一枚	七四九九
。所有地毀損復修請求勸解願・代人願・委任状下書 鈴木幸藏・佐藤文吉 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一五年九月三〇日	半 一冊	七五〇〇
。弁明書(写) 被告代人永田喜重 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一六年七月一〇日、一六日	半 一冊	七五〇一
。佐藤文吉当日限代人届(毀損地復修請求の)	一通	七五〇二

件に付) 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 一五年一月二日					
。上田岩之助書状 佐藤宛 五月二六日	包紙入封筒入	一通	七五〇三		
。所有地毀損復修詞訟裁判執行書類 佐藤文吉 明治一七年六月二日、六月一六日	半	一冊	七五〇四		
。永田喜重申立書写 明治一六年七月一七日、一二日		一通	七五〇五		
。鈴木幸藏申立書写 明治一六年七月一七日、一二日	半	仮一冊	七五〇六		
*。貸金請求事件関係書類 明治一九年五月	一括	五通	七五〇七		
某書状下書(初田村普請の件、郡役所へ実施見分願の件など) (佐藤与吉宛) 一一月一九日		一通	七五〇九		
出頭命令写 岩手村佐藤文吉宛 一二月二〇日		一通	七五九一		
佐藤与吉書状(初田村)普請之件、郡長無詮義和談云々) 佐藤叔父様宛		一通	七五九三		
旅費計算下書(高田日当等)		一通	七五九四		
某書状下書(佐藤老人、上田様へ相談之上上申書電報を以て申し上げ候)		一通	七五九七		
上田書状(絵図面等御渡し下されたく) 佐藤君宛		一通	七五九八		
某書状写(裁判所言渡の写を高田表へ通送)		一通	七六〇一		
約定書下書(預ケ金の取り扱いにつき) (明治)		一通	七六〇三		
預り金受領之通(下書)	表紙のみ	二枚	七六〇四		
某書状(図面認め方につき出張願) 丸山忠之(之忠)宛		一通	七六〇五		
互換約定書下書(初田堰近傍川岸普請仕方一条につき) 中頸城初田堰組、上小野村総代三上喜太郎以下八ヶ村八名、馬正面村立入人榆井真一郎 明治一七年九月		仮一冊 一通	七六九五		
約定書下書(佐藤文吉と萩野谷村外七ヶ村との間の米山川通初田堰普請に関する約定)		二通	七六九九		
仮約定書写(上小野村外七ヶ村用水初田堰普請に付き) 佐藤文吉、上小野村外七ヶ村惣代三上喜三・内藤正義、農事通信委員木村只七 明治一七年九月一九日		一通	七七〇六		
岩手村岩野村毀損地訴訟図面等 明治一五年一〇月		八枚 一通	七七〇四		
1 毀損地実地測量図(甲第七号証、判事閲覧印有) 岩手村佐藤文吉 明治一五年一〇月		一枚			
2 毀損地実地測量図(甲第七号証、判事閲覧署名捺印有) 高田川原町原告代人鈴木幸藏 明治一五年一二月一八日		一枚			
3 毀損地実地測量図(甲第八号証、判事閲覧署名捺印有) 高田川原町原告代人鈴木幸藏 明治一六年四月		一枚			
4 論所河原絵図(甲第二二号証、判事閲覧署名捺印有)		一枚			
5 論地周辺絵図(甲第一七号証、判事閲覧署名捺印有)		一枚			
6 論所図面写 高田中殿町通町被告代人永田喜重郎 明治一六年一二月八日		一枚			

- 7 絵図下書 一枚
- 8 絵図下書 一枚
- 9 高田南会所町丸山之忠旅費日当其外請取証〔岩手村岩野村双論地測量并絵図認日当其外〕 佐藤文吉宛 明治一七年六月二十六日 一通

貸金請求勸解事件

↓『佐藤家文書目録(その二)』三四頁をも見よ。

- 貸金請求勸解事件関係書類 明治一九年五月 一括 五通 七五〇七
- 1 貸金滞納勸解願下書〔米山寺村高村幾次郎(相係る貸金滞勸解事件) 原告代人佐藤與吉 明治一九年五月一七日 一通
- 2 原告人佐藤與吉御受書下書〔同前事件につき出願の件〕 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年五月一七日 一通
- 3・4 佐藤文吉代人願〔百木村平田軍治より相係る貸金請求事件につき佐藤與吉へ委任〕 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年五月一四日 二通
- 5 佐藤文吉委任状〔同前事件につき佐藤與吉へ委任〕 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年五月一四日 一通
- 貸金請求勸解事件等関係書類 (明治一七年) 袋入 七九点 七五〇八
一七五八六
- 袋 (七五〇九) 七五八六が入っていたもの 一枚 七五〇八
- 。佐藤與吉・平田軍次御受書下書〔平田軍次と佐藤文吉に相係る勸解事件につき出願の件〕 一通 七五〇九

- 件) 高田治安裁判所判事補山本正路宛 明治一九年二月八日
- 。高田治安裁判所通達 佐藤文吉宛 明治一八年二月 封筒入 五通 七五〇
- 1 高田支庁金銭受領証〔第四百号・第五百一号分〕 佐藤文吉宛 明治一八年二月五日 一通
- 2・3 高田治安裁判所書記小田栄吉送達書〔言渡書送達〕 佐藤文吉宛 明治一八年二月一六日 二通
- 4・5 高田治安裁判所言渡書〔無届不來に付料老円に処す旨、騰本〕 佐藤文吉宛 明治一八年二月一六日、一九日 二通
- 。某書状下書〔出頭不致の弁明、地押丈量の件〕 一通 七五二
- 。平田軍次より相係る貸金請求事件書類等 一括 七通 七五三
- 1 平田軍次ヨリ相係る貸金請求ノ事件〔経過書付〕 明治一七年一〇月一七日、一九年六月九日 一通
- 2 書状下書 一通
- 3・4 申上書下書 二通
- 5・6 申上書下書 二通
- 7 佐藤与吉書状〔星野多仲は金額返金の証拠無之て採用相成ず云々〕 叔父様宛 六月二八日 前欠 一通

- 。御勸解ニ付日延願写〔村山六太郎約定金請求事件、平田軍次貸金請求事件〕 佐藤与吉 高田治安裁判所判事補広島慎徳宛 明 一通 七五三

治一九年一月五日

。貸金滞勸解事件書類

1 3 勸解ニ付代人願ならびに委任状 佐藤文吉・佐藤興吉 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年六月

4 勸解済口状写 平田軍治・佐藤文吉 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年五月二八日

5 済口状御貸下願写 佐藤与吉 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年六月一八日

6 書類写取願書 佐藤興吉 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年六月一八日

。被告代人佐藤与吉・原告代人藤橋蔵次郎御受書写(貸金請求勸解事件に付き出頭のこと) 高田治安裁判所判事補広島慎徳宛 明治一九年七月六日

。兼帯庄屋庄兵衛・松五郎願書下書(中畑之内年貢引地に成されたき旨) 郡御奉行所宛 安永五年九月

。佐藤文吉金円借用証 百木村平田軍治宛 明治一八年二月二二日

。佐藤文吉御受書写(平田軍治より相係る貸金請求勸解事件に付き出頭のこと) 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年六月

。書状下書ほか雑記 (明治一八年)

。佐藤文吉御受書下書(村山六太郎へ相関る

一括 六通 七五四

三通

一通

一通

一通

一通 七五五

一通 七五六

一通 七五七

一通 七五八

一通 七五九

一通 七五〇

約定金請求事件に付き) 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年六月

。貸金請求勸解事件関係書類

1 勸解済口日延願下書(被告代人高村喜和松へ相係る貸金滞勸解事件の件) 被告代人高村喜和松 原告代人佐藤与吉 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年五月二六日

2 御召換状願・勸解済口書下書(明治十九年第一千三百五十七号貸金請求勸解事件)

3 勸解ニ付代人願下書(高村幾次郎へ相係る貸金請求勸解事件に付き) 佐藤文吉・佐藤与吉 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年五月一五日

。勸解ニ付代人願下書(百木村平田軍次より相係る貸金請求勸解事件に付き) 佐藤文吉 明治一九年六月三日

。佐藤与吉願書下書(平田軍治より相係る貸金滞勸解事件の願書不都合につき、再提出願) 原告平田軍治連名 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年五月一四日

。佐藤文吉御受書下書(米山寺村高村幾次郎へ相係る貸金請求勸解願につき佐藤与吉を以て代理人とする件) (明治)一九年五月一七日

。佐藤与吉代人届下書・御受書下書(平田軍次より佐藤文吉へ相係る貸金滞勸解事件ほか) 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 (明治)一九年五月

。勸解ニ付代人願下書(百木村平田軍次より

一括 三通 七五二

一通

一通

一通

一通 七五三

一通 七五三

一通 七五四

一通 七五五

一通 七五五

相係る貸金滞勸解事件に付き佐藤與吉へ代人願) 佐藤文吉・佐藤與吉 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年五月一七日	(一綴 二通)	七五六
。佐藤文吉御受書下書 (平田軍次より相係る貸金請求勸解事件、佐藤與吉を以て代理為致候に付き) 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年六月	一通	七五七
。佐藤文吉御受書下書 (米山寺村高村幾次郎へ相係る貸金請求事件、佐藤與吉を以て代理為致候に付き)	一通	七五八
。金子借用地所抵当之証 黒岩村星野多仲・同村証人島岡栄三郎 高田岡島町村山元忠宛 明治一九年五月	一冊	七五九
。 (佐藤文吉願書下書) (高田岡島町村山六太郎へ相係る約定金請求勸解事件に付き再度代人願)	二通	七五〇
。 (佐藤文吉願書下書) (平田軍治より相係る貸金請求勸解事件に付き再度代人願)	二通 (三枚)	七五三
。佐藤與吉・平田軍治御猶豫願下書 (平田軍治より相係る貸金請求勸解事件に付き日延願) 高田治安裁判所判事補廣島慎徳宛 明治一九年一〇月二一日	二通	七五三
。村山六太郎御猶豫願下書 (佐藤文吉より相係る勸解事件に付き日延願) 高田治安裁判所判事補廣島慎徳宛 明治一九年九月二八日	一通	七五三
。自家用料酒類製造石高御届雜形 (明治)	一通	七五四
。御猶豫願下書 (平田軍治より相係る貸金請求勸解事件に付き)	一通	七五五

。佐藤與吉御召喚願下書ならびに佐藤與吉・平田軍治御受書下書 (平田軍治より相係る貸金請求事件に付き) 高田治安裁判所判事補廣島慎徳宛 明治一九年一〇月一四日	二通	七五三六
。願書下書 (村山元忠より星野多仲金子借用に付き)	一通	七五三七
。佐藤文吉金円借用証 平田軍治宛 明治一九年二月二〇日	一通	七五三六
。佐藤文吉願書下書 高田治安裁判所判事補山本正路宛 明治一九年二月	一通	七五三九
。高田治安裁判所呼出状 佐藤文吉宛 明治一九年一〇月九日	一通	七五四〇
。瀬上送達貸錢請取証 佐藤與吉宛 明治一九年六月二一日	一通	七五四一
。藤屋勇吉品代勘定書 佐藤宛 明治一九年二月九日	横半々 仮一冊	七五四二
。高田岡島町八番地村山六太郎へ相係る約定金請求事件ノ日記 (明治一九年六月九日、一四日)	一通	七五四三
。貸金元利勘定写 (明治)	一通	七五四四
。佐藤文吉書状 (次男子出生に付き) 佐藤與吉宛 (明治一九年六月二二日)	一通	七五四五
。(裁判経過記録下書)	一通	七五四六
。佐藤文吉書状 (村山氏金円一件照会につき星野多仲氏の返書送達) 高田中小町小林勇吉方止宿佐藤與吉宛 六月六日	封筒入 一通	七五四七
。裁判所へ差出書類表題書	九通	七五四八

1・2 平田軍治より相係勸解事件 (第七八号) 佐藤文吉 御係渡辺殿宛 四月二一日	二通	
3 勸解事件新訴 佐藤与吉 五月一七日	一通	
4 平田軍治より佐藤文吉へ係ル勸解事件代人願 (第七八号) 佐藤與吉 御係渡辺殿宛 五月二七日	一通	
5 平田軍治より相係ル勸解事件 (第千四百九十六号) 佐藤與吉 係官廣島殿宛 一〇月二二日	一通	
6 村山六太郎へ相係ル事件 (第千七百五十九号) 佐藤與吉 係官廣島殿宛 一〇月二六日	一通	
7 願人平田軍治ヨリ相係ル貸金請求勸解事件 (第千四百九十六号) 佐藤與吉 御係り山本殿宛 明治一九年二月一日	一通	
8 村山六太郎へ相係ル約定金請求勸解事件 (第千七百五十九号) 佐藤與吉 御係り山本殿宛 明治一九年二月六日	一通	
9 村山六太郎へ相係ル事件 (第千七百五十九号) 御係廣島宛	一通	
。 絵図下書	一枚	七四九
。 無願開墾地・無届交換地・増減歩地価修正訂正願書下書 岩手村	一通	七五〇
。 村山六太郎妻ひさ答書写 (村山六太郎不在につき出頭不能の旨) 高田支宛 明治一九年八月二四日	一通	七五五
。 岡嶋町被告人村山六太郎御猶豫願写 (佐藤文吉より相係る勸解事件につき)	一通	七五五

安裁判所判事補廣島慎徳宛 明治一九年七月二四日		
。 佐藤文吉電報下書 (村山六太郎ヨリ抵当借用書ノ件) 札幌県膽振国有珠郡紋鼈村星野多仲宛 六月一四日発信	一通	七五五
。 願人代人佐藤与吉即刻御召喚願控ならびに下書 (約定金請求事件につき村山六太郎召換の件) 高田治安裁判所判事補廣島慎徳宛 明治一九年	一通	七五四
。 貸金請求勸解事件控書類綴 (平田軍治ヨリ佐藤文吉へ相係ル) 明治一九年	一綴 (七通)	七五五
1 佐藤與吉・平田軍治願書控 (平田軍治ヨリ相係ル貸金滞勸解事件の願書不都合有之に付き) 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年五月一四日	一通	
2 佐藤文吉・佐藤與吉勸解ニ付代人願控 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年六月三日	一通	
3 佐藤與吉代人御届控 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年六月四日	一通	
4 佐藤文吉委任状 (佐藤與吉へ委任) 明治一九年六月三日	一通	
5 佐藤文吉御請書控 (佐藤與吉を以て代理致させ候旨) 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年六月四日	一通	
6 原告代人藤橋藏次郎・被告代人佐藤与吉御受書控 (勸解事件につき原告本人平田軍治を出頭させるべき旨) 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治一九年六月四日	一通	
7 百木村藤橋藏次郎退願御猶豫願写 (原告	一通	

代人藤橋藏次郎より被告代人佐藤与吉へ相
係る貸金請求勸解事件 高田治安裁判所
判事補廣島慎徳宛 明治一九年六月二八日

。約定金請求勸解願控書類綴(佐藤文吉代人
佐藤興吉より高田岡島町村山六太郎へ相係
る) 明治一九年六月一日

1 表紙 明治一九年六月一日

2 佐藤文吉御受書控(佐藤興吉を以て代理
致させ候につき) 高田治安裁判所長判事
補渡辺永類宛 明治一九年六月

3 佐藤文吉委任状(佐藤興吉へ委任) 明
治一九年六月九日

4 佐藤與吉御受書控(代人願許可につき代
人願書御下け渡し) 高田治安裁判所長判
事補渡辺永類宛 明治一九年六月一日

5 佐藤與吉代人御届控 高田治安裁判所長
判事補渡辺永類宛 明治一九年六月二日

6 原告代人佐藤與吉御受書(被告召喚の当
日出頭の旨) 高田治安裁判所長判事補渡
辺永類宛 明治一九年六月一日

7 勸解二付代人願控 佐藤文吉・佐藤與吉
高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明
治一九年六月一日

8 代人佐藤与吉御願下書(村山六太郎を召
喚なされ候様) 高田治安裁判所長判事補
渡辺永類宛 明治一九年六月一日

9 原告代人佐藤与吉・被告人村山六太郎勸
解済口状下書 高田治安裁判所長判事補
渡辺永類宛 明治一九年六月一日

一綴
(一三通)
七五六

10 佐藤文吉・佐藤與吉勸解二付代人願控
高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治
一九年六月一八日

11 原告某御受書下書 所長宛 明治一九年
六月二日

12 原告代人佐藤与吉御召喚願控(村山六太
郎を召喚されたく) 高田治安裁判所判事
補廣島慎徳宛 明治一九年六月二八日

13 原告代人佐藤与吉御受書控(出頭指令御
受) 高田治安裁判所長判事補廣島慎徳宛
明治一九年六月二八日

。約定金請求勸解願書類綴表紙(佐藤文吉代
人原告人佐藤興吉より被告人村山六太郎へ
相係る) 明治一九年六月九日

表紙のみ

一通

七五五七

。貸金請求勸解願控書類綴(佐藤文吉代人佐
藤興吉より米山寺村高村幾次郎へ相係ル)
明治一九年五月一八日

一綴
(八通)
七五五八

1 表紙 明治一九年五月一八日

2 佐藤文吉御受書控(佐藤與吉を代理人と
するにつき) 高田治安裁判所長判事補渡
辺永類宛 明治一九年五月一八日

3 原告人佐藤與吉御受書控(被告人召喚当
日出頭すべき旨) 高田治安裁判所長判事
補渡辺永類宛 明治一九年五月一八日

4 佐藤文吉委任状控(佐藤與吉を代理人に
委任) 高田治安裁判所長判事補渡辺永類
宛 明治一九年五月一八日

5 佐藤與吉代人御届控 高田治安裁判所長
判事補渡辺永類宛 明治一九年五月一八日

一通

一通

一通

一通

一通

- 6 佐藤文吉・佐藤與吉勸解二付代人願控
高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛 明治
一九年五月一五日 一通 七五六一
- 7 被告代人高村喜和松・佐藤與吉勸解済口
書控 高田治安裁判所長判事補渡辺永類宛
明治一九年六月二日 一通 七五六三
- 8 佐藤文吉委任状(権限を佐藤與吉へ委
任) 明治一九年一月一四日 一通 七五五九
- 御受書雛形(代人願許可に付き出頭の件、貸
金払い下げ申すべく候に付き云々) 所長
宛 一通 七五五九
- 百木村藤橋藏次郎勸解済口状下書(原告代
人藤橋藏次郎より被告代人佐藤與吉へ相係
る貸金請求に付き) 高田治安裁判所判事
補廣島慎徳宛 明治一九年六月一五日 一通 七五六〇
- 原告代人佐藤與吉御受書控(原告代人佐藤
與吉より村山六太郎へ相係る約定金請求勸
解事件に付き出頭すべき旨) 高田治安裁
判所判事補廣島慎徳宛 明治一九年八月二
〇日 一通 七五六一
- 岡嶋町被願人村山六太郎御猶豫願写(佐藤
文吉より相係る約定金請求勸解事件につき
日延願) 高田治安裁判所判事補廣島慎徳
宛 明治一九年九月二九日 一通 七五六二
- 願人代佐藤與吉勸解退願下書(村山六太郎
へ相係る約定金請求勸解に付き) 高田治
安裁判所判事補山本正路宛 明治一九年一
二月六日 三通 七五六三
- 被告代人佐藤與吉・原告(代人)藤橋藏次
郎御受書下書 高田治安裁判所判事補廣
島慎徳宛 明治一九年七月七日 一通 七五六四

- 委任状下書(村山六太郎へ相係る勸解願の権
限) 一通 七五六五
- 佐藤文吉委任状下書(村山六太郎へ相係る
勸解事件の権限) 明治一九年六月
某書状下書(母葬送之事、平田軍治宅搜索之
事など) 一通 七五六七
- 高田治安裁判所呼出状 佐藤文吉宛 明治
一九年六月二四日 一通 七五六八
- 高田治安裁判所呼出状 佐藤文吉宛 明治
一九年六月二九日 一通 七五六九
- 佐藤文吉伺書下書ならびに控(高田岡島町
村山元忠へ黒岩村屋野多仲より差し入れの
金円借用証文の公証取消につき伺い) 黒
岩村戸長藤俊平宛 明治一九年 三通 七五七〇
- 佐藤文吉伺書ならびに尾神村外八ヶ村戸長
代理上野慶四郎返答書(高田岡島町村山
元忠へ黒岩村屋野多仲より差し入れの金円
借用証文の公証取消につき伺い、及びそれ
に対する返答) 明治一九年六月一六日 一綴 七五七一
- (注) 七五七〇の正本
- 佐藤文吉書状(落地開墾取調の件、村山事件
の件等) 佐藤與吉宛 一〇月二三日 封筒入 一通 七五七二
- 袋(表書)「丑諸願入」 袋のみ 一枚 七五七三
- 更定約定書下書(田地売買契約) 田地売主
平田軍治・田地買主佐藤文吉・証人増井達
道 明治一八年一〇月五日 一部欠 二通 七五七四
- 某書状下書(村山六太郎一件の裁判経過報
告) 一通 七五七五

。某書状(下書)〔平田軍治・高村幾次郎・村山六太郎の各事件の裁判経過報告〕	一通	七五七六	〔注〕「越後国持丸長者競」(史料番号七七〇七)のことと思われ。		
。高田岡島町八番地村山六太郎書類入	四通	七五七七	。佐藤文吉書状	包紙入	二一通 七五八四
1 佐藤文吉延期証控〔星野多仲田地抵当を以て金円借用に付き返納の件〕 村山元忠宛 明治一七年七月一三日	一通		〔注〕2は1の書状に添付されていたもの		
2 高田岡島町村山六太郎約定証〔星野多仲へ貸渡金の内百円貴殿より請取りにつき約定〕 佐藤文吉宛 明治一八年二月一日	一通		1 佐藤文吉書状〔村山六太郎書状回送の件、同氏と星野氏との一件につき云々〕 佐藤与吉宛 (明治一九年) 九月二五日		一通 (二枚)
3 星野多仲金円借用証下書 明治一九年二月四日	一通		2 村山六太郎書状〔星野多仲借用金一件につき〕 佐藤老台宛 二四日	封筒入	一通 (二枚)
4 村山六太郎書状〔星野氏東京にて面会、元利金の件ほか〕 佐藤文吉宛 (明治一九年) 二月六日	一通		。佐藤文吉書状〔村山六太郎、星野多仲金円借用一件など対審報告〕 佐藤与吉宛 六月二八日	封筒入	一通 (三枚) 七五八五
。星野多仲書状 佐藤文吉宛 明治一九年六月二五日	一通	七五七八	。佐藤文吉書状封筒 佐藤与吉宛	封筒のみ	一枚 七五八六
。佐藤文吉書状〔平田軍治、村山六太郎金円一件〕 佐藤与吉宛 六月九日	一通	七五七九	佐藤文吉願書〔平田軍治ヨリ相係ル貸金請求解除事件〕 高田治安裁判所判事補山本正路宛 明治一九年一月二八日		半 仮一冊 七七〇一
。佐藤おため葉書〔預物持帰り下されたき旨〕 佐藤與吉宛 明治一九年七月九日	一通	七五八〇	意見書下書〔平田軍治ヨリ佐藤文吉へ相係る貸金請求事件に付き〕 明治一九年五月八日		美 仮一冊 七七七六
。書類写取願書下書〔平田軍治ヨリ相係る貸金請求事件退願届を写し取りたき旨〕	一通	七五八一	佐藤文吉論弁書下書〔平田軍治ヨリ佐藤文吉へ相係る貸金請求事件に付き〕 高田治安裁判所判事補渡辺永類宛		美 一冊 七七七七
。中川九次葉書〔小生の未熟より申出で候村山氏との和解の件はひとまず御取消し下されたき旨〕 佐藤與吉宛 明治一九年八月二一日	一通	七五八二	百木村田地売主平田軍治・岩手村田地買主佐藤文吉更定約定書〔田地売買につき〕 明治一八年一〇月五日		半 一冊 七七八一
。小野(三上)謙三書状〔九持長者鑑を返上す〕 岩手佐藤御老台宛 五月一四日	一通	七五八三	平田軍治・佐藤文吉田地売買ニ付為取替約束証 明治一八年二月二日、明治一七年一〇月一七日	美	一綴 (一通) 七七八二
			平田軍治・佐藤文吉地所売買ニ付地券御裏書		

願ならびに勸解済口書写 中頸城郡長渡部建
藏宛ほか 明治一八年二月三日、一五日 美 (一綴) 七七七
(三)通

堤防毀壞告訴事件

↓ 『佐藤家文書目録(その二)』二四七頁「所有地
毀損修復訴訟」、『同(その二)』四三頁「初田堰
詰所有地一件」をも見よ。

大字岩手地先自費堤防修繕工事一件に関する
書類下書等 一括 一六点 七〇七

字長瀬堰詰欠崩之日記 明治二六年五月一四
日 一冊 七〇七

附1 (初田堰出入書付) 明治二六年九
月一通 (二)通

附2 某書狀下書 (法事出席依頼) 西巻
豊之介ほか宛 一通

堤防毀壞訴訟関係文書 (明治二七年) 一括 八三点 七五二

(注) 麻紐で一括されていたもの。そのうち2と24は1の包紙
に入っていたもの。また26と60は25の包紙に入っていた
もの。

1 包紙 (表書) 「叔父ヨリ書状」 二枚

(注) 2と24が入っていた包紙

2 佐藤文吉書状 (堤防事件に付き郡役所工管
派出所へ出頭の件報告) 佐藤与吉宛 封筒入 一通

明治二七年二月一九日

3 佐藤文吉書状 (諸書状受取報告) 佐藤文
吉宛 明治二七年二月二五日 封筒入 一通

4 佐藤文吉書状 (岩野堰下迄普請云々に付き
平出氏と相談すべき件忠告) 一二月一
四日 封筒入 (一)通
(二)枚

5 佐藤文吉書状 (金銭持参依頼) 佐藤與吉
宛 一二月一九日 一通

6 佐藤文吉書状 (堤防関係上申書聞届けられ
ず、その旨報告) 佐藤与吉宛 明治二
八年一月二二日 封筒入 一通

7 佐藤文吉書状 (八ヶ村との境界問題の件)
佐藤与吉宛 明治二八年九月一〇日 包紙入 一通

8 高田某書状 (高橋様に写本六冊差上げ候
間、お返し下されたき旨) 佐藤宛 一
月一五日 一通

9 佐藤文吉書状 (村長指名書に付き談判依
頼) 佐藤与吉宛 一月三〇日 封筒入 一通

10 佐藤文吉書状 (工管派出所石黒氏と対談の
件民事訴訟の外なし云々) 佐藤与吉宛
一月二四日 封筒入 一通

11 佐藤文吉書状 (平井田氏、高橋氏との談判
の件承知、此度の失敗の庵漏仕方云々)
(明治二七年) 一月一四日 封筒入 一通

12 佐藤文吉書状 (宮崎氏・小木田氏と談判の
事情迅速報知依頼) 佐藤与吉宛 一
月一三日 封筒入 一通

13 佐藤文吉書状 (郡役所土木課の事件に付き
通知依頼) 佐藤与吉宛 一月八日 封筒入 一通

14 佐藤文吉書状 (長とろ堰初審より終審の判
決書等熟覧依頼) 佐藤与吉宛 (明治
二七年) 一〇月一七日 封筒入 一通

15 佐藤文吉書状 (誓約書委任状了承依頼)
佐藤与吉宛 (明治二七年) 一〇月一四
日 封筒入 一通

- 16 佐藤文吉書状〔弁護料下直にすべき件〕
佐藤与吉宛 一〇月二二日 封筒入 一通
- 17 佐藤文吉書状〔小木曾君へ弁護依頼賛成その他の件〕
佐藤与吉宛 (明治二七年) 一〇月四日 封筒入 一通
- 18 佐藤みち書状 佐藤文吉宛 (明治) 二七年一〇月二六日 一通
- 19 佐藤文吉書状〔堤防漏水の処置報告〕
佐藤与吉宛 明治二七年九月二六日 封筒入 一通
(三枚)
- 20 佐藤文吉書状〔吉村泰治ら帰宅無之件〕
佐藤與吉宛 九月一六日 封筒入 一通
(三枚)
- 21 佐藤文吉書状〔岩手岩野境の件告訴すべき件〕
佐藤與吉宛 明治二七年九月一六日 封筒入 一通
- 22 佐藤文吉書状〔柳ヶ崎角張清八長とろ堰側測量依積みの件報告〕
佐藤与吉宛 (明治二七年) 九月二四日 封筒入 一通
(二枚)
- 23 佐藤文吉書状〔長とろ堰杭打状況報告〕
佐藤与吉宛 (明治二七年) 九月二四日 封筒入 一通
- 24 佐藤文吉書状〔堤防工事に付郡役所へ伺の件、御伺書同封〕
佐藤与吉宛 明治二八年一月二二日 二通
- 25 包紙〔(表書)「小木曾・宮サキ・外々書状」〕
〔注〕26、30が入っていた包紙 一枚
- 26 金銭支払書上 九月一日、一八日 一通
- 27 高橋文賢書状〔相生町柳原郷出張依頼〕
岩永新五郎宛 一月二一日 封筒入 一通

- 〔注〕28に同封されていたもの
- 28 高橋文賢書状〔岩永氏への書状回達〕
与吉宛 一月二一日 封筒入 一通
- 29 高橋文賢書状〔柳原郷へ出張依頼〕
新五郎宛 一月二一日 一通
- 〔注〕30に同封されていたもの
- 30 高橋文賢書状 佐藤與吉宛 封筒入 一通
- 31 平出善吉書状〔與吉依頼への回答〕
與吉宛 一月一〇日 封筒入 一通
- 32 平出善吉書状〔與吉依頼の書類渡す件〕
佐藤與吉宛 一月一〇日 封筒入 一通
- 33 す、木(鈴木)書状〔いづれ参上の旨〕
佐藤與吉宛 一〇月七日 一通
- 34 宮崎久信書状〔御来駕相成りたき旨〕
藤與吉宛 佐 一通
- 35 宮崎久信書 佐藤与吉宛 (明治) 二六年九月二二日 一通
- 36 丸山之忠葉書〔出張不可に付断り状〕
藤文吉宛 (明治) 二七年一月二五日 封筒入 一通
- 37 平出善吉書状〔面会依頼〕
佐藤與吉宛 一二月一五日 封筒入 一通
- 38 平出善吉書状〔所在に關し通知〕
吉宛 一二月一七日 封筒入 一通
- 39 小木曾庄吉書状〔契約等は清野に一任の件通知〕
一〇月五日 一通
- 40 小木曾法律事務所書状〔高田到着次第連

41 小林書状 佐藤宛 一二月一八日	一	一通
42 電報〔出立報知〕 マルヤマ サトウヨキ チ宛 (明治二十七年) 二月二二日	二	二通
43 記〔判事・書記名書付〕	一	一通
44 電報〔出立報知〕 マルヤマ サトウヨキ チ・オウシマヒロシ宛 二月二〇日	一	一通
45 宮崎久信書状 佐藤與吉宛 明治二十七年 九月二七日	一	一通
46 宮崎久信書状〔小木曾事務所清野に一任の 件〕 佐藤與吉宛 一〇月六日	一	一通
47 宮崎久信書状〔後刻面会の件〕 佐藤與吉 宛 (明治二十七年九月) 二二六日	一	一通
48 小木曾庄吉書状〔堤防毀壞事件提訴引受〕 日 佐藤與吉宛 (明治二十七年) 九月二六	一	一通
49 宮崎久信書状封筒 佐藤與吉宛	一	一枚
50 宮崎久信書状〔小木曾氏予定の件〕 佐藤 與吉宛 二二九日	一	一通
51 高橋文賢書状〔柳原郷・丸山氏出張の件〕 佐藤與吉宛	一	一通
52 小林勇吉書状〔出願方法の件〕 佐藤與吉 宛 一月一六日、一七日	三	三通
53 小林勇吉書状〔若長氏本日出勤ニ付通知〕 佐藤與吉宛 二月二二日	一	一通
54 大島書状〔掃宅時刻通知〕 佐藤宛 二月	一	一通
55 山崎喜久吉書状〔断り状〕 佐藤與吉宛 二月二二日	一	一通
56 宮崎久信書状 佐藤與吉宛 一七日	一	一通
57 鈴木幸藏書簡〔歛下地の地図必要の件〕 佐藤與吉宛 四月二九日	一	一通
58 小木曾庄吉書〔依頼の事件に付き状況 報告〕 佐藤文吉宛 (明治) 二十七年一 〇月一七日、二二日	二	二通
59 小林勇吉書状〔軍事公債証利子受取方法の 件〕 佐藤與吉宛 四月二九日	一	一通
60 高橋文賢書状 佐藤與吉宛	一	一通
61 堤防修繕工事御許可願〔控〕 吉村泰 治 佐藤與吉 佐藤文吉 新潟県知事筆 手田安定宛 明治二十七年九月二二日	美	一冊
62 堤防毀壞之告訴ニ付帶スル私訴申立書 〔控〕 民事原告人佐藤與吉・民事原告 訴訟代理人小木曾庄吉 新潟地方裁判所 高田支部判事加藤重三郎宛 明治二十七年 一〇月三〇日	半	一冊
63 堤防毀壞告訴事件ニ付上申書〔控〕 告 訴人佐藤文吉兼佐藤與吉 新潟地方裁 判所高田支部判事村中村正彦宛 明治二七 年九月二五日	半	一冊
64 堤防毀壞告訴事件ニ付追伸書〔控〕 佐 藤與吉 新潟地方裁判所高田支部子審判 事件忠一宛 明治二十七年一〇月一〇日	半	一冊
65 絵図下書 明治二十六年五月一四日	一	一枚

66 御臨檢ノ申請 (佐藤与吉 第四区工営派遣所宛 明治二十七年九月十五日)	美	仮一冊
67 御伺書控 (自費堤防修繕工事願却下理由由示命願) 佐藤與吉、吉村泰治、佐藤文吉 黒川村長湯本又三郎宛 明治二十七年一月三〇日	一	通
68 御伺書 (自費堤防工事願却下理由由示命願) 佐藤與吉 新潟県第四区工営派遣所宛 明治二十七年一月二十二日	一	通
69 至急臨檢申請控 (堤防毀壞に付き) 佐藤与吉 柿崎町警察署宛	一	通
70 立証及証人ノ申請 (草稿) (堤防毀壞告訴事件ニ付) 告訴代理人小木曾庄吉 新潟地方裁判所高田支部檢事村中正彦宛 明治二十七年一〇月二〇日	美	仮一冊
71 私訴ニ付用材ノ見積り (下書) 与吉	一	通
72 御伺届 (控) (自費堤防修繕工事却下理由由示命願) 佐藤與吉他三名 黒川村町湯本又三郎宛 明治二十七年一月三〇日	一	通
73 佐藤與吉願書 (控カ) (自費堤防工事目論見帳差戻理由由示願) 第四区土木工一営派遣所宛 明治二十七年二月四日	一	通
74 御臨檢申請 (控カ) (堤防毀壞に付き) 佐藤與吉 中頸城郡長郷田兼亮宛 明治二十七年九月一日	美	仮一冊
75 追伸書草稿 (堤防毀壞に付き)	半	仮一冊
76 立証及証人ノ申請 (草稿) (堤防毀壞事件に付き) 佐藤与吉・小木曾庄吉 新潟県地方裁判所高田支部予審判事件忠一宛 明治二十七年一〇月二十九日	半	仮一冊
77 絵図下書 明治二十七年一月五日	一	枚
78 絵図写 (初田堰)	一	枚
79 告訴状起稿 佐藤与吉 高田警察署柿崎分署警部和田亮一宛 (明治) 二十七年九月二二日	半	仮一冊
80 堤防毀壞之告訴 (写) 告訴人佐藤文吉 右代兼佐藤与吉 明治二十七年九月二二日	半	一冊
81 被告人氏名訂正願 (控) 佐藤與吉 高田警察署柿崎分署長警部和田亮一宛 明治二十七年九月二七日	一	通
(注) 80の丁間文書		
82 柿崎警察分署長警部和田亮一通達 (出頭要請) 佐藤與吉宛 (明治) 二十七年九月二六日	一	通
(注) 80の丁間文書		
83 新潟県地方裁判所高田支部檢事局通達 (出頭要請) 佐藤與吉宛 明治二十七年一月六日	一	通
(注) 80の丁間文書		
下黒川村大字柳ヶ崎角張清八他六名名前書付	一	通
佐藤与吉証明願下書 (自分に関する明治十六年控訴事件口供証拠謄本の正本と相違無き旨証明願) 新潟地方裁判所高田支部書記課宛 明治二十六年一〇月七日	一	通
佐藤文吉委任状写 (佐藤與吉代理委任の件) 明治二十六年一〇月八日	一	通

某書状下書（委任状調印の件、裁判所へ認証願の件ほか）	二通	七八四	附 佐藤與吉上申書下書 新潟地方裁判所高田支部予審判事伊忠一宛 明治二七年一〇月 一通	一通	七八五
日記「裁判所にて謄写進行状況」 九月二五日、一〇月一四日	一通	七八五	佐藤與吉・小木曾庄吉私訴状下書（堤防毀壞事件につき） 予審判事伊忠一宛	二枚	七七五
願書下書（自費堤防修理工事に付き）	一通	七二〇	繪図下書（石砂入欠崩場所） 明治二七年一月二〇日	二枚	七七六
被告人氏名訂正願ならびに御尋二付手続書下書（堤防毀壞告訴事件）	一通	七七七	佐藤與吉出頭届下書 新潟県地方裁判所高田支部検事局宛 明治二七年九月、同年一月八日	四通	七七七
土地訴訟証拠物等につき書付下書	一通	七七八	佐藤與吉書状下書 新潟県会議事堂ニテ高橋文賢宛 明治二七年一月三三日	一通	七七八
堰普請所絵図下書ならびに用材覚（明治二六年）	一括	七一九	某書状下書（郡役所主任石黒氏に面会し堤防の件陳述報告）	二通	七七九
和田堰詰堤防毀壞訴訟書類（明治二七年）	袋入	七二〇 七七二 七七三	某書状（下書）（初田堰詰の堤防の件）	二通	七七〇
袋（裏書）「水利妨害告訴并ニ私訴 黒川村 佐藤文吉」	一枚	七七〇	佐藤文吉・佐藤與吉契約証下書（角張清八外五名に相係る初田堰堤防毀壞の告訴・私訴代理依頼） 小木曾庄吉宛 明治二七年一〇月	三通	七七二
〔注〕 七七二、七七三が入っていたもの。			約定書下書（角張清八外五名へ対する初田堰堤防毀壞の告訴に付帯する私訴弁護）	三通	七七三
猿毛村武藤清七金子借用証文 明治一四年一月	一通	七七二	佐藤文吉・佐藤與吉委任状下書（角張清八外五名に對する堤防毀壞告訴・私訴の件、弁護士小木曾庄吉に代理委任）	一通	七七三
佐藤與吉御受書下書（角張清八外五名に對する堤防毀壞告訴事件に際し提出書証下附につき受取） 新潟地方裁判所高田支部検事中村正彦宛 明治二七年一月八日	一通	七七三	弁護約定書ならびに弁護料受取証下書	二通	七七四
佐藤文吉委任状控（角張清八外五名に對する堤防毀壞告訴に付き佐藤與吉へ委任） 明治二七年九月二二日	一通	七七三	佐藤與吉契約証下書（角張清八外五名に相係る堤防毀壞告訴弁護料） 小木曾庄吉宛 明治二七年一〇月一五日	一通	七七五
告訴人佐藤文吉代兼佐藤與吉納証（控ならびに写）（角張清八外五名に對する堤防毀壞告訴事件に付き証拠書類提出） 新潟地方裁判所高田支部検事中村正彦宛 明治二七年九月二五日	二冊 一通	七七四			

。佐藤文吉誓約書下書〔初田堰に関する民刑訴訟弁護につき〕 小木曾庄吉宛	一通	七七六	。某書狀下書〔軍事公債の件、弁護士小木曾氏実地臨検の件など〕	二通	七七一
。中頸城郡黒川村大字右手杭棚堤防工事ケ所 絵面 吉村泰治・佐藤与吉・佐藤文吉	一通	七七七	。佐藤与吉書狀下書〔堤防出願の件〕 平出宛 一二月二九日	一通	七五二
。佐藤与吉書狀下書〔堤防毀壞告訴事件に付き弁護士代言料の件など〕 叔父様宛	七枚	七七八	。某書狀下書〔来る一三日出高仕り候〕	一通	七五三
。明治二六年五月一四日字長瀬堤防普請人足書付	一通	七七九	。佐藤某書狀下書〔弁護士の儀小木曾氏に取り極めの件〕 高橋宛 一〇月一八日	一通	七五四
。日記下書 七月四日、一〇月六日	二枚	七四〇	。日記下書〔告訴状差出しの件など〕 九月二一日・九月二二日	一枚	七五五
。御伺書下書〔字長瀬へ自費堤防修繕工事願〕	三通	七四一	。小木曾庄吉電報写 高田町大字下田端宮サキ久宛	一通	七五六
。日記下書〔堤防毀壞に付き検事との問答〕 九月二五日	一通	七四二	。裁判証拠書類書付カ〔終審訴訟書類、告訴状等〕 一〇月一九日	一通	七五七
。佐藤與吉書狀〔下書共〕 〔弁護士依頼の件 堤防許可願の件など〕 佐藤文吉宛 〔明治〕一七年一〇月一〇日	二通	七四三	。中頸城郡上中山村碓井文太郎明治十八年雜商營業金高届書 中頸城郡長渡邊健藏宛 明治一九年二月一四日	一通	七五八
。某書狀下書〔堤防工事許可願の経過〕	一通	七四四	。粧売出開業廣告 田中勘吉 明治二七年九月	一通	七五九
。某書狀下書〔堤防工事許可願の件、岩野水勿の件〕	一通	七四五	。* 每小区規則條件〔写〕 明治五年九月	刊	
。某書狀下書〔堤防〔毀壞〕事件ニ付弁護士依頼の件〕	一通	七四六	。* 地方総計書上帳〔下書〕 柏崎縣御管轄第七大区八小区岩手村 明治六年三月	半 仮一冊	七六〇
。大字下灰庭ほか男女人数書付	一通	七四七	。植木屋大平代金請取書〔木手入手問賃〕 小木曾宛 一〇月一〇日	美 一冊	七六一
。日記下書〔小木曾代言事務所員と面会その他〕 九月二〇日、九月二六日	一枚	七四八	。佐藤與吉・吉村泰治御伺書〔下書共〕〔長瀬自費堤防工事につき当御役場より出願相成り難き理由御伺〕 黒川村長湯本又三郎宛 明治二七年一月二六日	横美半 仮一冊	七六二
。某書狀〔新聞代金送金〕	一通	七四九		四通	七六三
。高畑分地租割覚 〔明治二七年〕	一通	七五〇			
	後欠				

。佐藤與吉願書下書〔長瀬自費堤防工事出願書類御返戻しの理由明示された旨〕 第四区土木工営派遣所宛 明治二十七年一月四日	一八通	七七四	佐藤與吉願書下書〔自費堤防工事許可願に付き大至急許可なされた旨〕 新潟県判事筆手田安吉宛 明治二十七年一月	四通	七七九
。御臨検ノ申請下書〔初田堰堤防毀壞の被害に付き実地検分願〕 佐藤文吉代兼佐藤與吉 第四区工営派遣所宛 明治二十七年九月一二日、一五日	美 一冊 一通	七七五	。佐藤與吉御伺書下書〔堤防修繕工事許可大至急を要する儀に付き〕 中頸郡長郷田兼亮宛 明治二十八年一月	一通	七七八〇
。戸長役場通達写〔初田堰の儀につき岩手村惣代出頭すべき旨中頸城郡役所達書の伝達〕 岩手村惣代中宛 (明治)一七年一月一〇日	一通	七七六	。告訴状下書〔堤防毀壞ノ告訴〕 黒川村大字岩手告訴人佐藤文吉・右代兼告訴人佐藤與吉	部分 一枚	七八二
。参考証拠書類届書下書〔明治十六年控訴第四拾八号裁判言渡書ほか〕 佐藤與吉 第四区土木工営派遣所宛 明治二十七年一〇月二〇日	一通	七七八	。小木曾事務所書状〔弁護士事務所〕 佐藤宛 一〇月六日	封筒入 一通	七八七
。明治二十七年度幹流米山川堤防通常修繕工事目論見下書ほか 中頸城郡黒川村大字岩手 明治二十七年	一括 八通	七八六	。鈴木幸藏書状写ならびに佐藤文吉委任状写 佐藤與吉宛 明治二十六年九月	一通	二〇四九
。絵図下書〔米山川初田堰等〕 (明治二十七年)	四枚	七八九	。後見人証明願〔佐藤耕策後見人〕 佐藤與吉 黒川村長湯本又三郎宛 明治三十一年一月八日	一通	七三三
。某書状下書〔土木課長との面会の件、告訴の件など〕	一通	七七〇	。有体動産差押申請書下書〔小作債務不履行のため〕 黒川村大字岩手債権者佐藤某・後見人佐藤與吉・代理人薩美仁左衛門 高田区裁判所監督判事古山四郎宛 明治三十一年一月一日	半 一冊	七三五
。某書状下書〔郡役所へ出頭、書面提出の件など〕	三枚	七七一	。金銭支出覚〔弁護士料・報酬金等〕 一月二十九日	一通	七三八
。普請用材人足書付等断簡	七枚	七七二	。金銭支出覚〔弁護士料・仮差押供託金など〕 一月四日	一通	七三九
。訴訟書類袋〔表書〕「訴名堤防毀壞、原告佐藤文吉、被告角張清八外五名」 長野縣上水内郡長野町小木曾法律事務所	袋のみ 一枚	七七三			
。佐藤與吉願書下書〔長瀬自費堤防工事に付き〕 第四区土木工営派遣所宛 明治二十七年一月二	一通	七七八			

新潟県中頸城郡黒川村大字岩手服部忠作委任
状写(原告佐藤耕策後見人佐藤寅吉より有体
動産仮差押取消に関する一切の行為を佐藤才
治に委任) 明治三十一年一月二十四日

一通 七三三

期日呼出状(佐藤寅吉・佐藤寅吉間の小作米事
件に付き) 新潟県地方裁判所高田支部書記
梶川錦太郎 中頸城郡高田町大字呉服浅野豊
三郎宛 明治三十一年一月十三日

一通 七五三

期日呼出状(佐藤寅吉・佐藤寅吉間の小作米事
件に付き) 高田区裁判所書記梶川錦太郎
中頸郡高田町大字呉服浅野豊三郎宛 明治三
十一年一月十三日

一通 七五四

期日呼出状(佐藤寅吉・佐藤佐吉間の小作米事
件に付き) 高田区裁判所書記梶川錦太郎
中頸城郡高田町大字呉服浅野豊三郎宛 明治
三十一年一月十三日

一通 七五五

期日呼出状(佐藤寅吉・佐藤半造間の小作米事
件に付き) 新潟県地方裁判所高田支部書記
梶川錦太郎 中頸城郡高田町大字呉服浅野豊三郎
宛 明治三十一年一月十三日

一通 七五六

訴状及期日送達(佐藤寅吉・佐藤寅吉間の小作
米事件に付き) 高田区裁判所書記梶川錦太
郎 佐藤寅吉宛

一通 七五七

仮差押取消(債権者佐藤寅吉・債務者佐藤寅
吉) 高田区裁判所書記梶川錦太郎 明治三
十一年一月二十四日

一通 七五八

仮差押取消(債権者佐藤寅吉・債務者佐藤佐
吉) 高田区裁判所書記梶川錦太郎 明治三
十一年一月二十四日

一通 七五九

仮差押取消(債権者佐藤寅吉・債務者佐藤半
造) 高田区裁判所書記梶川錦太郎 明治三
十一年一月二十四日

一通 七六〇

仮差押取消決定(債権者佐藤寅吉・債務者佐藤
寅吉) 高田区裁判所書記梶川錦太郎 明治
三十一年一月二十四日

一通 七六一

仮差押取消(債権者佐藤寅吉・債務者太田龍
造) 高田区裁判所書記梶川錦太郎 明治三
十一年一月二十四日

一通 七六二

仮差押取消決定(債権者佐藤寅吉・債務者佐藤
才治) 高田区裁判所書記梶川錦太郎 明治
三十一年一月二十六日

一通 七六三

送達状(有体動産仮差押決定) 高田区裁判所
書記梶川錦太郎 中頸城郡高田町大字呉服浅
野豊三郎宛 明治三十一年一月二十一日

一通 七六四

送達状(仮差押決定) 高田区裁判所書記梶川
錦太郎 中頸城郡高田町大字呉服浅野豊三郎
宛 明治三十一年一月二十四日

一通 七六五

送達状(仮差押決定) 高田区裁判所書記梶川
錦太郎 中頸城郡高田町大字呉服浅野豊三郎
宛 明治三十一年一月二十四日

一通 七六六

送達状(仮差押決定) 高田区裁判所書記梶川
錦太郎 中頸城郡高田町大字呉服浅野豊三郎
宛 明治三十一年一月二十四日

一通 七六七

送達状(仮差押決定) 高田区裁判所書記梶川
錦太郎 中頸城郡高田町大字呉服浅野豊三郎
宛 明治三十一年一月二十四日

一通 七六八

有体動産仮差押申請(下書) 債権者訴訟代
理人浅野豊三郎 明治三十一年一月

一通 七六九

送達状(仮差押決定) 高田区裁判所書記梶川
錦太郎 中頸城郡高田町大字呉服浅野豊三郎
宛 明治三十一年一月二十四日

一通 七六九

送達状(仮差押決定) 高田区裁判所書記梶川

錦太郎 中頸城郡高田町大字呉服浅野豊三郎宛 明治三十一年一月四日	一通	七三〇	裁判所監督判事古山四郎宛 明治三十一年一月二四日	二通	七八一
送達状〔仮差押決定〕 高田区裁判所書記梶川錦太郎 中頸城郡高田町大字呉服浅野豊三郎宛 明治三十一年一月二六日	一通	七七一	人名書付〔佐藤伍吉・寅吉ほか〕	一通	七三二
受領証〔仮差押旅費手数料〕 高田区裁判所執達吏瀬上廣徳 佐藤與吉宛 明治三十一年二月一八日	一通	七七二	記録・学芸		
契約証〔佐藤才治ほか十八名小作米請求事件に関し代理人委任〕 佐藤與吉 明治三十一年一月二日	一通	七七三	日記・聞書・雜記		
供託金計算書〔有体動産仮差押申請〕 債権者訴訟代理人浅野豊三郎 明治三十一年一月	七通	七七四	騒遊紀聞〔旅行雜記〕 (安政三年五月)	小帳	七二〇
訴訟取下届下書 原告代理人浅野豊三郎 被告佐藤寅吉 新潟地方裁判所高田支部判事古山四郎宛 明治三十一年一月二四日	一通	七七五	日記覚 明治二十九年九月二二日〜一月五日	一括	三枚 二〇五三
有体動産仮差押申請〔下書〕 浅野豊三郎 高田区裁判所監督判事古山四郎宛 明治三十一年一月二三日	半 一冊	七七六	〔雜記帳〕〔算術問答・米石盛書上など〕	一冊	七九二
訴状〔下書〕〔小作米請求之訴〕 浅野豊三郎 新潟地方裁判所高田支部判事古山四郎宛 明治三十一年一月二三日	半 一冊	七七七	○柏崎騒動		
金錢書付	一通	七七八	*星野隱居書状〔柏崎騒動その他につき〕 佐藤宛 六月七日	一通	二四二五
供託書下付願 佐藤與吉・佐藤才治 高田区裁判所監督判事古山四郎宛 明治三十一年一月二四、二六日	二通	七七九	*某書状〔騒動見聞〕	一通	二四二六
供託書下付願 佐藤與吉 高田区裁判所監督判事古山四郎宛 明治三十一年一月二四日	一通	七八〇	*柏崎騒動聞書	一通	二四二七
有体動産仮差押取消申請 佐藤與吉 高田区			學問・宗教		
			あハのなるときゆうくん〔曆〕	一枚	七〇〇九
			清明通変占 <small>判読不能</small> 勝政 元禄二二年一月	一冊	七〇二
			〔漢籍写本〕〔(裏表紙)「天明元年 <small>破損</small> 先生書之佐藤市郎兵衛 <small>破損</small> 」〕	前欠	七九八
			六義論	半・写本	七三〇八
			漢籍写本断簡	一冊	七三一
			〔和書写本〕〔鬼神・道・徳の字義解説〕	横長美	七三二

乙山略縁起 越後乙乙宝寺

板 一冊 七三二八

越後国頸城郡下美守郷黒川庄米山寺村御館山
金剛院薬王寺御室薬師略縁起

板 一通 七三三三

中臣祓・六根清浄太祓・三種太祓

横半々 一冊 七三三一

(諸書箴言筆写)

二七枚 七三三三

(仏典目次か)

一通 七三三三

算学稽古・算法指南記 佐藤勇吉 天保八年

半 一冊 七三五〇

禅海一瀾(第一則明德より第三〇則無言まで)

刊 一枚 七八五三

小学入門博物図 山中孝之助 明治一〇年一〇月一〇日出版

刊 一冊 一一七五六

文芸

句集

二枚 七〇一〇

句集断簡

七枚 七〇六三

俳句短冊

四枚 七〇八八

四季露綴(俳句集) 菜圃

板 一冊 七三〇七

俳句集 諷之

横長半 一冊 七三〇九

七言絶集句

断簡 二丁 七三二六

庚申春興(句集) 越高城畔

板・小帳 一冊 七六四九

歌仙

一通 七九二二

半歌仙

一通 七九二四

連歌(歌仙行・短歌行ほか) ほか

横長半 断簡 一四丁 一一〇五七

(注) 名寄帳の紙背を利用したもの

漢詩ならびに短歌行(石鳳禅師首衆手榜巖依
綴一絶賀盛事)

一通 一一〇九九

短歌行

一通 一一〇六〇

辰春興(句集) 越高城畔

板 一冊 一一〇九三

句作 越後若手村諷之 観玉雅尤宛 五月

一通 一一四四七

俳句 如水 茶山先師宛 霜月一四日

一通 一一五〇九

句集

美 一冊 一一五六〇

悼(追悼句作) 諷之 安永三年八月

一通 一一五六八

和歌数首(「試筆」とあり)

一通 一一〇二五

短歌 正海 安政巳秋八月五日

一通 一一〇三九

其二葉(俳句集) 直江津 辰歳旦

板 一冊 一一〇六三

相撲

享和二戌ノ冬角力取組 享和二年

一通 六九九五

相撲番付

板 一枚 七八〇二

相撲勝負附

一通 一一七二三

医事・薬事

薬草覚

二通 一一八二九

回春堂医院患者食用書 医科大学卒業医士中

刊 一枚 一一〇七〇

井籠之助辻

書籍目録・蔵書貸借

(和漢書籍目録)

書物出渡覚帳

横長美 一冊 七三二
横長半 一冊 二〇九六

某氏覚書〔書籍借用書〕 夫義四郎

一通 二四六四

書名書付〔漢魏叢林ほか〕

一通 二四七〇

書名書付〔立寄望之品ならびに佃承り度品〕

一通 二四七一

書名書付〔十三経ほか〕

一通 二四七二

公報・新聞

新潟県治報知 明治七年一月八日

刊 部分 二枚 七三二九

新潟県治別報 明治九年三月二七日、明治一一年一月二六日

刊 一綴 七六〇五

北辰第五十三号〔新聞〕 高田町北辰社 明治二三年六月二日

一枚 七〇六九

書画

正高書〔真静〕 辛未初夏

一幅 七三二四

〔風景図〕〔白子宿瀧不動図ほか一綴、慈光寺山林麓大堰之図ほか一綴〕

二綴 七八〇六

手習

国すくし近江八京〔習字手本か〕 岩手村佐藤 勇吉

半 一冊 七三二七

御手本 高原貞女 文政七年

半 一冊 七三二九

武田信玄公御教訓書〔手習手本〕 梅花堂 嘉永二年仲冬

美・板 一冊 七七八

(習字手本)

なかしら字〔手本〕 文化七年八月日

美 一冊 七八四四
半 一冊 七八四五

手習

片木 一枚 二三八六

引札・広告

靴売出開業広告 田中勘吉 明治二七年九月

刊 一通 七七五九

泉州堺操錦屋小山屋久兵衛引札

一枚 七五九二

下谷廣徳寺前大坂屋儀兵衛引札〔七色世利賦〔七色のとうからし〕〕

一枚 二〇八〇

資産家調

管下地価壹萬圓以上所有人員表〔新潟県全部三九四人郡別地価別氏名一覽〕 文林堂 明治一九年二月一三日

刊 一枚 七七〇四

全国五十萬圓以上資産家表 時事新報社 大正五年一〇月七日

刊 一冊 七七〇五

新潟縣下越後国持丸長者競 編輯人賀川清 出版人小林二郎 明治一九年三月

刊 一枚 七七〇七

管下諸公債証書壹万円以上所有人員取調表 編輯兼出版人新潟県新潟区西堀前通川又喜三郎 明治一九年二月一五日

刊 一通 七三二二

その他

駅通局貯金の要領 米山寺駅通局貯金預所 明治二七年二月二八日

刊 一通 七三三〇

官報第三千九百九十八号附録〔全国汽車発着時刻及乗車賃銀〕 明治二七年二月一八日

刊 一枚 七五二一

官報第三千七百七十四号附録〔全国汽車発着時刻〕

刊 一枚 七五二二

刻及乗車賃金表)

(京都社寺名所旧跡覚)

小野塚禧本名刺

印鑑證明願雛形

その他(断簡・断片・袋
・下書類のほか 伝来のは
きりしないもの)

木小屋分ほか長サ高サ等覚

(書状等写帳) (寺院関係)

貫文書付

某覚書(黒岩村甚五兵衛ほか一名質地年季等に
つき)

○

書付断片・下書類

袋・包紙・断片類

袋・こより紐・断簡・断片・白紙等

金子包紙

断簡

下敷用罫紙ほか

包紙(表書)「大広納戸想金錦」

包紙(表書)「御明シニ 馬正面村小林禄平」

横長半 仮一冊 七六四六

一枚 二〇五

一通 二〇五九

二通 七〇八

一冊 七六二五

一枚 二四六

一通 二八四

八枚 六九六〇

(仮一括) 六九六七

(仮一括) 六九九六

一包 七〇二六

一枚 七三二七

三枚 七二九〇

一枚 七二九三

一枚 七二九四

袋(翁鈴)

包紙類

反古紙綴(紙背 米石高人名書付)

包紙(表書)「明治廿三年地租配賦地方税郡村
費内諸目録入」

包紙(表書)「煎茶」

袋(表書)「寛政四年十二月場詰帳・免割帳・
小掛割元帳」

袋(表書)「寛政五年十一月詰 御免相割賦・
御年貢場牒・小物成割渡共都囊 并氏」

袋(表書)「紀元式千五百参拾五年 新潟縣御
管内割袋 第七大区小八区二番組岩手邑」

新潟県中頸郡役所公用状封紙(封筒のみ) 米
山寺村戸長役場宛 一月二二日高田消印

袋(表書)「荒川国役御普請絵図一・中江用水
掛高覚書・下条堰仕様極・大御所薨御ニ付覚
書・飛驒騒動一件、高畑より岩手へ飛地ノ名
前日数調へ」 岩手村佐藤氏

断簡・断片・下書類

袋・包紙・白紙類

断簡・断片・下書類

袋・包紙・白紙類

断簡・断片・下書類

袋のみ 一枚 七二九六

一枚 二二枚 七二九七

半 仮一冊 七三二三

一枚 七三三〇

包紙のみ 一枚 七三三四

袋のみ 一枚 七六九一

袋のみ 一枚 七六九二

袋のみ 一枚 七七〇六

一枚 七八八九

袋のみ 一枚 一一七五三

(仮一括) 一一〇七三

(仮一括) 一一〇七三

(仮一括) 一一〇七三

(仮一括) 一一〇七四

二二〇七四

書状・用状

一括形態のもの

〔注〕書状・用状のほか、品代勘定書や蔵米請取書などが多数含まれる。

書状等

一括 一八通 六八八〇
六八九七

〔注〕六八八〇、六八九七は、ひとつに丸められていたもの。綴じ穴がひとつあるので、もと綴じてあったものと思われる。

。某口上書〔高田御預り所金銀替りの御触廻りの件につき〕(差出人欠損) 友右衛門他宛 五月二〇日カ 一通 六八八〇

。某書状〔葺替普請の件につき〕 井和野より佐藤公宛 五月六日 一通 六八八一

。中山酒や八左衛門書状〔借用金返済のことと〕 岩手村佐藤喜太郎宛 巳二月一八日 一通 六八八二

。覚〔里蠟代金借用〕 中山村善左衛門 岩手村佐藤八平宛 丑一〇月二六日 一通 六八八三

*。下灰庭新田村庄屋又三郎当巳御年貢米算用目録 岩手村喜太郎宛 巳二月 一通 六八八四

。某書状〔米値段下直のこと、門左衛門当年は近習に相勤め申し候ことなど〕 欠損大 一通 六八八五

。某書状〔御酒代百疋一包御札〕 後欠 一通 六八八六

。某書状〔年貢勘定方御世話のことにつき〕 後欠 一通 六八八七

。柿崎問屋八木十左衛門書状〔下条御蔵米五百俵都合下さるべき旨〕 佐藤八平宛 後欠 一通 六八八八

。某書状〔焼鯛すし鯛進上のこと〕 五月三日 前欠 一通 六八八九

。清三郎書状〔いねこき米十三郎方へ相渡し申すべき旨承知のこと〕 平六宛 一〇月二八日 一通 六八九〇

。岡田村源助書状〔高田御入来のこと御札ならびに送金のことにつき〕 佐藤友右衛門宛 二一日 一通 六八九一

。太郎左衛門書状〔荒井儀兵衛殿死去のお知らせ〕 八郎兵衛宛 一〇月二〇日 一通 六八九二

。某書状〔主内容不詳〕 後欠 一通 六八九三

。某書状〔はんひろ三帖と三拾式枚星野氏御頼みにつき御願いの件〕 灰庭より 佐藤御内様宛 一〇月一七日 一通 六八九四

。中山村茂左衛門書状〔金子要用につき村方へ御申し付け下さるべき旨〕 佐藤八平宛 二月二〇日 一通 六八九五

。鴈海村金左衛門書状〔当申年小作米勘定のこと〕 佐藤喜太郎宛 一月一四日 一通 六八九六

。林養二郎書状〔仁平親仁今日百木へ寄合に参り候故、明日御返事指し上げ候旨〕 佐藤平六宛 九月二一日 一通 六八九七

書状等 一括 三二通 六八九八
六九二九

〔注〕六八九八、六九二九はひとつに丸められていたもの。

。籠鳴書状〔駕籠返済につき御菓子壱箱御忠投の御札口上〕 佐藤宛 七月六日 一通 六八九九

*。百木村庄屋所当辰年真諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政八年十二月	前欠カ	一通	六八九	日	某書状(佐吉召抱え御願いの件、その他) 一二月四日	前欠	一通	六九二
。松野沢村伝右衛門金銭請取覚(関川御橋材木賃金) 岩手佐藤八平宛 寅三月二十八日		一通	六九〇	。佐藤善左衛門書状(紙など九品御受け取り下されたき旨) 佐藤松五郎宛 九月二日	前欠	一通	六九三	
。藏米受取覚 二本橋米屋(井部)惣右衛門ほか 岩手高原宛 辰九月二日、二二日		一綴(五通)	六九一	。佐藤善左衛門書状(藤左衛門様ならびに喜十郎様への書状の件、へき竹など諸品指し上げの件など) 佐藤八平宛 九月四日	前欠	一通	六九四	
。某書状(御書忝拝見云々。後半欠につき主内容不詳)	後欠	一通	六九二	。新部孫兵衛書状(小松表・若狭茶差し上げの件ほか) 佐藤喜太郎宛 八月二日	前欠	一通	六九五	
。岩の村仲屋庄兵衛勘定覚(生酒) 岩手村高原啓助宛 一月		一通	六九三	。新部孫兵衛書状(御誂え品残らず調達仕り候旨お知らせ) 佐藤喜太郎宛		一通	六九六	
。下条村重藏藏米受取覚 上直海村太郎右衛門宛 一二月六日		一通	六九四	。柿崎小出多二郎書状(米代金支払いの件につき) 佐藤喜太郎宛 七月二六日	後欠	一通	六九七	
。勘兵衛品代受取覚(塩小鯛ほか) 高原旦那宛 卯正月朔日		一通	六九五	。柿崎小出多二郎書状(米付け出しの件、ならびに残金支払いの件) 佐藤喜太郎宛 七月二九日		一通	六九八	
。成趣庵書状(日限十一日か十二日に成し下されたき旨) 佐藤宛 八月五日		一通	六九六	。芋嶋彦右衛門書状(廻村役人名前の件、ならびに秋毛目録帳面上書の件) 佐藤六四郎宛 (天明八年) 八月二〇日	後欠	一通	六九九	
。八平書状(難船御用につき奥州へ出役致され候由のこと、おむら婚礼のこと、高田領関川通国役御普請のことなど) 佐藤半治宛 三月二五日		一通	六九七	。田中武右衛門書状(去暮中買置き候藏米の引き取りの件につき) 佐藤八平宛 六月一五日		一通	六九〇	
。楡井美右衛門書状(私米俵数の件ほか) 佐藤八平宛 一〇月一三日	前欠	一通	六九八	。楡井次右衛門書状(柳助様東武より無事御帰りなされ日度旨、その他) 佐藤八平宛 六月二九日		一通	六九二	
。河野助次右衛門書状(永田様仰せ聞かされ候金子の件、その他) 佐藤八平宛 八月一八日	前欠	一通	六九九	。某書状(兼ての一件につき先方へ参るべき方承知のこと、その他)	後欠	一通	六九三	
。伊藤武左衛門書状(穀直段の件その他につき) 佐藤八平宛 四月一七日	前欠	一通	七〇〇					
。八木文左衛門書状 佐藤八平宛 八月二六	前欠	一通	七〇二					

。佐藤松五郎書状（私共取扱御用の儀、村方得心につき訴訟相手方より村方へ飛脚指遣しの件） 佐藤八平宛 七月二二日	一通	六九三
。星野浅右衛門書状（米三十五俵御平均にて御買受成されたき由承知のこと） 佐藤松五郎宛 一一月二日	一通	六九四
。柿崎松五郎書状（松橋外村方出入の儀取り扱いの件） 佐藤八平宛 七月九日	一通	六九五
。吉右衛門書状（頼母子講の件につき御願いのこと） 松五郎宛 六月二五日	一通	六九六
。わしま松木や伊兵衛書状（金壹両御出金の件 此者に御渡し下されたま旨） 佐藤宗左衛門宛 一〇月二四日	一通	六九七
。内藤作兵衛書状（下条御蔵より貴所様へ米一七俵切出しの件、その他） 佐藤惣左衛門宛 一一月二日	一通	六九八
。某書状（六四郎江戸表にて雑用金に差し詰まり候件、その他拙者身上の事など）	一通	六九九
佐藤八平宛書状等	一括	一〇点 六九五
〔注〕 2と10は1の中に巻き込まれていたもの。また3と9は10を包紙としてひとまとまりになっていたもの。		
1 仁平豊兵衛ほか書状綴 佐藤八平宛ほか（宝暦九年のもの一点を含む）	一綴	
2 甚蔵書状 極月二四日	一通	
3 上小野三上書状 岩手村佐藤宛	四通	
7 大坂天満仏照寺岩手倉吉書状 岩手村佐藤宛 閏五月八日	一通	包紙入
8 趣庵書状 八月五日	一通	
9 御蔵過方勘定覚 米山寺村庄屋清右衛門 佐藤啓助宛	一通	
10 某書状	一通	後欠
* 苫屋喜兵衛書状ならびに苫屋徳兵衛米代金差引勘定目録 岩手村佐藤宛	一括	五通 七〇六七
副大区長・戸長用状ならびに書状等	袋入	九七点 七〇四〇 七〇四〇
〔注〕 七一〇四と七一〇〇は一括され、七一〇四の袋に入っていたもの。		
。袋（表書）「明治八年明治九年亥管内割大区割小区割組内割帳入」	一枚	七〇四
。明治九年大小区内割管内割覚（細川作次分） 明治一〇年二月一六日	一通	七〇五
。谷澤徳五郎書状 佐藤文吉宛 一月二三日	一通	七〇六
。佐藤文吉書状下書（神道事務局より佐藤文吉戸籍につき照会の件） 神道事務五支局所宛 遠藤延春宛 三月七日	断片 三三 三三 一枚	七〇七
。上小野三上喜三書状 佐藤文吉宛 一〇月六日	一通	七〇八
。式番組戸長用状（戸籍統計表編製の件） 岩手村惣代宛 九月一四日	一通	七〇九
。百木村布施佐左衛門差出一札下書（北代石村定右衛門質地請返勘定方の件につき） 佐藤文吉宛 明治二一年二月一七日	一通	七二〇
。某書状下書ならびに断簡	一枚	七二二
。佐藤文吉書状下書（金六円郵送） 明治一	一通	七二三

一年二月二十四日

。三上喜三書狀 湯本宗十郎、佐藤文吉、木村唯七宛 一〇月一六日 一通 七二三

。第七大区小七区受持副大区長用狀(出頭命令) 高畑村岩手村改正用掛宛 一月九日 封筒入 一通 七二四

。三上喜三書狀 湯本宗十郎・佐藤文吉宛 一月一五日 一通 七二五

。受持副大区長三上喜三急廻章(明治九年地租金殘金上納の件) 拾式番組・式番組戸長宛 一月三日 封筒入 一通 七二六

。新部用狀(佐藤泰助父死亡年月日照會) 佐藤宛 一通 七二七

。大場儀作届書下書(二拾歳に相成り候旨) 岩手村戸長新部興八郎宛 明治一二年二月一五日 一通 七二八

。(籠島) 臯三書狀 谷澤與吉宛 六月七日 一通 七二九

。副大区長所(三上)用狀(徴兵検査出頭の件) 高畑村・岩手村宛 一〇月一〇日 封筒入 一通 七三〇

。副大区長所廻章(出頭命令) 村改正用掛宛 三月二〇日 高畑村・岩手封筒入 一通 七三二

。籠島憲一書狀 菅屋徳兵衛宛 一通 七三三

。籠嶋書狀 佐藤若君宛 三月一三日 一通 七三三

。某書狀下書 一通 七三四

。佐藤七郎治書狀 岩手村佐藤宛 一〇月一〇日 一通 七三五

。灰庭村湯本又三郎書狀 岩手村佐藤宛 一通 七三六

月二三日

。湯本宗十郎書狀 佐藤宛 一月二七日 一通 七三七

。籠嶋書狀 佐藤宛 二月三日 一通 七三六

。鉢崎駅近藤甚平書狀 佐藤文吉・籠嶋省吾宛 二月二日 一通 七二九

。某書狀断片 一枚 七三〇

。坂井屋太一郎書狀 佐藤宛 一月二九日 一通 七三一

。記(米書立) 武州入間郡黒須村中村茂七書狀 佐藤旦那宛 七月六日 封筒入 一通 七三二

。川除人足覚 九月三日より 一通 七三四

。米山寺高嶋清十郎書狀 佐藤宛 一〇月九日 一通 七三五

。成趣庵書狀 佐藤文吉宛 三月一三日 一通 七三六

。岩野村(籠島) 臯三書狀 高原佐藤宛 八月一五日 一通 七三七

。籠嶋憲章書狀 中村若主人・佐藤文吉宛 三月二三日 一通 七三八

。横山村内山慎二書狀 佐藤文吉宛 一月二二日 封筒入 一通 七三九

。普請用具人足覚 一通 七四〇

。鉢崎宿近藤甚平書狀 佐藤文吉宛 三月二日 一通 七四一

。副大区長筆生三上謙三用狀(立木調書提出) 封筒入 一通 七四二

の件) 岩手村改正用掛宛 七月三〇日	日発) 佐藤宛		
。三上謙三書状 佐藤文吉宛 八月二日	。戸長所用状(寺院附分土地取調書差し出しにつき中頸城郡役所用状伝達) 岩手村惣代宛 (明治) 二十二年七月二十六日	一通	七四三
〔注〕 七二四二に同封して保存されていたもの。	。雲柘庵書状 中出宛 五月二十七日	一通	七四四
。佐藤文吉書状 佐藤宛 二月二日	。戸長三上喜三用状ならびに用掛新部與八郎用状写(高田警察署より若者共益踊類似の所業禁止布達の件、ならびに甲戌租税皆済目録下げ渡しの件のほか) 高畑村 岩手村惣代宛 明治八年八月一六日	一通	七四五
。三上謙三書状 佐藤宛 三月一三日	。三上書状 佐藤宛 一二月七日	一通	七四六
。箆鳴書状 佐藤宛 三月五日	。岩手村佐藤七郎治書状 佐藤若大人宛 五月九日	一通	七四七
。東京府竹橋御門内教導団歩兵第五大隊第壹中隊第三分隊谷澤與吉書状 佐藤文吉宛 八月一六日	。旧式番組戸長用状写(証券印紙貼用の諸帳簿調査のことにつき中頸城郡役所用状) 高畑村・岩手村惣代宛 七月九日	一通	七四八
。敬神愛國之旨ヲ体スベキ事 (筆者不詳)	。地租第二期備荒備蓄金衛生費等納付書 岩手村佐藤七郎治 米山寺村戸長宛 九月二九日	一通	七四九
。名前書(戸長百木村新部貞次郎) 岩手村佐藤文吉宛 明治九年	。式番組戸長所用状(鈴木源吉収納地租照会) 岩手村惣代宛 六月九日	一通	七五〇
。受持副大区長所用状(小区会開議につき出頭のこと) 式番組高畑村岩手村改正用掛宛 一一月四日	。落合小池老夫書状 佐藤宛 五月一七日	一通	七五一
。岩手村龍三郎書状 佐藤旦那宛 一〇月二十九日	。灰庭村湯本又三郎書状 岩手村佐藤宛 六月二六日	一通	七五二
。受持副大区長所急廻章(新瀉行惣代出頭の件) 岩手村ほか二カ村改正用掛宛 一一月一七日	。芋嶋村小山彦一郎横田健藏書状 佐藤文吉宛 一二月二三日	一通	七五三
。かと書状 上州前橋諏訪町ヨリ 高原御妻君宛 二月一七日	。第七大区小七区二番組戸長所用状(水野村水元山官民有地区別実地踏査として内務省	一通	七五四
。高田下寺町妙国寺住職藤岡日孝書状(寄附金願) 佐藤文吉宛 明治二十二年七月四日	附共	二通	七五五
附(同封) 妙国寺且中惣代小林忠吉書状 六月二四日付(七月四日)	包紙入	二通	七五六

役人來村の件につき郡書記渡辺貞治用状の
伝達) 高畑村岩手村惣代宛 明治一二年
六月一日

。入立米差引勘定覚(万二郎分) 水野村薩
美仁左衛門 佐藤文吉宛 二月二日

。第七大区小七区二番組戸長所用状(神税帳
調印ならびに当村惣代人投票の件) 岩手
村惣代宛 一月二十九日

。第七大区小七区受持副大区長用状(出頭依
頼) 佐藤文吉宛 一月二十七日

。記(地券費繰替金等覚)

。門前佐藤七郎治書状 高原佐藤宛 五月三
〇日、三月七日

。落合小池老夫書状 岩手村佐藤宛 五月一
日

。元式番組戸長所用状(県會議員選挙につき
各自持地地価取り調べの件) 高畑村岩手
村惣代宛 六月六日

。第七大区小七区二番組戸長用状(神税帳記
差し出しの件) 高畑村岩手村惣代宛 一
月二十七日

。御守護

。鈴木龍太郎書状 高原佐藤宛 一月八日

。佐藤七郎治書状 岩手高原佐藤宛 一〇月
一五日

。集会中書状(昨日御示談の事件に御調印下さ
れたき旨) 湯本・佐藤宛 一月六日

包紙入

一通 七二七

一通 七二八

一通 七二九

一通 七三〇

二通 七三一

一通 七三二

一通 七三三

一通 七三四

一点 七三五

一通 七三六

一通 七三七

一通 七三八

。田地一筆毎上納高等覚ならびに百木村万次
郎茂作金錢受領書

。秣地人足覚 九月六日

。湯本書状 佐藤宛 三月一日

。第七大区小七区受持副大区長用状(戸長中
ならびに改正用掛中一同集会開催につき出
頭依頼) 高畑村岩手村改正用掛宛 二月
五日

。第七大区小七区受持副大区長廻達(諸帳簿
及び売買品に関する証書調査として官員出
張につき大区長より廻達の件) 十二番組
二番組高畑村岩手村宛 五月二十六日

。芋嶋村勸進元宮沢庄五郎書状(芝居興行に
つき来臨願) 佐藤文吉宛

。横山村内山多蔵書状 佐藤齋父宛 九月二
二日

。水野瓶子屋書状 佐藤文吉宛 三月一〇日

。上小野村三上内草間惣太郎書状 八月一〇
日

。川田金一郎書状 籠島憲章宛 二月一〇日

。某書状 佐藤先生宛 八月

。副大区長三上喜三用状(戸長改正用掛集会
につき出頭のこと) 高畑村岩手村改正用
掛宛 一月三〇日

。佐藤文吉書状控 郵便報知社宛 明治一〇
年七月一日

一括

一通 七二九

一通 七三〇

一通 七三一

封筒入

一通 七三二

仮綴

一通 七三三

一通 七三四

一通 七三五

一通 七三六

一通 七三七

一通 七三八

一通 七三九

封筒入

一通 七四〇

一通 七四一

。佐藤泰助田地反割覚	一枚	七九三	。下鳥源右衛門書状 仁平豊兵衛宛 一〇月 一五日	一通	二二六六
。芋鳴村惣代宮澤喜一郎ほか一名金銭勘定書 (余荷金その他) 佐藤文吉宛 明治一 年一月二二日	一通	七九三	。素臥書状 諷之雅公宛	一通	二二六七
。佐藤文吉書状 百木村平田重八・新部政五郎 宛 一月二二日	一通	七九四	。仁平豊兵衛書状 佐藤八平宛 五月一五日	一通	二二六八
。上小野校世話掛佐藤文吉ほか一名廻状(御 巡幸につき小学生徒の内優等の者姓名等届 け出るべき旨本県第五課より通達の件) 芋ノ鳴校ほか六校教員世話掛宛 (明治一 一年) 九月一五日	仮一通	七九五	。佐藤八平書状下書 山室市右衛門宛 六月 一三日	一通	二二六九
。木村左一郎書状 佐藤宛	一通	七九六	。石原善八郎・管沼一兵衛・筑山貞四郎・野 口理左衛門連名書状 佐藤八平宛 五月 一七日	一通	二二七〇
。湯本多十郎書状 岩手村佐藤宛 一月三〇 日	一通	七九七	。本所与八郎書状 仁平豊兵衛宛 七月一〇 日	一通	二二七一
。三上内草間惣太郎書状 岩手村佐藤宛	一通	七九八	。野口理左衛門・筑山貞四郎・管沼市兵衛連 名書状 佐藤八平宛 一月一五日	一通	二二七二
。記(小区割村社修繕費管内費その他課賦金 覚)	一通	七九九	書状等	一括	九通 二二七三 二二七四 二二七五
。書状断片・覚下書類	一括	七〇〇	〔注〕一一一六二〜一一一七二は、より紐にて一括されていたもの。		
〔注〕一一一六二〜一一一七二は、より紐にて一括されていたもの。	一括	一一通 二二七三	。米山寺宮島忠三郎書状 佐藤宛 八月三日	一通	二二七三
。湯本太次右衛門書状 諷之雅丈宛 二月九 日	一通	二二六二	。湯本太次右衛門書状 佐藤八郎右衛門 乙 月二六日	一通	二二七四
。仁平豊兵衛書状 佐藤八平宛 一〇月八日	一通	二二六三	。(藏納米出入覚カ)	一通	二二七五
。仁平豊兵衛書状 佐藤八平宛 六月一三日	一通	二二六四	。戸井田磐太郎書状 佐藤友右衛門宛 正月 五日	一通	二二七六
。仁平豊兵衛書状 佐藤八平宛 五月一四日	一通	二二六五	。三上儀左衛門書状 佐藤啓助宛 六月一四日	一通	二二七七
			。上小野某書状 岩手村某宛	一通	二二七六
			。上尾野寛介書状 岩手佐藤宛 九月一九日	一通	二二七九

。三上忠次郎書狀 籠嶋岩大人・佐藤啓大人
宛 八月一日 一通 二二八〇

。宗兵衛書狀 湯本御父上宛 八月一三日 一通 二二八一

書狀等 一括 四六通 二二八二
二二八三
二二八七

(注) 一一二八二、一一二二七はひとつに巻きこまれていたもの。

。与一右衛門書狀 御隠居宛 後欠 一通 二二八二

。相澤仙蔵書狀 佐藤松五郎宛 後欠 一通 二二八三

。某書狀 後欠 一通 二二八四

。某書狀 六月二三日 前欠 一通 二二八五

。佐藤六四郎書狀 佐藤喜太郎宛 五月二〇日 一通 二二八六

。佐藤六四郎書狀 佐藤喜太郎宛 四月朔日 一通 二二八七

。内山和助書狀 喜太郎宛 五月朔日 一通 二二八八

。某書狀 後欠 一通 二二八九

。密伝 一通 二二九〇

。小田穀山書狀 佐藤松五郎宛 二月一九日 一通 二二九一

。星野半左衛門書狀 佐藤松五郎宛 二月二八日 一通 二二九二

。楡井美右衛門書狀 佐藤八平宛 九月二五日 一通 二二九三

。星野半左衛門書狀 佐藤八平宛 二月二五日 一通 二二九四

。某書狀 六月五日 一通 二二九五

。某書狀 素水雅公宛 極月七日 一通 二二九六

。河野助左衛門書狀 (破損) 彦四郎・平宛 (破損) 一通 二二九七

。下条御藏書狀 佐藤平六宛 一〇月七日 一通 二二九八

。宗重郎書狀 六四郎宛 閏七月二〇日 一通 二二九九

。美のや善兵衛書狀 佐藤八平宛 六月一六日 一通 二三〇〇

。楡井美右衛門書狀 佐藤八平宛 九月六日 一通 二三〇一

。某書狀 後欠 一通 二三〇二

。某書狀 後欠 一通 二三〇三

。楡井美右衛門書狀 佐藤八平宛 一月一日 一通 二三〇四

。楡井美右衛門書狀 佐藤八平宛 九月二八日 一通 二三〇五

。星野半左衛門書狀 佐藤喜太郎宛 一月二五日 一通 二三〇六

。上野作左衛門書狀 佐藤八平宛 二月二五日 一通 二三〇七

。小林庄兵衛書狀 佐(藤)八平宛 一月二一日 一通 二三〇八

。八木瀬助書狀 二月一六日 一通 二三〇九

。塚田源左衛門書狀 佐藤八平宛 八月一日 一通 二三一〇

。楡井美右衛門書狀 二月二日 一通 二三一一

。稲垣市十郎書狀 佐藤八平宛 八月三日	一通 二二三二
。白木屋七兵衛・孫右衛門書狀 七月一七日 佐藤八平宛	一通 二二三三
。竹越平右衛門書狀 佐藤平六宛 五月一三日	一通 二二三四
。星野孫右衛門書狀 佐藤喜太郎宛 六月二 五日	一通 二二三五
。湯本三太右衛門書狀 佐藤八平宛 三月五 日	一通 二二三六
。平田喜太郎書狀 佐藤八平宛 五月一五日	一通 二二三七
。上野作左衛門書狀 佐藤八平宛 如月一 九日	一通 二二三八
。朝寝坊書狀 大力宛 二八日	一通 二二三九
。上野作左衛門書狀 佐藤八平宛 如月一 四日	一通 二三四〇
。三上喜惣右衛門書狀 佐藤八平宛 八月五 日	一通 二三三一
。某書狀 喜太郎宛 一〇月一〇日	一通 二三三二
。相沢仙藏書狀 佐藤平六宛	一通 二三三三
。高畑半右衛門書狀 高原宛 一月五日	一通 二三三四
。加藤忠兵衛書狀 佐藤喜太郎宛	一通 二三三五
。星野半左衛門書狀 佐藤喜太郎宛 七月九 日	一通 二三三六
。某書狀 四月一二日	一通 二三三七

書狀	一括 四一通 二三三八
〔注〕 一一二二八より一一二六八は一括され一一二二八の書狀で 包まれていたもの。	
。某書狀 後欠	一通 二三三八
。上小野老夫書狀 啓助宛	一通 二三三九
。米藏書狀 佐藤宛 未一月一七日	一通 二三四〇
。かた町善太郎書狀 佐藤宛 二月日	一通 二三三一
。某書狀 佐藤宛 二月八日	一通 二三三二
。籠島書狀 佐藤宛 五月朔日	一通 二三三三
。籠島書狀 佐藤宛 一二月二七日	一通 二三三四
。正眼院書狀 高原旦那宛 一二月一〇日	一通 二三三五
。長三郎書狀 佐藤宛 正月二日	一通 二三三六
。戸井田権右衛門書狀 佐藤啓助宛 二月一 五日	一通 二三三七
。籠鳴書狀 佐藤宛 九月一五日	一通 二三三八
。米山寺春作書狀 高原佐藤宛 一二月一六日	一通 二三三九
。上直海村田中仙左衛門書狀 岩手村佐藤宛 一〇月一九日	一通 二三四〇
。高田家中鉄砲方萩野友之進書狀〔高崎新田 御台場御固め出陣につき金銭難渋の件〕 岩出村庄屋桂助宛 一二月二二日	一通 二三四一
。上池田村塚田巳藤治書狀 佐藤宛 一月 一二日	一通 二三四二

。馬正面村庄兵衛書狀 佐藤宛 一〇月七日	一通 二二四三	。善太郎書狀 佐藤宛 九月二十九日	一通 二二六一
。近藤良助書狀 江戸より 佐藤啓助宛 三月一日	一通 二二四四	。某書狀	後欠 一通 二二六二
。老夫書狀 啓助宛 九月朔日	一通 二二四五	。某書狀 高原啓助宛 八月二〇日	前欠 一通 二二六三
。某書狀 閏一二日	一通 二二四六	。籠島長左衛門書狀 佐藤老人・佐藤勇吉宛 一〇月四日	一通 二二六四
。某書狀	一通 二二四七	。三上忠治書狀 佐藤啓助宛 八月二十九日	一通 二二六五
。三上書狀 佐藤宛 五月六日	一通 二二四八	。潟町善太郎書狀 佐藤宛 申一一月三日	一通 二二六六
。水野村仁郎右衛門書狀 高原旦那宛 三月六日	一通 二二四九	。横山村左衛門書狀 佐藤啓助宛 一〇月二六日	一通 二二六七
。上州原市日野屋音吉書狀(包紙は乙吉) 岩出村高原啓助宛 未一月	一通 二二五〇	。湯本書狀 佐藤宛 八月五日	一通 二二六八
。野州栃木町和泉屋安兵衛書狀 佐藤啓助宛 一二月七日	一通 二二五一	書狀等	一括 七〇通 二二六九
。芋嶋与右衛門書狀 佐藤御主人宛 閏三月三日	一通 二二五二	(注) 一一二六九、一一二三八は一括され、一一二六九の書狀で包まれていたもの。	一括 七〇通 二二七〇
。某書狀	一通 二二五三	。高原書狀(当亥郷藏入米) 勇吉宛 一一月一四日	一通 二二六九
。某書狀	一通 二二五四	。籠嶋藤市郎書狀 佐藤半藏宛 正月二八日	一通 二二七〇
。籠島書狀 佐藤宛 六月一二日	一通 二二五五	。上小野増田新十郎書狀 佐藤半藏宛 八月一七日	一通 二二七一
。米山寺春作書狀 佐藤宛 五月二六日	一通 二二五六	。湯本書狀 佐藤宛 三月一日	一通 二二七二
。塚田作右衛門書狀 佐藤啓助宛 七月朔日	一通 二二五七	。京都松原通り長香寺善八書狀 岩手村佐藤宛 二月二三日	一通 二二七三
。三上書狀 佐藤宛 八月三日	一通 二二五八	。佐藤書狀 湯本・三上・籠嶋宛 三月五日	一通 二二七四
。三上書狀 佐藤宛 九月三日	一通 二二五九	。湯本書狀 高原宛 一一月五日	一通 二二七五
。善太郎書狀 佐藤宛 七月七日	一通 二二六〇		

- 。水野村薩美仁郎右衛門書状 高原御旦那宛
二月一五日
一通 二二七六
- 。某書状下書カ
一通 (二枚) 二二七七
- 。上小野三上書状 佐藤宛 四月一二日
一通 二二七八
- 。籠島書状 佐藤宛 六月二四日
一通 二二七九
- 。浦川原又七書状 岩手村高原宛 子六月一八日
一通 二二八〇
- 。湯本内佐藤内書状 佐藤宛 五月二八日
一通 二二八一
- 。岩手高原書状 かた町善太郎宛
一通 二二八二
- 。上小野三上書状 高原佐藤宛 五月五日
一通 二二八三
- 。浦野織右衛門書状 佐藤啓助宛 四月二二日
一通 二二八四
- 。一つ面屋義助書状 高原宛 六月二七日
一通 二二八五
- 。善八・兼次郎書状 佐藤啓助宛 五月五日
一通 二二八六
包紙入
- 。籠島書状 佐藤宛 五月二一日
一通 二二八七
- 。某書状下書
一通 二二八八
- 。籠島書状 佐藤宛 四月二九日
一通 二二八九
- 。三上書状 佐藤宛 四月二六日
一通 二二九〇
- 。浦野織右衛門書状 佐藤啓助宛 七月二七日
一通 二二九一
- 。長左衛門書状 高原御老人宛 五月一九日
一通 二二九二
- 。三上儀左衛門書状 佐藤啓助宛 四月五日
一通 二二九三

- 。高田長沢屋書状 卯一〇月
前欠 一通 二二九四
- 。鉢崎近藤良助書状 岩手村高原宛 七月三〇日
一通 二二九五
- 。鉢崎良助書状 岩手村高原宛 七月二三日
一通 二二九六
- 。鉢崎良助書状 岩手村高原宛 七月二八日
一通 二二九七
- 。鉢崎良助書状 岩手村高原宛 七月二一日
一通 二二九八
- 。鉢崎良助書状 岩手村高原宛 七月二三日
一通 二二九九
- 。成趣庵書状 佐藤宛 四月一二日
一通 二三〇〇
- 。籠島書状 佐藤宛 四月朔日
一通 二三〇一
- 。籠鳴書状 佐藤宛 一二月二五日
一通 二三〇二
- 。成趣庵書状 佐藤宛 一二月二三日
一通 二三〇三
- 。(注) 次の一一三〇四と一括されていた。
籠島書状 佐藤宛 一二月二三日
一通 二三〇四
- 。(注) 前の一一三〇三と一括されていた。
某書状
一通 二三〇五
- 。鉢崎たまや書状 岩手村高原宛 八月二六日
一通 (二枚) 二三〇六
- 。堰普請用具割覚 八月七日
一通 二三〇七
- 。佐藤啓助書状 (近) 藤良助宛 一〇月八日
封筒入 一通 二三〇八
- 。潟町善太郎書状 佐藤宛 一一月三日
一通 二三〇九
- 。上小野三上書状 佐藤宛 八月一五日
一通 二三一〇

。箆島書状 佐藤宛 八月十五日 一通 二三一

。鉢崎近藤良助書状 佐藤啓助・同勇吉宛 八月二十九日 一通 二三二

。寺院書状等 一括 六通 二三三

〔注〕 一一三三三、一一三一八は一括され一一三三三で包まれていたもの。その内一一三一七と一一三一八はさらに一括されていたもの

納所書状 佐藤宛 一〇月十六日 一通 二三三

百木村延慶寺書状 佐藤啓助 七月 一通 二三四

。岩手村村福次郎書状 佐藤高原宛 元治元年九月一日 一通 二三五

。籠嶋書状 佐藤宛 一〇月二日 一通 二三六

。片町善太郎書状 柿崎大田屋友左衛門宛 一〇月四日 一通 二三七

。片町善太郎書状 佐藤宛 一〇月四日 一通 二三八

。鉢崎良助書状 岩手村高原宛 九月五日 一通 二三九

。某書状 一通 一三〇

。灸についての覚 一通 一三一

〔注〕 一一三二〇に巻きこまれていたもの

。鉢崎玉屋良助書状 岩手村高原宛 八月二二日 一通 一三二

。たはた(田端)町浦野書状 佐藤宛 八月二十九日 一通 一三三

。玉屋家内書状 高原宛 一二月十五日 一通 一三四

。義四郎書状 横起寺にて 佐藤宛 霜月一八日 封筒入 一通 二三五

。籠嶋書状 佐藤宛 一二月二十五日 一通 二三六

〔注〕 次の一一三二七と一括されていたもの。

。箆島書状 佐藤宛 一二月二十五日 一通 二三七

〔注〕 前の一一三二六と一括されていたもの。

。善太郎書状 岩手佐藤宛 一二月一八日 一通 二三八

。片町善太郎書状 佐藤宛 五月二〇日 一通 二三九

。湯本書状 高原宛 一通 二四〇

。湯町佐右衛門書状 岩手佐藤宛 一二月七日 一通 二四一

。瀬左衛門書状 高原宛 一〇月二日 一通 二四二

。善太郎書状 高原佐藤宛 八月三日 一通 二四三

。水野村薩美仁郎右衛門書状 岩手村高原御旦那宛 (文久三年)六月一日 一通 二四四

。佐藤文吉書状 高原宛 五月二九日 一通 二四五

。片町善太郎書状 岩手佐藤宛 七月四日 一通 二四六

。高原書状 近藤良介宛 三月一七日 一通 二四七

。箆島書状 佐藤宛 一二月八日 一通 二四八

書状 一括 七通 二四九

〔注〕 一一四〇五、一一四一一は一括され一一四〇五の書状で包まれていたもの。またその内一一四〇七は一一四〇八の書状に包み込まれていたもの。

。佐藤柳助書状 八平・平六宛 正月二〇日 前欠	一通 二四〇五	。三二右衛門書状 平六宛 二月二二日	一通 二四一九
。星野孫右衛門書状 佐藤松五郎宛 二月九日	一通 二四〇六	。松五郎書状 伊助様・御内様宛 九月二〇日	一通 二四二〇
。星野半左衛門書状 岩手村松五郎宛 戊辰二月二〇日	一通 二四〇七	。太木書状 諷之宛 如月二二日	一通 二四二二
。半左衛門書状 喜太郎宛 七月二十九日	一通 二四〇八	。上小野喜惣右衛門書状 岩手松五郎宛 如月二〇日	一通 二四二三
。浦野織右衛門書状 佐藤八平宛 八月二二日	一通 二四〇九	。歌作	一通 二四三三
。中屋敷町土肥六郎治書状 佐藤友太郎宛 十一月十五日	一通 二四一〇	書状等	一括 九点 二四四〇
。木村彦治郎書状 佐藤文左衛門宛 閏二月二〇日	一通 二四一一	〔注〕 一一四二四、一一四三二は一括され一一四二四の書状によつて包まれていたもの。その内、さらに一一四二五、一一四二七は一括であったもの。	一括 九点 二四四〇
書状等	一括 一一二通 二四二二	。某書状	前欠 一通 二四三四
〔注〕 一一四二二、一一四二三は一括されひとつに巻き込まれていたもの。	一括 一一二通 二四二三	*。星野隠居書状〔柏崎騒動その他につき〕 佐藤宛 六月七日	一通 二四三五
。横山村内山和助書状 佐藤文左衛門宛 九月二二日	一通 二四二二	*。某書状〔騒動見聞〕	一通 二四三六
。彦左衛門書状 佐藤文左衛門宛 七月一日	一通 二四二三	*。柏崎騒動聞書	一通 二四三七
。某書状下書	一通 二四二四	*。密藏院頼母子講懸金喜太郎立替分等勘定覚	二通 二四三八
。土肥六右衛門書状 佐藤八平宛 閏四月二日	一通 二四二五	。竹直久右衛門書状 高畑安次郎宛 極月二七日	一通 二四三九
。三上甚助書状 佐藤松五郎宛 三月五日	一通 二四二六	。喜太郎書状下書 佐藤善左衛門宛 五月	一通 二四三〇
。星野半左衛門書状 佐藤文左衛門宛 二月二日	一通 二四二七	。佐藤喜太郎書状 竹直村小田久右衛門宛	一通 二四三一
。某書状	一通 二四二八	。稲岡桃玄書状・服部玄良書状綴 佐藤半治宛	一綴 二四三二
		品代勘定書ほか	一括 八点 二四四〇

〔注〕 一四三三、一四四〇は一括され、一四三三に包ま
れていたもの。

。米山寺村古八屋保造品代勘定書 岩手邑佐藤宛 (明治) 九年一〇月二二日 一通 二四三三

。柿崎龍太郎書状 岩手村佐藤宛 子二月七日 一通 二四三四

。柿崎四ツ目屋米受取書綴 岩手村高原宛 八月二五日ほか (一綴) 二四三五 (二六通)

。米山寺村大工已作代金勘定書 岩手村高原宛 丑一月二七日 一通 二四三六

。彦右衛門品代勘定書 (とうふ代ほか) 佐藤宛 丑一月三〇日 一通 二四三七

。芋嶋村小山与一郎余荷米金勘定書ほか品代勘定書等 佐藤文吉宛 戊七月一八日ほか 一括 一〇通 二四三八

〔注〕 ひとつに巻き込まれていたもの。

。品代勘定書等綴 今町とまやほか 佐藤宛 子四月ほか (一綴) 二四三九 (八通)

。品代勘定書 米山寺坂井屋友一郎ほか 佐藤宛 子一月ほか 一括 仮一冊 二四四〇 四通

品代勘定書・諸入費賦課書等 (明治) 一括 一点 二四四一 (二五六)

〔注〕 一五四六、一五五六は一括され、一五四六で包ま
れていたもの。

。彦右衛門品代勘定書 (とうふ代) 佐藤宛 一月二九日 前欠 一通 二四四六

。埼玉県埼玉郡第十六区持田村日野屋伝兵衛書状 岩手村佐藤巨那宛 一二月二七日 封筒入 一通 二四四七

* 馬正面村分管内入費其外割賦書ならびに立
会勘定記等 馬正面村用掛竹内喜由次ほか
佐藤啓助宛ほか 明治六年、七年
(ママ)

。柿崎宿豆腐屋代金請取書 高原村巨那宛 丑二月七日 一通 二四四九

。星野屋外吉品代勘定書 高原佐藤宛 明治九年七月、一二月 二通 二四五〇

。品代勘定書綴 かた町佐平ほか 岩手高原宛 寅一月二四日ほか (一綴) 二四五二 (四通)

。米受取書綴・米方差引勘定書等 柿崎田屋与惣右衛門ほか、米山寺村戸長高嶋清十郎ほか 佐藤文吉宛 明治七年、九年ほか 一括 一綴 二四五二 (五通)

〔注〕 ひとつに巻かれていたもの。

。鴈海村与頭喜作拜借返納金其外諸入費割賦書 佐藤文吉宛 明治四年八月 四通 二五五三

。米俵納入覚 一通 二五五四

。高寺邨願勝寺書状 岩手邨高原宛 一通 二五五五

。金銭差引勘定覚ほか断片 一通 二五五六

品代勘定書綴ほか 一括 一綴 二五六四 三通 二五六七 (二七通)

。品代・手間賃勘定書等綴 戊(文政九年) 一二月ほか 一綴 二五六四 (二七通)

。芋嶋村林右衛門蔵米預り書 岩手村友右衛門宛 文政九年一月 一通 二六二五

。籠嶋八郎兵衛書状 佐藤松五郎宛 一二月一八日 一通 二六二六

。高畑書状 高原宛 二月七日	一通 二六二七	宛 申二月三〇日	
書状	一括 三通 二六九六 二六九八	。米山寺村清兵衛品代勘定書 (帶戸四本、雪 けたほか) 岩手村高原宛 申極月	一通 二七三三
〔注〕 一一六九六、一一六九八は一括され、ひとつにまかれて いたもの。		。芋嶋村小山与左衛門書状 佐藤平六宛 三 月一日	一通 二七三三
。新部藤重郎書状 佐藤松五郎宛 三月一六 日	一通 二六九六	。こんや甚蔵書状 佐藤喜太郎宛 八月一四 日	一通 二七四
。扇屋孫左衛門書状 柿崎より 佐藤松五郎 宛 五月三日	一通 二六九七	。書役佐兵衛書状 佐藤松五郎宛 一二月三 日	一通 二七五
。佐藤久左衛門書状 佐藤八平宛	一通 二六九八	。米山寺村小池清三郎書状 佐藤八平宛 一 月一〇日	一通 二七六
書状・勘定書等	一括 二九点 二七二五 (三〇通) 二七四三	。喜八郎書状 八平宛 一〇月一九日	一通 二七七
〔注〕 一一七一五、一一七四三は一括され、ひとつに巻き込ま れていたもの。内何点かには綴穴の跡があり、もともと 綴じられていたものと思われる。		。横山村庄屋与五右衛門米納金納勘定書 岩 手村八平宛 寅一二月	一通 二七八
。米山寺村小池清三郎書状 佐藤八平宛 三 月二二日	一通 二七二五	。菅沼市兵衛・石倉善八郎用状 (下条御蔵餅 米五俵御払いの件) 岩手組大肝煎佐藤八 平宛 七月一八日	一通 二七九
。赤沢村庄屋伊左衛門・仁左衛門小懸り差引 勘定書 岩手村惣左衛門宛 明和三年一二 月	一通 二七二六	。与八品代勘定書 一二月二九日	一通 二七三〇
。芋嶋村与三次金子差引勘定書 岩手平六宛 六月二二日	一通 二七七	。江嶋新田村庄屋平三郎納米場詰差引覚 岩 手村庄屋宛 未一一月二一日	一通 二七三二
。中山村文左衛門里蠟差引勘定書 岩手村庄 屋喜太郎宛 戌一〇月二四日	一通 二七八	。茂左衛門書状 佐藤松五郎宛 一二月一七日	一通 二七三三
。職人手間人数書上 高原	一通 二七二九	。水野薩美書状 佐藤八平宛 四月二七日	一通 二七三三
。米山寺平八利永差引勘定書 高原宛 申六 月	一通 二七二〇	。素臥書状 諷之宛 七月一四日	一通 二七三四
。下次左衛門品代勘定書 (草履ほか) 高原	一通 二七二二	。米山寺村庄屋清三郎書状 佐藤八平宛 一 月九日	一通 二七三五

前欠

。中山村庄屋茂左衛門用状(御上納蠟穂指し出しの件) 芋嶋村・下灰庭新田村・岩手村庄屋宛 巳一〇月一六日 一通 二七三六

。米山寺村庄屋清三郎書状 木村太左衛門・佐藤八平宛 一〇月九日 一通 二七七七

。伝左衛門書状 佐藤宛 一二月二九日 一通 二七三六

。鷹海村茂右衛門書状 佐藤喜太郎宛 後欠 一通 二七三九

。品代勘定覚 後欠 一通 二七四〇

。品代勘定覚 七月一〇日 一通 二七四一

。品代勘定覚下書 二通 二七四二

。品代勘定書 前欠 一通 二七四三

書状・勘定書等 一括 二一〇通 二八五六
二八七五

(注) 一一八五六、一一八七五は一括され、一一八五六の書状で包まれていたもの。その多くに綴穴の跡があるのでひとつに綴じてあったものと推定される。

。星野書状 佐藤宛 一二月二日 前欠 一通 二八五六

。楡井美右衛門書状 佐藤八平宛 一二月四日 一通 二八五七

。坂口多惣右衛門書状 佐藤友右衛門宛 七月五日 一通 二八五八

。芋嶋村彦右衛門用状(油稼種物売買取り締まりにつき公儀御触の件その他) 村々庄屋中宛 七月三日 一通 二八五九

。黒川与兵衛書状 佐藤喜太郎宛 三月二五日 一通 二八六〇

。卯之正月十七日淨福寺様之御年始之御使者 横山又七丈御入来右ニ付御永歌 一通 二八六一

。御存書状 おもう御かた様宛 霜月一三日 前欠 一通 二八六二

。内山和助書状 大兄宛 正月八日 一通 二八六三

。定右衛門書状 御隠居様宛 〇月九日(破損) 一通 二八六四

。高原書状 大下・新屋宛 三月一〇日 一通 二八六五

。いわの村酒屋代金勘定書 岩手村佐藤宛 丑二月 一通 二八六六

。上小野こんや代金勘定書 岩手村佐藤宛 丑二月 一通 二八六七

。職人または人足手間覚 高原宛 一二月二七日 一通 二八六八

。米山寺村又左衛門代金勘定書(酢) 岩手村高原宛 丑二月二九日 一通 二八六九

。塚田巳藤治覚書 一通 二八七〇

。柿崎村甚兵衛品代受取書(千いわしほか) 高原日那宛 一二月二八日 一通 二八七一

。湯町善太郎品代勘定書(上種油ほか) 高原宛 丑二月二五日 一通 二八七二

。友七品代勘定書(豆腐ほか) 当村日那宛 丑極月 一通 二八七三

。芋嶋村助左衛門書状 岩手村高原宛 五月朔日 一通 二八七四

。某代金勘定書 後欠 一通 二八七五

書状・蔵米請取書・品代勘定書等 (宝曆一) 三二点 二八七五
二八七六
二八七七
二八七八

一年ほか

(注) 一一八七七〜一一九〇八は一括され、ひとつに巻かれていたもの。

- 直海浜村権左衛門藏米受取書 岩手村惣左衛門宛 戊六月二日〜四日 八通 二八七七
- 佐藤圓治納品書(大鹿たはこ) 佐藤八平宛 已二月二八日 一通 二八七八
- 与一郎書状 佐藤松五郎宛 四月八日 一通 二八七九
- 米高書付 一通 二八八〇
- 彦右衛門書状 松五郎宛 二〇日 一通 二八八一
- 柿崎七郎治内藏米請取書 岩手松五郎宛 已七月九日 一通 二八八二
- 吉三郎米借用覚 惣左衛門宛 七月七日 一通 二八八三
- 三太右衛門書状別啓 惣左衛門宛 二五日 一通 二八八四
- 高畑三太右衛門内藏米代金受取書 岩手八平宛 已五月二八日 一通 二八八五
- 新部藤十郎書状 佐藤松五郎宛 如月七日 一通 二八八六
- 直海浜村権左衛門藏米請取書 岩手村惣左衛門宛 戊六月八日 一通 二八八七
- 下灰庭新田与頭又三郎戊先納金割賦書 松五郎宛 戊六月一〇日 一通 二八八八
- 助右衛門覚書(金子勘次に御貸し下されたき旨) 一一月二五日 一通 二八八九
- 某書状 正月晦日 一通 二八九〇

- 矢沢五右衛門書状 佐藤八平宛 一月七日 一通 二八九一
- (カ) 長峯村金左衛門・磯右衛門中山道郡中余荷受負金請取書 岩手村大肝煎所宛 已六月二九日 一通 二八九二
- 直海浜村権左衛門藏米請取書 岩手村惣左衛門宛 戊六月二日 一通 二八九三
- 柿崎親松甚兵衛内藏米請取書 佐藤松五郎宛 已五月二五日、二六日 五通 二八九四
- 手代中用状(才覚金上納の件につき) 百間町組大肝煎河野助次右衛門・西嶋組大肝煎八木又文左衛門・岩手組大肝煎佐藤八平宛 四月二六日 一通 二八九五
- 柿崎村野侯屋庄八藏米請取書 岩手村佐藤八平宛 佐藤松五郎宛 已五月一八日 二通 二八九六
- 馬正面村甚藏米請取書 岩手村松五郎宛 已六月六日 一通 二八九七
- (カ) 吉七藏米請取書 惣左衛門宛 八月一日 一通 二八九八
- こしま宗兵衛品代勘定書(茶竹斤代) 岩手文左衛門宛 一一月二二日 一通 二八九九
- 受負九郎右衛門銀受取書(富川大堰入札金) 岩手組佐藤八平宛 宝曆一年六月 一通 二九〇〇
- 三上甚助書状 佐藤松五郎宛 五月六日 一通 二九〇一
- 星野孫右衛門書状 佐藤松五郎宛 一二月一日 一通 二九〇二
- (破損) 利口代金勘定書 松五郎宛 辰七月一〇日 一通 二九〇三
- 岩手八左衛門下条藏場詰之節山手米勘定書 一通 二九〇四

岩手村庄屋所宛 未二月一八日

芋嶋村与頭用状〔西堰番水につき〕 岩手村
組頭中宛 六月二十九日

一通 二九〇五

一敬書状 子剛子宛 八月二〇日

一通 二九〇六

芋嶋村茂左衛門・市郎左衛門書状 岩手村
庄屋松五郎宛 二月二十六日

一通 二九〇七

書状・書付断片

一〇枚 二九〇八

藏米請取書・書状等

六二点 二九〇九

〔注〕一一九〇九〜一一九七〇は一括され、ひとつに巻かれていたもの。

竹道久左衛門分金子差引覚

一通 二九〇九

柿崎村孫助藏米請取書 岩手村八郎兵衛宛
七月三日、五日

二通 二九一〇

藏米場詰覚

一通 二九一一

下条村場詰手形覚

一通 二九一二

久兵衛品代勘定書〔扇、松筆〕 佐藤松五
郎宛 七月三日

一通 二九一三

豊屋治郎右衛門代金受取書〔大かや表代
金〕 八平宛 四月二七日

一通 二九一四

岩手八平様へ可被下茶覚

一通 二九一五

かしや伝左衛門代金勘定書 佐藤八平宛
丑九月二二日

一通 二九一六

善左衛門上納蠟差引勘定書〔上灰庭村分・
岩手村分〕 岩手村佐藤平六宛 寅十一月
四日

一通 二九一七

ぞうり等代金勘定覚

一通 二九一八

善左衛門覚書〔預り米出金につき〕 八平宛
七月三〇日

一通 二九一九

百木村藤十郎米代勘定書 岩手村松五郎宛

一通 二九二〇

清水喜三郎米代差引勘定書 佐藤八平宛
辰七月二日

一通 二九二一

* 下灰庭村組頭又三郎去卯年国役銀割賦書
岩手村喜太郎宛 辰九月二九日

一通 二九二二

* 下灰庭新田又三郎当辰小物成棟役賦課書
岩手村喜太郎宛 辰二月

一通 二九二三

* 落合庄屋与一左衛門去卯年国役銀御用金割
賦書 岩手村喜太郎宛 辰一〇月

一通 二九二四

米山寺村又三郎代金勘定書〔なたさきかけ
・まさ切り等細工代〕 佐藤松五郎宛 辰
十一月

一通 二九二五

倉石安之助代金受取書 佐藤善左衛門宛
九月二日

一通 二九二六

上小野丈八酒代勘定書 佐藤松五郎宛 辰
十二月

一通 二九二七

佐藤善左衛門傘代金覚 佐藤松五郎宛 一
〇月八日

一通 二九二八

某書状

一通 二九二九

清三郎金子差引勘定書 松五郎宛 辰七月
五日

一通 二九三〇

落合与一左衛門覚書〔喜太郎懸持高〕 岩手
村喜太郎宛 未三月

一通 二九三一

。喜太郎・友太郎懸持高覚（水野・米山寺）	一通 二九三三	。内藤作兵衛金子請取書（書物代） 佐藤平六宛 五月七日	一通 二九四七
。善兵衛藏米勘定覚（切取米依頼） 佐藤公宛 一月二二日	一通 二九三三	。潟町武右衛門下条御藏米請取書 江嶋村庄屋佐五左衛門宛 明和二年一〇月二一日	一通 二九四八
。米山寺村長兵衛書狀 佐藤喜太郎宛 五月一日	一通 二九三四	。米山寺村庄屋清三郎書狀 佐藤八平宛 七月二三日	一通 二九四九
。清三郎覚書（不足米代金上納のこと） 喜太郎宛 五月五日	一通 二九三五	。下条村幾右衛門庄屋佐次右衛門去子納米丑津出ノ駄賃錢請取書 佐藤八平宛 丑六月二九日	一通 二九五〇
。鷹海村茂左衛門書狀 佐藤喜太郎宛 一月二二日	一通 二九三六	。米山寺金子受取書 佐藤八平宛 丑六月二十九日	一通 二九五二
。米山寺村小池清左衛門書狀 佐藤松五郎宛 六月七日	一通 二九三七	。浅右衛門書狀 佐藤宛 五月六日	一通 二九五三
。長岡小村代四郎右衛門品代勘定書（長御番、御香油） 佐藤八兵衛宛 辰九月初日	一通 二九三六	。鷹海村庄屋金左衛門書狀 佐藤喜太郎宛 一月七日	一通 二九五三
。柿崎金兵衛内藏米受取書 高原村喜太郎宛 申七月八日	一通 二九三九	。阿ミたせ村惣右衛門戌夏勘定書 岩手村喜太郎宛 戌十二月	一通 二九五四
。某書狀	一通 二九四〇	。米山寺村小池清三郎書狀 佐藤喜太郎宛 一月五日	一通 二九五五
。水野村庄屋喜惣次書狀 佐藤善太郎宛 一月九日	一通 二九四一	。米山寺村庄屋清三郎書狀 佐藤八平宛 四月五日	一通 二九五六
。某書狀 一〇月二四日	一通 二九四二	。潟町武右衛門下条御藏米請取書 桜町御庄屋又右衛門宛 明和二年一〇月二二日	一通 二九五七
。水野村喜三郎用狀（北代石堰人足用具割り当て） 佐藤平六宛 五月一四日	一通 二九四三	。潟町大橋新右衛門代金請取覚（刀・脇差代金六左衛門方より請取） 佐藤八平宛 丑四月一九日	一通 二九五八
。普請人足具覚	一通 二九四四	。俳句三首	一通 二九五九
。米山寺村湯本佐三右衛門用狀（御藏米下条村より取り上げ） 佐藤平六宛 一月二五日	一通 二九四五	。米山寺村庄屋清三郎当御上納金請取書 岩	一通 二九六〇
。八木文左衛門書狀 佐藤八平宛 二月五日	一通 二九四六		

手村喜太郎宛 申一月六日		新部弥五兵衛書状 佐藤平六宛 四月一日	
。米山寺村小池清三郎書状 佐藤喜太郎宛 三月二二日	一通 二九六一	。河野品代勘定書 佐藤宛 巳三月二二日	一通 二九七四
。五右衛門金銭差引勘定書 佐藤宛 一月七日	一通 二九六三	。籠鳴伝右衛門書状 佐藤八平宛 二六日	一通 二九七五
。米山寺村清三郎書状 佐藤松五郎宛 月二日	一通 二九六三	。水野村喜右衛門書状 八平宛 七月五日	一通 二九七六
。高畑湯本半右衛門書状 佐藤六四郎宛 七月二七日	一通 二九六四	。佐五右衛門書状 佐藤宛 三月七日	一通 二九七七
。下条村庄屋所覚書〔喜太郎・友太郎下条村懸持高〕 喜太郎・友太郎宛 三月六日	一通 二九六五	。楞嚴寺典座金子請取書 岩手村庄屋中宛 五月二四日	一通 二九七八
。食物覚〔いそがき・秋大根・すぐり菜ほか〕	一通 二九六六	。宮嶋佐右衛門書状 佐藤八平宛 三月一日	一通 二九七九
。密藏院書状 佐藤喜太郎宛 六月七日	一通 二九六七	。伊藤武右衛門金銭差引勘定書〔要助殿より預り金、廻米一巻雑用等〕 佐藤八平宛 正月八日	一通 二九八〇
。岩野村弥五右衛門御蔵米請取書 岩手村喜太郎宛 丑二月四日	一通 二九六八	。下灰庭村庄屋下条堰才割入用人足覚 岩手友右衛門宛 巳三月二四日	一通 二九八一
。下条村庄屋佐次右衛門書状 佐藤八平宛 一月二四日	一通 二九六九	。鴈海村へ懸持高覚 佐藤宛	一通 二九八二
。書状断片等	五枚 二九七〇	。米山寺八郎右衛門代金勘定書〔巳年鍛冶屋細工代〕 岩手村八平宛 一月	一通 二九八三
書状・品代勘定書等	一括 二九点 二九七二 二九九九	。下灰庭村庄屋太喜平巳先納金覚 岩手村友右衛門宛 巳四月八日	一通 二九八四
(注) 一一九七一、一一九九九は一括され、ひとつに巻かれていたもの。綴穴の跡があるので、もと一綴であつたものか。		。赤沢村庄屋仁左衛門・仙左衛門御伝馬人足諸雑入用割賦銭受取書 岩手村喜太郎宛 酉六月七日	一通 二九八五
。直海浜村八郎右衛門米受取書 岩手村八平宛 巳五月二日、五月二〇日	六通 二九七二	。米山寺村当御蔵入用覚	一通 二九八六
。桑原左兵衛書状 佐藤平六宛 六月二六日	一通 二九七三	。下灰庭村庄屋下条堰入用人足用具割賦覚 岩手村友右衛門宛 巳三月二八日	一通 二九八七

上中山朝比奈茂平治書狀 佐藤宛 九月二二日

封筒入 一通 七六七二

朝比奈仁太郎書狀 佐藤宛 一〇月一日

封筒入 一通 七六七四

朝比奈仁太郎書狀 佐藤宛

封筒入 一通 七六七五

○五十嵐

五十嵐大倭書狀 佐藤若旦那宛 一二月二日

一通 七九三西

五十嵐治左衛門書狀 佐藤八平宛 一〇月二一日

一通 二二〇五

五十嵐治左衛門書狀 佐藤八平宛 正月吉日

一通 二六七〇

○石津

高田下小町石津平太郎書狀 佐藤文吉宛 三月八日

封筒入 一通 六九八一

高田下小町石津平太郎書狀 佐藤文吉宛 明治一六年一〇月一三日

封筒入 一通 七八八〇

石津平太郎書狀 佐藤文吉宛 明治一六年一月六日

封筒入 一通 七九三九

高田下小町石津平太郎書狀 佐藤文吉宛 (明治)一八年一〇月二二日

封筒入 一通 二三五二

石津平太郎書狀 佐藤文吉宛 二月二日

封筒入 一通 二三五五

石津平太郎書狀 佐藤文吉宛 二月二日

封筒入 一通 二三五六

高田下小町石津平太郎書狀 佐藤文吉宛 (明治)一六年四月四日

封筒入 一通 二三六九

○内山

内山三郎右衛門書狀 佐藤文吉宛 一一月二二日

二一通 七九七五

五日

内山和助書狀 佐藤六四郎宛 正月二七日

一通 二二三九

横山村内山和助書狀 岩手村佐藤松五郎宛 四月一七日

一通 二四五一

内山三左衛門書狀(病氣見舞いの素麵等受納御礼) 佐藤喜太郎宛 五月二一日

一通 二二五西

内山慎二書狀 佐藤文吉宛 四月六日

一通 二二七〇

内山常之丞書狀 大兄宛 仲冬三日

一通 二二五七 前欠

内山和介書狀 佐藤松五郎宛 七月八日

一通 二二五七

横山村内山和介書狀 佐藤松五郎宛 六月一六日

一通 二二五九

内山和介書狀 佐大兄若様宛 四月五日

一通 二六三〇

内山経之丞書狀 喜太郎宛 五月三日

一通 二六九四

○伊藤

伊藤武左衛門書狀 佐藤八平宛 一〇月二〇日

一通 二二〇九

伊藤藤右衛門書狀 佐藤八平宛 一二月二三日

一通 二六五二

伊藤武左衛門書狀 佐藤八平宛 九月五日

一通 二六六三 (二枚)

伊藤武左衛門書狀 佐藤八平宛 四月一七日

一通 二六三三

○浦野

浦野織右衛門書狀(先日は御出さなれず残念に候旨) 佐藤八平宛 五月七日

一通 六九六三

たはた町浦野織右衛門書狀 二月二一日	高原佐藤文吉宛	一通	七九二	竹直小田昌造書狀 佐藤松五郎宛 五月二三日	一通	二七〇
下田端町浦野織右衛門書狀 〇月三〇日	佐藤文吉宛	一通	七九一	小田久五書狀 佐藤文吉宛 一〇月八日	一通	二八三九
下田端町浦野安一郎書狀 佐藤文吉宛	一通	二三四七	〇籠鳴	籠鳴省吾書狀 佐藤文吉宛 三月二九日	一通	七九七
浦野織右衛門書狀 佐藤文吉宛 八月二四日	一通	二三四九	いわの村籠鳴書狀 岩手村佐藤宛 五月四日	一通	七九七	
下田端町浦野織右衛門書狀 佐藤文吉宛 二五日	一通	二三八〇	籠鳴書狀 佐藤宛 五月二二日	一通	八〇〇	
浦野織弥書狀 佐藤御母公・同啓助宛 二月九日	一通	二四八五	籠鳴書狀 佐藤若大人宛 四月一九日	一通	二三四五	
浦野織右衛門書狀 佐藤松五郎宛 一二月二三日	一通	二七〇〇	籠鳴書狀 佐藤宛 一二月二二日	一通	二三五九	
たはた町浦野織右衛門書狀 佐藤文吉宛 二月三日	一通	二〇三三	籠鳴書狀 佐藤大人宛 三月九日	一通	二二七五	
〇小田			籠鳴書狀 佐藤宛 五月二三日	一通	二二七七	
小田某書狀〔投網返却のこと、その他〕 佐藤六四郎宛 五月二八日	一通	六九六四	籠鳴伝右衛門書狀 佐藤啓助・籠鳴長左衛門宛 二月一九日	一通 (二枚)	二四五〇	
竹直小田書狀 佐藤與吉宛 一〇月一四日	一通	七六六七	籠鳴書狀 佐藤宛 七月二七日	一通	二八〇九	
竹直小田久伍書狀 佐藤與吉宛 九月二六日	一通	七六六八	〇木村			
小田久伍書狀 佐藤與吉宛 一〇月一七日	一通	七六六九	木邨乾太郎書狀 佐藤与吉宛 一〇月八日	一通	七六五一	
小田定右衛門書狀 御隠居様・佐藤喜太郎・佐藤松五郎宛	一通	二六三五	木邨乾太郎書狀 佐藤与吉宛 一〇月二九日	一通	七六六二	
竹直小田十書狀 佐藤啓助宛 七月二一日	一通	二六五二	木村太一郎書狀 佐藤與吉宛 一〇月一七日	一通	七六七六	
小田定右衛門書狀 松五郎宛 六月二一日	一通	二六六一	上小野木村老圃書狀 佐藤宛 三月二日	一通	七九二六	
			木村書狀 佐藤宛	一通	七九三三	
			木邨書狀 佐藤宛 一一月五日	一通	七九四一	

上小野木村書状 佐藤宛 八月一四日	一通	七九五
上小野木村勘右衛門書状 佐藤喜太郎宛 三月二十六日、四月三日	二通	二五三八
木村彦治郎書状 佐藤松兵衛宛 七月六日	一通	二六四五
木村唯七書状 佐藤与吉宛 九月五日	一通	二七七〇
○小池		
小池作十郎書状 佐藤宛 二月一六日	一通	六九八〇
小池書状 長沢屋方佐藤宛 四月二六日	一通	七八九〇
小池清松書状 佐藤松五郎宛 五月七日	一通	二二四三
小池甚右衛門書状 佐藤啓助宛 七月七日	一通	二五〇六
○小林		
横山村小林佐伝次書状 岩手村佐藤宛 子一〇月三一日	一通	七九四三
馬正面小林庄兵衛ほか書状 (包紙) 木田村塚田御内方様宛	四通	二二五五
1 木村勘右衛門書状 佐藤喜太郎宛 一一月七日		
2 こはやしんきよ書状 つかた御内方宛 一一月二〇日		
3 小林隠居書状 佐藤喜太郎・木村勘右衛門宛 一一月六日		
4 豊次母書状 佐藤喜太郎宛 しわす一二日		
馬正面村小林六郎右衛門書状 岩手村佐藤宛 閏四月一七日	一通	二六三五
○近藤		
鉢崎(近藤)甚平書状 佐藤宛 八月一四日	一通	六九七八
近藤甚平書状 佐藤與吉宛 明治三〇年一〇月一二日	一通	七六五二
近藤甚平書状 佐藤與吉宛 一〇月一四日	一通	七六六三
近藤甚平書状 佐藤與吉宛 九月二九日	一通	七六六四
近藤甚平母書状 佐藤與吉宛 一七日	一通	七六六五
鉢崎近藤甚平書状 佐藤與吉宛 一〇月二二日	一通	七八六四
近藤甚平書状 佐藤與吉宛 一一月五日	一通	七八六五
近藤甚平書状 佐藤與吉宛 一一月一〇日	一通	七八六六
近藤甚平書状 佐藤與吉宛	一通	七八八四
鉢崎近藤良助書状 佐藤啓助宛 閏四月二五日	二通	二六五三
(注) 一一六五四と一括されていたもの		
近藤良吾書状 佐藤啓八・佐藤勇吉宛 三月二五日	一通	二八四二
近藤喜八郎書状 佐藤八平・同惣左衛門宛 正月二〇日	一通	二二〇〇
鉢崎近藤良吾書状 佐藤文吉宛 四月一三日	一通	二二〇四
○薩美		
薩美仁左衛門書状 佐藤与吉宛 一〇月二九日	一通	七六七二

字水野薩美仁左衛門書状 佐藤与吉宛 一〇 封筒入 一通 七七七

水野村薩美仁左衛門書状 佐藤文吉宛 一〇 封筒入 一通 七九四

水野村薩三仁左衛門書状 佐藤文吉宛 一一 封筒入 一通 七九六

薩美仁左衛門書状 佐藤与吉宛 包紙入 一通 二〇六四

〔注〕 包紙表書に「委任状七通」とあるが委任状ではない

薩美仁左衛門書状 東京にて 佐藤文吉宛 封筒入 一通 二三四八

水野村薩美仁左衛門書状 岩手村高原若旦那宛 九月六日 一通 二四七七

水野村薩美仁左衛門書状 佐藤若御主人宛 九月八日 一通 二四七八

水野村薩美仁左衛門書状 佐藤啓助宛 一月九日 一通 二六四〇

水野村薩美善右衛門書状 佐藤喜太郎宛 二月二七日 一通 二七二一

○佐藤八平

佐藤八平書状 佐藤松五郎・湯本平助宛 八月二八日 一通 二一三三

佐藤八平書状 佐藤半治宛 九月八日 一通 二五三二

佐藤八平書状 佐藤半治宛 正月二六日 一通 二五三三

佐藤八平書状 佐藤半治宛 二月三日 一通 二五四三

(佐藤) 八平書状 五三郎宛 九月六日 一通 二八〇五

○佐藤半治

佐藤半治書状〔反物・あわせ等拙者名付荷物引合せ取り申し候旨〕 佐藤柳助宛 三月一日 一通 二一〇一

佐藤半治書状 佐藤八平・同平六宛 正月二日 一通 二二三

佐藤半治書状〔帰国致すべき旨承知のこと、その他〕 八平宛 二月三日 一通 二二五

佐藤半治書状 八平宛 五月九日 一通 二六五九

佐藤半治書状 八平・平六宛 三月一七日 一通 二六八七

○佐藤文吉

佐藤文吉書状 高田町大字下田端区紀伊国屋喜八郎方佐藤与吉宛 明治二七年二月一七日 封筒入 一通 七八七〇

佐藤文吉書状 高田町大字下田端区紀伊国屋喜八郎方佐藤与吉宛 一月十九日 封筒入 一通 七八七二

佐藤文吉書状 高田町下田端区紀伊国屋方佐藤与吉宛 九月六日 封筒入 一通 七八七三

佐藤文吉書状 高田町下田端区紀伊国屋喜八郎方佐藤与吉宛 明治二八年一月一五日 包紙入 一通 七八七四

佐藤文吉書状 高田町下田端区紀伊国屋方佐藤与吉宛 一〇月一八日 封筒入 一通 七八七五

佐藤文吉書状 高田町佐藤與吉宛 明治二六年一〇月七日、一〇月八日 包紙入 一通 七八七六

(佐藤) 文吉書状 高田長沢屋より 佐藤啓八宛 四月一六日 封筒入 一通 七九六四

(佐藤) 文吉書状 長沢屋より 佐藤啓八宛 五月一日 一通 七九七二

佐藤文吉書狀 高田長沢屋より 佐藤啓八宛
三月二十六日 一通 七九八五

佐藤文吉書狀 中小町七尾屋 岩手村高原宛
八月一八日 一通 七九八七

佐藤文吉書狀 群馬県群馬郡伊香保温泉木暮八
郎殿方止宿より 岩手村佐藤與吉宛 九月一
〇日 一通 二二七一

佐藤文吉書狀 関山駅村越与五右衛門方二而
佐藤啓助宛 八月一八日 包紙入 附共 二五七二
附 米山寺坂井屋勘定書 佐藤宛 (明
治) 一二年八月

佐藤文吉書狀 潟町市礎町老ノ丁篠田喜四郎方
佐藤与吉宛 明治二七年二月 一通 二二八四

佐藤文吉書狀 佐藤与吉宛 一月四日 一通 二二〇六

(佐藤) 文吉書狀 高田長沢屋より 佐藤啓八
宛 四月一五日 一通 二二〇四七

○佐藤與吉

佐藤与吉書狀 佐藤叔父宛 一月二六日 封筒入 一通 六九七二

佐藤與吉書狀 (見舞及送金云々に付き) 佐藤
俊策宛 大正三年一〇月一一日 一通 七五〇

佐藤与吉書狀封筒 佐藤叔父宛 一月一九 封筒のみ 一枚 七五五四

佐藤与吉書狀封筒 佐藤文吉宛 一月二三 封筒のみ 一枚 七五九九

佐藤與吉書狀 群馬県上野国群馬郡伊香保木暮
八郎殿方止宿佐藤文吉宛 九月一四日 一通 七九七四
(二枚)

(佐藤) 与吉書狀 叔父様宛 二月二日 一通 二二四二

(佐藤) 與吉書狀 佐藤叔父宛 一〇月二二日 一通 二二四六

○佐藤善左衛門

佐藤善左衛門書狀 佐藤半治宛 二月一六日 一通 二二三三

佐藤善左衛門書狀 佐藤喜太郎宛 四月朔日 一通 二二一〇

佐藤善左衛門書狀 佐藤喜太郎宛 七月四日 一通 二一六三

○佐藤七郎治

門前佐藤七郎治書狀 高原佐藤宛 六月二一 日 一通 七九五五

門前(佐藤) 七郎治書狀 高原宛 五月八日 一通 七九六九

門前(佐藤) 七郎治書狀 高原宛 八月二二 日 一通 七九八八

佐藤七郎治書狀 高原佐藤宛 一月一五日 一通 七九九三

門前(佐藤) 七郎治書狀 高原宛 二月一六 日 一通 二二五二

(佐藤) 七郎治書狀 高原宛 八月二八 日 一通 二二六六

○佐藤耕策

佐藤耕策書狀 佐藤與吉宛 明治三〇年一〇月 三日 封筒入 一通 七六六〇
(三枚)

佐藤耕策書狀 佐藤與吉宛 明治三〇年一〇月 三日 封筒入 一通 七六六七

佐藤耕策書狀 佐藤与吉宛 明治三〇年一二月 九日 封筒入 一通 七六六八

佐藤耕策書狀 五日	佐藤與吉宛 明治三〇年九月一	封筒入	一通 七六七〇
○佐藤(その他)・高原			
高原(佐藤)喜太郎書狀 松五郎宛 正月二二日	在所吉兵衛・同所		一通 二二三五
(佐藤)喜太郎書狀 日	松五郎・和助宛 五月八		一通 二二五〇 (二枚)
佐藤久左衛門書狀 一日	佐藤八郎兵衛宛 二月一		一通 二二〇一
佐藤景山書狀	佐藤六四郎宛 四月二四日		一通 二六四三
佐藤啓八書狀	佐藤文吉宛 三月一八日	包紙入	一通 二三五四
(佐藤)啓八郎書狀 佐藤惣左衛門書狀	文吉宛 五月三日		一通 二六五六
佐藤泰助書狀 一月一九日	高田瀬屋氏ニテ 佐藤文吉宛		一通 二二九〇
佐藤半藏書狀	佐藤啓助宛 西六月二八日		一通 二二三四
江戸小日向佐藤彦吉書狀 月二二日	佐藤啓助宛 辰三		一通 二六七六
佐藤平六書狀	佐藤八平宛 十一月一日		一通 二二五〇
佐藤勇吉書狀	佐藤文吉宛 三月二五日		一通 七九七
佐藤柳助書狀 一月三日	佐藤八平・平六・松五郎宛 一	前欠	一通 二六四四
佐藤六四郎書狀	佐藤喜太郎宛 三月一〇日		一通 二五八六
佐藤六四郎書狀	御兄様宛 一〇月朔日		一通 二六四四
高原書狀	佐藤文吉宛 一〇月二六日		一通 七九六三
高原留主居書狀(米山寺へ御越し御苦勞に存じ候) 佐藤松五郎宛 八月九日			一通 二〇九八
高原書狀	佐藤文吉・同七郎治宛 四月二九日	包紙入	一通 二二四九
岩手村高原書狀 二五日	佐藤七郎治・同文吉宛 三月		一通 二八四三
○鈴木			
高田川原町鈴木幸藏書狀 八日	佐藤文吉宛 九月	封筒入	一通 六九六九
鈴木幸藏書狀 月一四日	佐藤文吉宛 (明治)一八年六月	包紙入	一通 六九七四 (二枚)
高田川原町鈴木幸藏書狀 治)一七年九月一日	佐藤文吉宛 (明	包紙入	一通 六九七七
(鈴)木幸藏書狀 佐藤文吉宛 月二二日	新潟古町通五番町住吉屋辻宿 (明治)一八年四月一九日	包紙入	一通 七九三二 (二枚)
鈴木幸藏書狀	佐藤文吉宛 (明治)一八年九月		一通 七九四二
高田川原町鈴木幸藏書狀	佐藤文吉宛 九日	包紙入	一通 七九九九
柿崎鈴木屋書狀ならびに品物送狀 藤宛 八月、九月	岩手村佐	一括	六通 二五八一
柿崎鈴木屋書狀	岩手村高原宛 三月二五日		一通 二五八五
柿崎鈴木屋書狀	岩手村高原宛 七月三〇日		一通 二五八七
○玉屋			
鉢崎玉や良助書狀 月九日	佐藤啓助・同文吉宛 五	封筒入	一通 二三四四

柿崎玉屋良助書状 岩手村高原宛 四月一七日	一通 二六七	榆井多次郎書状(未之下条橋ニ付返書) 佐藤八平宛 (寛延四年)三月八日	一通 二四九
鉢崎玉屋良助書状 岩手村高原宛	一通 二六四	榆井多次郎書状 佐藤八平宛 四月五日	一通 二五〇
〔注〕一一六五三と一括されていたもの。		鉢崎玉屋書状 岩手村高原宛 一二月五日	一通 二六八
○常盤屋		○平田	
常わ屋善次郎書状	一括 三通 二二六	百木平田武四郎書状 佐藤與吉宛 明治三〇年一二月一〇日	一通 七六六
○常わ屋善次郎書状 今町 佐藤宛 八月一七日	一通 二二六	平田武四郎書状 佐藤耕策宛 一〇月一二日	一通 七六九
○ときわ屋善次郎書状 佐藤宛 七月三一日	一通 二二七	百木村平田軍治書状 佐藤文吉宛 一二月三一日	一通 七五六
○常わ屋善次郎書状 岩手村佐藤宛 七月四日	一通 二二六	百木村平田軍治書状 佐藤 一二月二〇日	一通 二五六
○土肥		○星野	
土肥六郎治書状 佐藤喜太郎宛 正月一八日	一通 二四九	黒岩星野書状 岩手邨佐藤宛 二月一六日	一通 六九七
土肥成庵書状 佐藤喜太郎宛 更衣吉日	一通 二四九	星野多仲書状 佐藤文吉宛 一〇月九日	一通 六九七
土肥成庵書状 佐藤喜太郎宛 三月六日	一通 二五八	黒岩星野書状 佐藤宛 二月四日	一通 七九二
土肥六右衛門書状 佐藤八郎兵衛宛 □月五日	一通 二五〇	星野半三郎書状 長野ヨリ 佐藤文吉宛 明治一一年九月二一日	一通 七九三
○榆井		黒岩星野書状 岩手佐藤宛 一二月四日	一通 七九三
榆井書状 佐藤大人宛 一二月二日	一通 七九六	黒岩星野書状 岩手佐藤宛 六日	一通 七九四
榆井美右衛門書状(夏中何とぞ)参会下されたき旨、その他) 佐藤八平宛 五月三日	一通 二二五	星野多仲書状 文吉宛 一〇月九日	一通 七九五
榆井美右衛門書状 佐藤八平宛	一括 八通 二二六	星野多仲書状 佐藤宛 一三日	一通 七九八
		星野孫右衛門書状 佐藤松五郎宛 二月二一日	一通 二三四

星野半左衛門書状 佐藤喜太郎宛 <small>破</small> 〇月二四日	一通 二二四〇	三上謙三書状(御來駕願いあげたく) 湯本・佐藤・籠島宛 一一月二二日	一通 七六四三
星野孫右衛門書状(年賀) 佐藤友右衛門宛 正月二日	一通 二二四六	三上・籠鳴書状 佐藤宛 一〇月二四日	一通 七九二四
星野半左衛門書状 佐藤松五郎・小池清三郎宛	一通 二二五九	三上書状 佐藤宛 一〇月一日	一通 七九五四
黒岩星野範三郎書状 佐藤文吉宛 八月一日	一通 二二五〇	上小野三上喜三書状 佐藤文吉宛 一〇月一日	一通 七九七三
赤沢村星野兼次郎書状 佐藤文吉宛 三月二三日	一通 二二五八	上小野三上書状 岩手佐藤宛 一月八日	一通 七九七六
星野多仲書状 高田にて 佐藤文吉宛 一〇月一八日	一通 二二七二	上小野三上書状 岩手村佐藤宛 六月三日	一通 七九九二
黒岩星野多仲書状 岩手村佐藤宛 四月九日	一通 二二八三	上小野三上書状 佐藤宛 三月三日	一通 七九五五
星野半左衛門書状 佐藤喜太郎宛 一二月一日	一通 二二八二	三上忠次書状 佐藤啓助宛 一〇月一日	一通 二二二七
ほしの書状 佐松(佐藤松五郎カ)宛 一二月八日	一通 二二七三	(三上) 謙三書状 佐藤宛 一月二日	一通 二二六三
星野半左衛門書状 佐藤喜太郎宛 一二月一日	一通 二二七〇	三上謙三書状 佐藤宛	一通 二二六四
星野佐五右衛門書状 佐藤八郎兵衛宛 一二月一七日	一通 二二八〇	三上書状 佐藤宛 四月二七日	一通 二二六六
〇三上		三上喜三書状 佐藤文吉宛 二月一日	一通 二二七三
上小野三上書状 高原佐藤宛 一二月五日	一通 六九七六	三上書状 新屋佐藤宛 一〇月一日	一通 二二七八
三上廉平書状写(祖母志周忌に付き焼香依頼) 湯本・佐藤・新佐藤・籠島宛 一〇月二〇日	一通 七四九	三上喜三書状 佐藤文吉宛 七月二五日	一通 二二七九
		三上謙三書状 佐藤宛	一枚 二二八五
		上小野三上喜三右衛門書状 佐藤文吉宛 〇月七日	一通 二四六五
		上小野三上喜三右衛門書状 佐藤文吉宛 一月九日	一通 二四六六

断片

上小野三上喜三右衛門書狀 佐藤文吉宛 一
一月二日 一通 二四六九

上小野三上喜三右衛門書狀 佐藤文吉宛 八
月朔日 一通 二四七三

三上喜三右衛門書狀 佐藤文吉宛 二月二五
日 一通 二四七四

上小の三上謙三書狀 佐藤御大人宛 五月一
九日 一通 二五七六

三上書狀 佐藤御老人宛 八月四日 一通 二六二〇

上小野三上書狀 岩手村佐藤宛 五月二九日 一通 二六二二

上小野三上貞五郎書狀 佐藤御老人宛 八月
二一日 一通 二六四七

八木彦四郎書狀 佐藤八平宛 一月朔日 一通 二二三三

八木文左衛門書狀 佐藤八平宛 九月二三日 一通 二六五五

八木平十良書狀 岩手村高原御本家宛 子二月
五日 一通 二〇三四

○谷澤
谷澤徳五郎書狀 佐藤文吉・與吉宛 七月七日 一通 七九四五

谷澤徳五郎書狀 佐藤宛 二月二一日 一通 七九七七

谷澤徳五郎書狀 佐藤文吉宛 四月二九日 一通 七九八〇

直江津谷澤徳五郎書狀 佐藤文吉宛 七月一
三日 一通 七九九七

谷澤與吉書狀 高崎宮所歩兵第三連隊第一大隊 封筒入 一通 二五七〇

第二中隊第五半小隊 佐藤文吉宛 三月一
二日 一通 七九七〇

○湯本
湯本寛司書狀 佐藤文吉宛 四月八日 一通 七九七〇

湯本太次右衛門書狀 (高畑立会橋用具の件そ
の他) 佐藤八郎兵衛宛 五月二三日 一通 二〇九九

高畑村湯本宗十郎書狀 佐藤文吉宛 七月二
三日 一通 二三四三

湯本書狀 佐藤木村両先生宛 九月二五日 一通 二三六〇

湯本書狀 坂井屋ニテ 佐藤宛 三月二二日 一通 二三六五

湯本書狀 佐藤宛 正月晦日 一通 二四八〇

大肝煎湯本宗十郎用狀 (別紙之通り仰出され
候につき御一覽) 岩手村庄屋 二月五日 一通 二四八四

高畑湯本原吉書狀 岩手佐藤大叔君宛 一二
月二五日 一通 二五〇〇

高畑湯本重太郎書狀 佐藤啓助宛 二月一
八日 一通 二六四一

湯本原吉書狀 佐藤宛 閏七月二一日 一通 二六四六

湯本書狀 佐藤宛 六月一六日 一通 二六四九

湯本原吉書狀 佐藤宛 一月二六日 一通 二六九九

湯本太次右衛門書狀 佐藤友右衛門宛 二月
一八日 一通 二〇一八

○その他 (五十音順)
相澤権右衛門書狀 佐藤喜太郎宛 二月朔 一通 二〇三〇

日	愛染院玉山書狀	竹原大旦那宛	文月一七日	一通	二五二
	麻場保藏書狀	佐藤與吉宛	三月五日	一通	二八三
	天屋貞助書狀	高原旦那宛		一通	二六六
	赤沢伊右衛門書狀	岩手村宛		一通	二六六
	高田中小町池田屋金作書狀	(御注文の品納入のこと、ならびに借金申し入れの件)	佐藤啓助宛 六月初日	附共 四通	六九五
	附1品代勘定書	六月一二日	池田屋宛		
	2品代勘定書	六月日	池田屋宛	一通	
	3去戌悪金御下金割賦書	亥五月 立	会庄屋 岩手村庄屋中宛	一通	
	水野村伊郎右衛門書狀	岩手村佐藤旦那宛	師走二三日	一通	二四八
	岩三書狀	平六宛	二月□日	一通	二六八
	高田下小町上田岩之介書狀	佐藤文吉宛	〇月一日	一通	七九〇
	磨井善太郎書狀	中山村 佐藤八郎兵衛宛		一通	二二五
	上増田村岡田保書狀	佐藤文吉宛	一月二四日	一通	七九七
	小澤善之丞書狀	佐藤柳助宛	八月二五日	一通	二四八
	小澤善之丞書狀	佐藤柳助宛	一〇月三日	一通	二五四
	斧休書狀	素水君宛	菊月五日	一通	二六五
	水の覚治郎書狀	木村・佐藤宛	八月一日	一通	二四九
	下小野村片桐文六書狀	岩手村佐藤宛	寅一二月朔日	一通	二六三
	方山吉二郎書狀	佐藤友右衛門宛	十一月一日	一通	二五三
	加藤与惣左衛門書狀	佐藤喜太郎宛	一二月一〇日	一通	二六〇
	金井与四右衛門書狀	佐藤八平宛	九月八日	一通	二八九
	高畑村寛司書狀	岩手村庄屋文吉宛	四月六日	一通	七九三
	勘兵衛書狀	柿崎宿より	岩手村新家・岩野宛	一通	二六三
	きく書狀	兄宛	五月七日	一通	二七〇
	喜作書狀	高田長沢屋にて	岩手村佐藤御旦那宛	一通	二八五
	義四郎書狀	岩手村泰所公宛	臘月(一二月)一日	一通	二四八
	義介書狀	御叔父様宛	六月二八日	一通	二二二
	喜惣右衛門書狀	八平宛	午二月二五日	一通	二六四
	熊木金兵衛書狀	佐藤啓輔宛	正月二三日	一通	二六七
	久保田安兵衛書狀	佐藤八兵衛宛	正月一日	一通	二〇六
	笄源内書狀	佐藤平六宛	二月二二日	一通	二五三
	江戸下谷泉橋通御徒町笄源内名札	佐藤平六宛		一通	二七八
	柿崎小出与惣次書狀	佐藤旦那宛	寅四月一日	一通	二五七

七日
 小菅幸峰書狀 佐藤八平・佐藤平六宛 二月六日 一通 二二五五
 五斥坊書狀 諷之宛 正月六日 一通 二二五〇
 小峰善之丞書狀 佐藤柳助宛 三月一〇日 一通 二二三三
 小山与左衛門・磨井六右衛門書狀 佐藤惣左衛門宛 六月一八日 一通 二二八七
 米山寺村こん屋保造書狀 佐藤宛 一月二八日 一通 二二二〇
 坂口助右衛門書狀 坂藤半治宛 一〇月一三日 一通 二二二九
 坂口五左衛門書狀 佐藤友右衛門宛 四月二八日 一通 二二八五
 庄屋左右衛門書狀 庄屋佐藤啓助宛 辰九月三日 一通 二二四六
 左^(破損)書狀 佐藤友右衛門宛 卯年二月三日 一通 二二七八
 前欠
 左三書狀 佐藤旦那宛 一月二日 一通 二二七〇
 定右衛門書狀 岩手松五郎宛 五月八日 一通 二二七八
 定右衛門書狀 松五郎宛 六月四日 一通 二二八一
 三太右衛門書狀 惣左衛門宛 閏九月二日 一通 二二三三
 三太右衛門書狀 御隠居宛 一〇月二五日 一通 二二五六
 三和書狀 諷之丈宛 六月一〇日 一通 二二五八
 柴山作左衛門書狀 佐藤八平宛 六月二四日 一通 二二〇二

慈鳳庵書狀 佐藤喜太郎宛 七月二日 一通 二二九〇
 柿崎鳴崎書狀 岩手村高原若旦那宛 七月二〇日 一通 二二〇四
 下鳥源右衛門書狀 佐藤八平宛 九月一四日 一通 二二五〇
 下鳥源右衛門書狀 佐藤八平宛 五月二五日 一通 二二五八
 受春書狀 佐卜友宛 九月八日 一通 二二五一
 春作書狀 高原御主人宛 三月三日 一通 二二五二
 春作書狀 佐藤宛 五月一五日 一通 二二七二
 春作書狀 高原宛 六月一七日 一通 二二七三
 如雪書狀 佐藤八平宛 正月二〇日 一通 二二〇四
 甚助書狀 友太郎宛 九月三日 一通 二二七五
 平野新兵衛書狀 柿崎より 高原宛 一二月五日 一通 二二八〇
 成趣庵書狀 佐藤宛 四月二四日 一通 二二四四
 成趣庵書狀 佐藤御老人宛 五月二一日 一通 二二六〇
 齋舟書狀 素水貴君宛 卯月四日 一通 二二一五
 清三郎書狀 佐藤平六宛 一〇月二〇日 一通 二二八六
 米山寺村清三郎書狀 岩手村喜太郎宛 六月七日 一通 二二八八
 関下書狀 佐藤宛 二月九日 一通 二九六八
 瀧町善太郎書狀 岩手佐藤宛 一二月二六日 一通 二二六六
 (二枚)
 かた町善太郎書狀 岩手 高原宛 六月一日 一通 二二六二

かた町善太郎書状 岩手佐藤宛 閏五月一八日	一通 二七〇一	春一六日	
片町善太郎書状 岩手佐藤宛 六月一〇日	一通 二七〇二	竹内喜代志書状 佐藤且那宛 一月三日	一通 七九九六
前夜書状 素水雅公宛 二月〇五日 ^(虫損)	一通 二二二六	竹越吉兵衛書状 佐藤喜太郎宛 四月一五日	一通 二五三三
宗七郎書状 佐藤宛 一二月四日	一通 七九三三	赤沢村武田啓太郎書状 岩手村佐藤宛 五月一九日	一通 七九四九
箏太郎書状 佐藤雅公宛	一通 二四八一	後生寺村田中平次郎書状 岩手村竹原大且那宛 一〇月二十九日	一通 二〇四一
素臥書状 佐諷之雅公宛 九月二一日	一通 二二一四	太兵衛書状 諷之宛	一通 二二二七
素臥書状 諷之雅公宛 弥生一三日	一通 二二一八	茶山書状 佐藤八郎兵衛宛	一通 二六七四
素臥書状 諷之宛 三月一一日	一通 二二一九	ちよ書状 御父人様宛 一二月二三日	一通 二五一九
水野村曾田礼十郎書状 佐藤文吉宛 子九月二一日	一通 二五八四	塚田書状 佐藤宛 極月二二日	一通 二四九五
太木書状 諷之雅丈宛 一月二八日	一通 二八三三	塚田作兵衛書状 佐藤啓助宛 三月二三日	一通 二七八五
泰介書状 岩手村高原宛 五月一八日	一通 二六六五	筑山貞四郎書状 佐藤八平宛 二月一三日	
柿崎村大門屋嘉助書状 岩手村高原宛 二月二四日ほか	四通 二五三五	附1 越後柿崎浄福寺門徒妙證御印書 西三月七日 包紙入 一通	附共 二六八八
柿崎村大門屋書状 岩手村高原宛 五月二七日	一通 二五三九	附2 松水佐七書状 仁平豊兵衛宛 一〇月二七日 一通	
高井与右衛門・角田伝兵衛書状 岩手組大肝煎佐藤八平宛 八月二〇日	一通 二八二二	(注) 附1、2は筑山貞四郎書状包紙に一緒に入っていたもの。	
高倉啓吾書状 佐藤先生宛 一二月二〇日	一通 七九五	徳石衛門書状 岩手佐藤宛 一〇月二二日	一通 二六八五
高藤書状 八郎兵衛宛 九月一四日	一通 二〇〇二	いわの篤太郎書状 佐藤宛 正月二六日	一通 二六七九
太喜右衛門書状 友右衛門宛 初冬七日	一通 二八九	豊兵衛書状 佐藤八平宛	一通 二七六六
太次右衛門書状 佐友右衛門・同八兵衛宛 小	一通 二〇〇三	呉服町長沢屋六郎書状 岩手村佐藤宛 三月二七日	一通 二四八三

代石中島啓書状 岩手佐藤雅兄宛 一〇月一七日 封筒入 一通 七六三五

川井村永春源助書状(御悔み札状) 佐藤友右衛門宛 一通 二〇五六

中村春作書状 佐藤文吉宛 二月九日 一通 七九九〇

中村屋与惣次書状 岩手村佐藤旦那宛 七月九日 一通 二二二四

武州黒沢増田屋中村茂七書状 高原旦那宛 一二月二六日 包紙入 一通 二二四四

鉢崎中山調書状 佐藤文吉宛 七月九日 一通 二〇四八

水野村仁郎右衛門書状 佐藤啓助宛 師走一四日 一通 二五八三

水野村仁郎右衛門書状 岩手村高原宛 三月一五日 一通 二六五〇

水野村仁郎右衛門書状 岩手村佐藤旦那宛 一二月一八日 一通 二七九二

新部孫兵衛書状 佐藤喜太郎宛 一二月二一日 一通 二二四七

清国遼陽市西卷愛書状封筒 佐藤耕策様内御伯母上宛 明治四四年四月一八日 封筒のみ 一枚 七八七八

仁平豊兵衛書状 佐藤八平宛 四月一一日 前欠 一通 六九六五

仁平豊兵衛書状 佐藤八平・佐藤平六宛 一月二六日 一通 二六六六

野口理左衛門書状 佐藤八平宛 一二月二七日 包紙入 附共 二通 二五四〇

附 荒井徳平・角田治右衛門書状 下条 床屋次右衛門・同幾右衛門宛 一月

二四日 包紙入 一通

(注) 附の書状は野口理左衛門書状の包紙の中に一緒に入れていたもの。

白眉書状(年賀) 佐藤素水宛 正月吉日 一通 二二五五

高田鍛冶町長谷川恵助書状 佐藤松五郎宛 九月一三日 一通 二二八八

はは書状 はつの宛 一通 七九四四

母書状 佐藤八平宛 八月一五日 一通 二六五六

高畑半右衛門書状 六四郎宛 一〇月二二日 一通 二二二六

半左衛門書状 六四郎宛 一二月四日 一通 二六二九

水野村彦左衛門書状 岩手村松五郎宛 一通 二二四五

彦二書状(代石村太郎右衛門ら四人、支配替反對の駆込訴につき入牢・宿預のこと) 佐藤宛 一二月 一通 六九四五

彦二郎書状(勇吉江戸より帰宅のこと、その他につき) 佐藤宛 三月八日 一通 六九四一

彦二郎書状 松五郎宛 一通 二二四九

彦治郎書状 松五郎宛 二九日 一通 二二五八

平野儀平司書状 高原旦那宛 二月一五日 一通 二二七六

へいし屋紀右衛門書状 佐藤八平宛 八月二九日 一通 二三四〇

親類惣代前川瀏書状 刈羽郡横山村田子屋ニテ 佐藤文吉宛 一〇月一八日 包紙入 一通 二五四二

下小野村増井達道書状 佐藤宛 二月二八日 封筒入 一通 七九二九

灰庭村又三郎書状〔高田長沢屋代金勘定の件〕
佐藤宛 二月二二日

附 高田呉服町長沢屋六右衛門金子請取
書等 岩手村佐藤宛 三二通

附共 二二五
四通

灰庭新田村又三郎書状 岩手村佐藤宛 四月
二日

一通 二六四八

かじや松右衛門書状 高原佐藤旦那宛 丑一
二月日

一通 二六六六

密藏院書状 高原旦那宛 一月二十九日

封筒入 一通 七六七三

高田寺町妙国寺書状 佐藤文吉宛 一月一
日

一通 七九八八

高田岡島町邨山六太郎書状 佐藤文吉宛 四
月十五日

封筒入 一通 七九八九

高田岡島町邨山六太郎書状 佐藤文吉宛 一
月二一日

包紙入 一通 六九七〇

鷹海村室岡喜作書状 岩手村佐藤旦那宛 八
月一七日

一通 二六二九

弥市右衛門書状 慶助宛 九月二〇日

一通 二六四二

山川藤左衛門書状 佐藤八平宛 一〇月一七
日

一通 二五八九

館室村山崎謙平書状 岩手村竹原宛 二月一
〇日

一通 二四六三

山崎書状〔書名書付〕 佐藤宛

一通 二四六七

芋嶋与右衛門書状〔当夫人割迷惑につき村々一
同嘆願評決の件〕 佐藤御主人宛 一一月一
八日

一通 二二五七

高畑村与五右衛門書状 岩手村御村役人宛
閏四月四日

一通 二六七二

横田東作・高嶋清十郎・湯本又三郎連名書状
佐藤宛 五月二四日

一通 二二五三

高畑村与五平書状 岩手村高原旦那宛 四月
一五日

一通 七九五一

岩手村吉村泰治書状 佐藤宛

一通 二二七六

吉田与一右衛門書状〔下条御藏米手形決済の
件につき〕 佐藤八平宛 (延享四年) 一二
月九日

一通 六九三六

柿崎四ツ目屋書状 高原柳助宛 九月二四日

一通 二〇三二

らく書状(包紙には石津とあり) 佐藤宛 一
〇月一一日

封筒入 一通 二二五七

柿崎龍太郎書状 岩手村佐藤宛 一〇月二〇日

一通 二〇三八

柿崎龍多郎書状 岩手村佐藤宛 二月二〇日

一通 二五八六

蓮城寺日祥書状 佐藤半治宛 九月二日

一通 二六六九

老夫書状 佐藤宛 二月二日

一通 七九三三

上小野老圃書状 岩手佐藤宛

封筒入 一通 七九五二

六右衛門書状 佐藤八平宛 四月一八日

一通 二二二三

六右衛門書状 八平・柳助宛 五月七日

一通 二四九九

六右衛門書状 佐藤八平宛 六月一九日

一通 二二五六

六右衛門書状 佐藤八郎兵衛宛 二二日

一通 二六三八

六右衛門書状 佐藤八平宛 四月二三日

一通 二六五七

六右衛門書狀 友右衛門宛 六月二二日 一通 二七〇四
 渡邊書狀 岩手村佐藤宛 二月二五日 一通 七九三五

○差出人不明

某書狀 松五郎宛 一二月二七日 一通 二八〇七
 某書狀 (手習手本か) 佐藤八十吉宛 一通 二〇五七

某書狀 佐藤卜友宛 六月二六日 四通 二二一〇

某書狀 佐藤文吉宛 五月一七日 一通 二二六二

某書狀 佐藤八郎兵衛宛 正月吉日 一通 二二五四

某書狀 佐八平宛 九月 一通 二八三五

某書狀 岩手佐藤宛 一通 二八四四

某書狀 諷之先生宛ほか 四通 二二五六

某書狀 諷之先生宛 五月二一日 一通 二二五三

某書狀 諷之先生宛 霜月一七日 一通 二二〇三

他家宛書狀

○佐藤

東京佐藤与吉電報 柿崎鈴木龍太郎宛 明治 附共 六九七三
 一四年四月一五日 封筒入 二通

附 柿崎四ツ目屋伊十郎書狀 四月二七日 一通 二二〇〇
 日 佐藤文吉宛 一通

佐藤喜太郎書狀 (高田御役所へ罷り出候節の着衣につき問合せ) 三上甚助宛 九月二日 一通 二二〇〇

佐藤文吉書狀包紙 鈴木幸藏宛 三月二一日 包紙のみ 一枚 二二八四

諷之書狀下書 一通 二四九三

(佐藤) 文吉書狀 甚平宛 一〇月二三日 一通 二五七五

雲鐘書狀 南陸夜宛 無上月一五日 一通 二六六一

佐藤文左衛門書狀 平石彦左衛門宛 正月吉日 一通 二六八三

○その他

阿部播摩守書狀 岡部内藏助宛 二月二七日 一通 二四八九

伊太郎書狀 村瀬伊助宛 二月一一日 一通 二七七三

市野村酒屋市郎左衛門書狀 星野孫右衛門宛 五月二八日 一通 二八三三

岩野籠嶋多三書狀 高原近藤甚平宛 四月九日 一通 二三六二

月雪書狀 鳳枝宛 霜月一八日 一通 二六六四

孝顕寺書狀 星野半左衛門宛 一〇月五日 一通 二二〇八

近藤太治右衛門書狀 柿崎より 近藤良助宛 一〇月二七日 一通 二六三九

順真書狀 相澤権右衛門宛 四月二日 一通 二四八七

順真書狀 相沢権右衛門宛 一〇月一一日 一通 二四八六

下条区长杉田甚三郎・馬正面区长橋立樋四郎用狀写 小池甚右衛門ほか宛 明治三二年一月二一日 一通 二二〇〇

高原書狀 湯本・籠嶋宛 一〇月一七日 一通 二七八九

土肥六郎治書狀 星野半左衛門宛 一二月二二日 一通 二四五二

鉢崎中山道周書状 玉屋良助宛 六月九日 一通 二七〇三

文左衛門書状 兄布施公宛 卯月 一通 二五〇二

岩手文左衛門書状 上小野木羽彦治宛 一〇月二八日 一通 二六七一

文左衛門書状 平石宛 正月吉日 一通 二六八一

岩手文左衛門書状 平石宛 戊二月 一通 二六八二

星野半左衛門書状(参会講日取りにつき) 籠鳴孫作ほか一名宛 八月一日 一通 二二二二

星野書状 湯本宛 八月一〇日 前欠 附共 二二七四
附 衣類家具目録 一通 二二七四

又三郎書状 多喜右衛門宛 一〇月一六日 一通 二二四七

谷澤與吉書状 野州安蘇郡田島村島田嘉内店ニテ 直江津今町新町谷澤徳五郎宛 八月一日 一通 二二八二
(三枚)

岩手村惣代吉村常吉ほか書状・米売渡証等写 仁木実義宛ほか 七月一三日ほか 一括 五通 二四五六

四ツメや徳兵衛書状 上小野三上宛 九月一日 一通 二四七五

某書状 藤左衛門宛 一二月 一通 二五〇七

某書状 陸夜宛 八月一日 一通 二四九〇

某書状 百木・岩手・高畑御連中宛 八月二九日 一通 二五〇三

某書状 順海御坊宛 午正月 一通 二五二二

某書状 星野半左衛門宛 臘月二六日 一通 二二〇七

宛先不明書状

某書状(「文章軌範」ほかの書物有無の問い合わせ) 八月一日 一通 七〇四八

某書状(去春借用金の事ほか) 後欠 一通 七三二五

某書状下書 一通 七五九二

某書状断片(郵便為替にて送金云々) 一通 七六〇〇

某書状下書ならびに入立米差引覚下書(明治) 四〇年一月三十一日 一通 七六四四

某書状下書(耕策上京の宿所のお知らせ) 一通 七六一五

某書状(隠居様一件につき金子三拾両請取りの件ほか) 一通 七九三三

某書状下書 二通 七九五八

某書状下書 四枚 七九六五

某書状 前後欠 一通 七九八一
(三枚)

某書状下書 一通 七九八二

(高畑村三右衛門)書状 一〇月二二日 一通 二二二四

某書状 一二月一六日 一通 二二二八

某書状 前後欠 一通 二四九七

某書状 一通 二五〇四

某書状 一〇月二九日 一通 二五三四

某書状 一通 二五七三

某書状追而書 前欠 一通 二六八四

某書状	四月二二日		一通	二六八九
某書状	七月二八日		一通	二六九二
某書状	(佐藤半治暇願につき、その他)	一括	二通	二六九五
某書状		後欠	一通	二七二二
某書状別啓	正月朔日	前欠	一通	二七七九
某書状〔女文字〕	一一月	前欠	一通	二七九八
某書状			一通	二八一
某書状下書			一通	二八一五
某書状			一通	二八三六
某書状	三月二九日		一通	二八五三
河野孫作書状	(宛名破損)		一通	二八〇〇
某書状下書			一通	二八〇七
某書状	(当米代金蔵米町米代請取の件、その他につき)		一通	二〇一九
	八月二二日			
某書状	(仮名文字)	前後欠	一通	二〇二八
某書状	九月二二日		一通	二〇四四
某書状	二月一八日		一通	二三三九

史料館所蔵史料目録 第六十集

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録(その四)

平成六年三月三十一日 印刷発行

編集兼 国文学研究資料館

発行者 史料館

〒142 東京都品川区豊町二丁目十六番十号

電話〇三―三七八五―七一三二(代)

印刷所 (有)スミタ

〒111 台東区寿三丁目十四番五号

(本文用紙は中性紙を使用)

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その四） 解題

文書の伝来と目録の刊行

文書の配列と概要

文書の伝来と目録の刊行

この目録は、『史料館所蔵史料目録第三十八集・越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その一）』（昭和五八年十月発行、以下『目録（その一）』と略称）、『史料館所蔵史料目録第四十九集・越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その二）』（平成元年三月発行、以下『目録（その二）』と略称）、および『史料館所蔵史料目録第五十二集・越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その三）』（平成三年三月発行、以下『目録（その三）』と略称）の補遺編である。

佐藤家文書は、越後国頸城郡岩手村（現在の新潟県中頸城郡柿崎町大字岩手）佐藤家の原蔵にかかる総数約一万二千点の文書群で、昭和二八年（一九五三）と昭和五七年（一九八二）の二次にわたって当館の所蔵に帰したものである。昭和二八年の第一次所蔵分（文書記号28A）は当館が東京の古書店から購入したもの、昭和五七年の第二次所蔵分（文書記号57A）は、同年十一月、佐藤家現当主佐藤友之氏（東京在住）から当館に寄贈されたものである。寄贈の経緯については、『目録（その一）』の「解題」および『史料館報』第38号（昭和五八年三月発行）の「新収史料紹介」に記してあるのでご覧いただきたい。

佐藤家文書は量が多いので、全点の整理を完了したのちに目録を発行するという方法をとることができず、整理の終わった部分から順次目録を刊行した。各巻の概要を記せば、『目録（その一）』には、冊子型文書の大半と、書付型文書のうち比較的まとまりのよいものを中心に約

六二〇〇点を収録、『目録（その二）』には、江戸期の年貢算用関係の書付けや明治期以降の地租・地方税等の領収書類、それにさまざまな種類の代金受領書など、書付型文書を中心に約五〇〇点（Ⅱ整理番号による点数。実数は約一四〇〇点）を収録し、『目録（その三）』には、約二六〇〇点の書簡類を中心とする主として書付型文書約三二〇〇点を収録した。

佐藤家文書の整理は『目録（その三）』の刊行をもって完了したものと考え、同目録の解題にもそのように記したが、その後、なお未整理文書があることが判明した。これは昭和二八年に史料館が古書店から購入した第一次収蔵分の一部であるが、他家文書と混在していたこともあり、『目録（その三）』の刊行段階では見落としてしまったものである。今回『佐藤家文書目録（その四）』として刊行するのは、この文書二一七七点で、書付型文書を中心に、内容は全体にわたっている。この結果、佐藤家文書は、28AⅡ九〇五二点（整理番号一〇八〇〇〇、および一〇二三〇二〇七四）、57AⅡ三〇二二点（整理番号八〇〇一〇二二）の合わせて二二〇七四点となった。

『目録（その一）』から『目録（その四）』には、相互に同種史料が入り交じっているため、佐藤家文書を利用する際は、めんどろだが四冊の目録をすべて見ていただく必要がある。しかし、目録の項目編成は四冊ともまったく同じというわけではないので、検索にはかなりの困難が予想される。この不便を少しでも解消するため、「佐藤家文書目録・総合目次」を作成し本目録一〇頁以下に掲載したので、活用されたい。

文書の配列と概要

本目録の目録編成の考え方と方法は、基本的に『目録（その三）』のそれを踏襲している。すなわち、

(1) 全体を①岩手組（大肝煎）文書、②岩手村（庄屋、戸長、惣代）文書、③佐藤家の家文書、という作成母体の異なる三つの文書群（サブグループ）に分けることを基本とし、これに別だての④書状・用状を加えて、『岩手組（組合村）』『岩手村』『佐藤家』『書状・用状』の四つの大項目を設ける。

(2) 書状・用状は、袋や束の形で一括されていた分については、「一括形態のもの」という中項目をもうけてここにまとめ、原配列尊重の考

え方から、内容や差出人、宛名人などによる編成替えはしないで一括分ごとに原史料の順のまままで配列する。一通ずつバラバラの状態になってしまっている書状・用状は、「一括形態でないもの」という中項目をもつけてここにまとめ、差出人によって分類・配列する。

なお、『岩手組（組合村）』『岩手村』『佐藤家』の中の中項目・小項目の編成も、基本的に『目録（その三）』によりながら、適宜、項目の組み替えや項目名の変更を行ったので、詳しくは『目録（その三）』の解題を見られたい。その中で本目録の特色としてあげられるのは、大項目『佐藤家』の中に「訴訟・争論」という中項目を設けたことである。これは、明治期の訴訟関係文書の点数が比較的多かったことによる。

〔付記〕本文書の整理および目録編成・解題執筆は第三史料室安藤正人が担当し、三好祥子さんと山本恵子さんに文書整理を手伝っていただいた。本文書を利用する際に参考となる文献は、『佐藤家文書目録（その二）』の解題に掲載したが、そのほか特に佐藤家現当主佐藤友之氏が佐藤家文書をめぐって書かれた随想「ご先祖様の呼び起し」（『史料館報』第52号、平成二年三月）をあげておきたい。

附表(1) 近世岩手村の所属組・大肝煎と庄屋の変遷

西 暦	岩手村所属村組・大肝煎			岩手村庄屋	
	(慶長～)		総肝煎 八木平右衛門 大肝煎 八木平右衛門 同 平左衛門 同 七兵衛 同 平兵衛	慶長3 万治元 寛文9	きもいり右馬丞 惣左衛門 安右衛門
1683	(天和3)～		大肝煎 八木平助	(天和3)～ ～(宝永2)	八兵衛
1685	貞享2～	馬正面組			
1713	正徳3～	馬正面組	年番 楡井美右衛門	(宝永7)～	友右衛門
1742	寛保2～	岩手組 〔初め下美 守郷中組〕	大肝煎 佐藤八平 (初め年番)	寛保3～	八平(兼)
				寛延2～	平六
				明和2～	八平(兼)
1768	明和5～		代役 与一郎・久右衛門 吉右衛門・茂左衛門 彦右衛門・孫右衛門	明和5～	松五郎
1778	安永7～	灰庭組	大肝煎 湯本吉右衛門 代役 孫右衛門		
1781	天明元～	黒岩組	大肝煎 星野孫右衛門	天明7～	喜太郎
1798	寛政10～		同 星野半左衛門	文化8～	松五郎 八平
1813	文化10～		同 星野孫右衛門		高畑村 湯本平助(兼)
			同 星野源右衛門	文政4～	
1822	文政5～	元黒岩組	惣代 湯本平助		
1837	天保8～	黒岩組	大肝煎 星野半左衛門 (改名佐五右衛門)	天保8～	啓助
1841	天保12～	高畑組	同 湯本多十郎		
1866	慶応2～		同 湯本宗十郎		
1871	明治4.2～	十二番組	郷長 三上喜三	明治3.3～	文吉

附表(2) 明治期岩手村の行政改革

西 暦	年 月	県 制	岩手村の所属区		佐藤家役職
1871	明治4.2～	高田藩	十二番組	第十六大区第五小区	文吉=戸長
	明治4.7～	高田藩			
	明治4.11～	柏崎県に合併			
1872	明治5.2～	新潟県に合併	頸城郡第五十四区		
	明治5.8～		第七大区第八小区		文吉=戸長
1873	明治6.6～	新潟県に合併	第六大区第八小区		文吉=惣代
	明治6.9～		第七大区小八区二番組		
1876	明治9.7～		第七大区小七区		
1879	明治12.4～		中頸城郡岩手・岩野・米山寺三ヶ村連合		
1884	明治17～		中頸城郡上小野外十七ヶ村連合		
1889	明治22.4～		中頸城郡黒川村に合併 (大字岩手となる)		

- 注 1) 出典：佐藤家文書のほか、『柿崎町史』・『中頸城郡誌』第1巻・『新潟県史』資料編14・近代2などによった。
- 2) (1)表のゴチック体で示した名前は、佐藤家(分家松五郎を含む)の人間である(附図一参照)。
- 3) (1)表の()を付した年号は、就役・退役の年が不明のため、史料で確認できる範囲を示したものである。

附図一・佐藤家略系図

初代
惣左衛門
(宗)

万治三年六月六日没
釋香西信士

蘭・千代

(慶長一九年生)
福井松平忠直家臣小泉
甚左衛門娘、高田下小
町鳴海六兵衛ヲ飯親ト
シテ宗左衛門ニ嫁ス
元禄一六年二月一日没 九〇才
道覚院妙賀日誓信女

二代
八平・八兵衛

(明暦元年生)
享保一九年九月三日没 八〇才
開法院常觀日喜信士

千ヨシ
千代思

米山寺村小池氏娘
元文五年五月二八日没 七三才又は七五才
釋尼妙證信女

安右衛門

養子実父不知、八兵衛幼少ニ付
後見トシテ庄屋役ヲ相勤ム、後
川田村箕輪氏ヲ継、源左衛門ト
号ス
正徳一年一月二日没
釋貞證

仁左衛門

養子実父不知、当村へ分家ス
実父不知、高田ヨリ道覚院(蘭)
ニ付添来ル、後芋嶋村へ分家ス
宝永六年没
釋了誓

久左衛門

実父不知、高寺村草間氏ヲ継、
御城米上乘行伊勢鳥羽沖ニテ
難船
享保三年七月一日没
葉安淨荷、

長八

三代
友右衛門

(貞享元年生)
宝曆二年一月二〇日没 七九才
深理院圓妙日悦信士

クメ
久米

(元禄七年生)
高畑村湯本氏娘
明和三年一月一日没 七三才
本理院妙喜日深信女

理助

(元禄一〇年生)
享保六年高田中屋敷土肥
八兵衛へ養子、御代官元
ノ役ヲ勤ム、(土肥致榮
ト号ス)
安永七年正月二八日没 八二才
釋淨伏

女子

岩野村竈嶋氏へ嫁ス

一、本略系図は、「佐藤家過去帳」「佐藤家位牌」(以上佐藤家現蔵)、「妙国寺御過去帳」(高田妙国寺現蔵)、「佐藤家系図」(整理番号九〇三五)、「佐藤一門先祖累代過去帳取調明細」(同九〇四一)、「佐藤家先祖書」(同九〇四二)、「岩手村宗門改帳」(同二一四)、「二六〇」,「岩手村戸籍」(同二六一・二六二)その他により、新たに作成したものである。
一、生年に()を付したのは、宗門改帳の記載年令や没年令から逆算したものである。

四代

武求

高田田端町浦野家ヨリ養子入、
実父浦野次郎三郎、実兄浦野
織右衛門

天明八年二月五日没 七九才
理性院圓乘日香信士

サキ

左喜

(宝永六年生)
三代友右衛門娘
明和九年一〇月(一月?)四日没 六四才
照潤院妙栄日達信女

五代

平六・惣左衛門
敬忠

(享保一六年生)
江戸馬喰町郡代屋敷
弟半治宅ニテ死去
明和六年九月四日没 三九才
聰達院明道日達信士

ちゆうじ

(元文四年生)
高畑村湯本多郎左衛門娘
天明三年八月五日没 四五才
栄善院妙達日性信女

男子

享保一十九年九月五日没 二一才
玄秀童子

かね

元文三年八月三日没 四才
妙兼童女

つき

元文三年二月一六日没 二一才
妙感童女

柳助
殺山

(元文五年生)
安永五年竹直村小田嘉左衛門
へ響養子、定右衛門ト改名、
江戸へ罷越儒行、殺山ト号ス
文化元年六月六日没 六五才
教響受誓殺山居士

六代
半治郎・半治

(寛保二年生)
代官江川太郎左衛門外ノ
手代ヲ勤ム
明和九年九月八日没 三二才
法性院常観信士

千代

高田中屋敷土肥家へ嫁ス
上小野村三上喜惣右衛門娘
安永五年二月没

かん

速成院妙受

分家(新屋)
松五郎

(延享元年生)

しほ
(後妻)

明和五年分家
天明六年一〇月一九日没 四三才
園林院浄嚴

せの

上小野村三上喜惣右衛門娘
天明七年一〇月二日没 三九才
寶珠院妙林
高畑村湯本太郎左衛門へ嫁ス

七代

久米

(宝曆七年生)
宝曆二年没 五才
妙量童女
(宝曆九年生)

喜太郎

昌栄文化一三年正月一九日没 五八才
真如院法順日栄信士

べん
弁

(宝曆一〇年生)
竹直村小田定右衛門娘
安永六年二月一日嫁入
文政七年二月一六日没 六五才
隨信院妙義日相信女

和吉

(宝曆一一年生)
安永九年一二月米山寺村長
兵衛方へ響養子

くめ

(宝曆一三年生)
安永六年一二月高田田端町
浦野織之進へ嫁ス

五三郎

(明和四年生)
寛政五年六月荊羽郡横山村
内山三左衛門方へ響養子、内
山和助ト云、眼科修業、景
山下号ス

六四郎

明和五年一二月生
寛政一〇年九月田中仙左衛
門方へ響養子、仙左衛門ト云
文化五年三月二七日没

さし

安永二年一月生
半治娘、岩野村八郎兵衛方
へ嫁ス、後高田中屋敷町土
肥家ニ再嫁ス
文政二年八月三日没
寿山妙貞信女

友太郎・松五郎

安永七年一一月生
文政八年本家家督相続
天明三年二月生

八十吉・安吉

寛政一〇年一月上小
野村文平方へ養子入
(天明五年生)

りな

とろ

八代 幼名米松 天明四年二月生

文政四年九月一四日没 三八才
秋山院新晴日涼信士

すへ・すい (後妻)
竹直村小田久右衛門娘
文化一〇年九月嫁入
文政八年四月二六日没 二七才
深知院妙相信女

清之助
天明七年正月生
文化一〇年九月二日没 二七才
以信院教觀信士

こん
天明八年生
寛政一〇年一〇月三日没 二一才
清月妙谷童女

もよ
寛政二年五月生

兼五郎
(寛政四年生)
荊羽郡横山村喜八郎方へ
養子

のゐのへ
寛政七年正月生
文化九年高田浦野織弥方へ嫁入

増五郎
寛政九年八月生
寛政一二年一〇月一九日没 三才
清淨童子

九代

松五郎・友右衛門
安永七年一月生

分家松五郎長男、
文政八年本家家督相続
嘉永七年一〇月二〇日没 七七才
一圓院正等日受清信士

もよ・もゆ (寛政二年生)
七代喜太郎次女カ
明治四年三月二五日後 八二才
山晴院妙涼日秋信女

ほの
文化三年生
文政一二年同郡池田村庄左衛門方へ嫁入

さた
文化一四年正月生
十代啓助妻

ちよ
文政元年一〇月生
天保一四年分家勇吉へ嫁入

こと
文政三年一月生
文政九年一月没

十代

啓助・啓吉・啓八
(文化三年生)
昭義 明治一四年九月二日没 六六才
浩妙院大真日聰居士

さた
文化一四年正月生
八代八平次女
明治一〇年八月三日没 六一才
本覚院妙智日境信女

かと
文政二年四月生
天保八年四月岩野村竜嶋伝右衛門方へ嫁入

ちよ
文政元年一〇月生
八代八平三女
安政三年没

分家 勇吉
文政四年八月生
明治五年七月三日没

こと (後妻)
文政七年八月生
岩野村竜嶋伝右衛門娘
安政三年七月嫁入

なか
文政六年一二月生
弘化四年今町斧屋徳五郎方へ嫁入

良助
文政八年八月生
天保一四年鉢崎宿伴左衛門方へ養子

半蔵
文政一二年六月生
嘉永二年九月二四日没 二二才
本境院智達信士

文吉
(天保二年生)
長兄啓助養子トナリ家督相続



